

X-PROシリーズ 共通

マニュアル

ネットワークビデオレコーダー

NVR

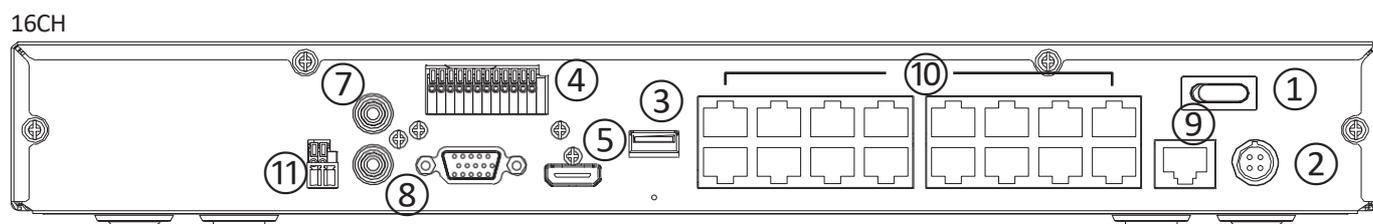
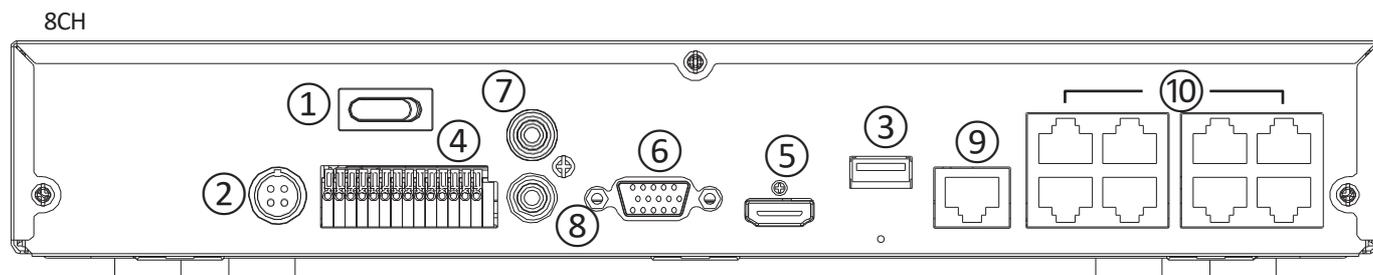
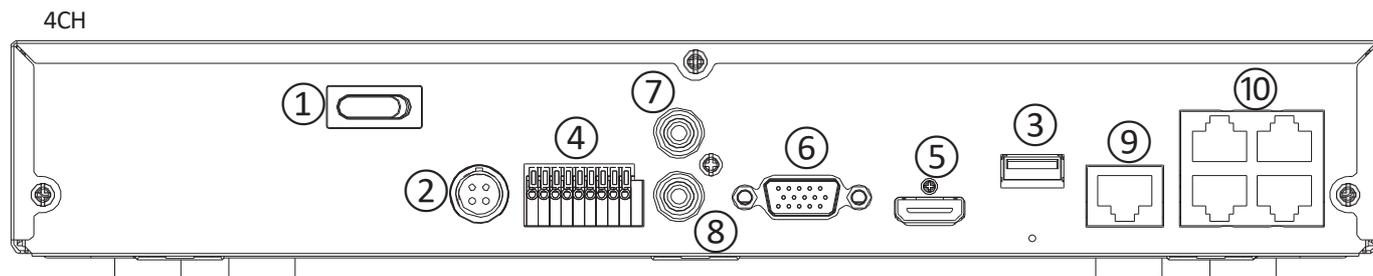
製品を安全にご使用いただくためのご案内

事故やケガを防ぎ、製品や接続機器の損傷を防ぐために、以下の安全上の注意をよくお読みください。

1. 電源については付属の AC アダプターまたは、弊社が指定する電源をご使用ください。指定外の電源を使用して操作しないでください。
2. 感電やその他の事故を防ぐために、製品に規格外のデバイスを接続しないでください。
3. 埃の多い場所に本製品を設置しないでください。
4. 本製品は屋内での使用を想定していますので、雨や湿気の多い場所に設置しないでください。地下室などの湿気の多い環境下に機器を置かないでください。本製品が誤って水に濡れた場合は電源コードを抜いて販売店にご連絡ください。
5. 本製品の表面は清潔に保ち乾燥した状態を維持してください。柔らかく湿らせた布を使用してケースをクリーニングしてください。その際に液体エアゾールクリーナーは使用しないでください。
6. 本製品から異音や異臭がする場合は電源ケーブルを抜き、正規販売店にご連絡ください。
7. 感電を防ぐために本製品の上部カバーを外さないでください。
8. 強い衝撃により本製品が正常に動作しない場合は修理または交換が必要です。購入した販売店にご連絡ください。
9. 電源を切った後に、システム時間が作動しない場合は、メインボードの 3V リチウム電池の交換が必要です。正規販売店にご連絡ください。
10. 本製品は大量の熱を発生するハードディスクが搭載されています。システムを冷却するための換気用の開口部（上面、底面、左右、裏面）を塞がないようにして十分な空間を確保してください。また風通しの良い場所に設置してください。
11. 付属の AC アダプターは本製品にのみ使用できます。AC アダプターが正常ではない場合、再起動を繰り返すなど正常に動作しない場合があります。
12. 本製品に水しぶきや水滴などがかからないようにしてください。

第1章 製品概要

1.1 リアパネル

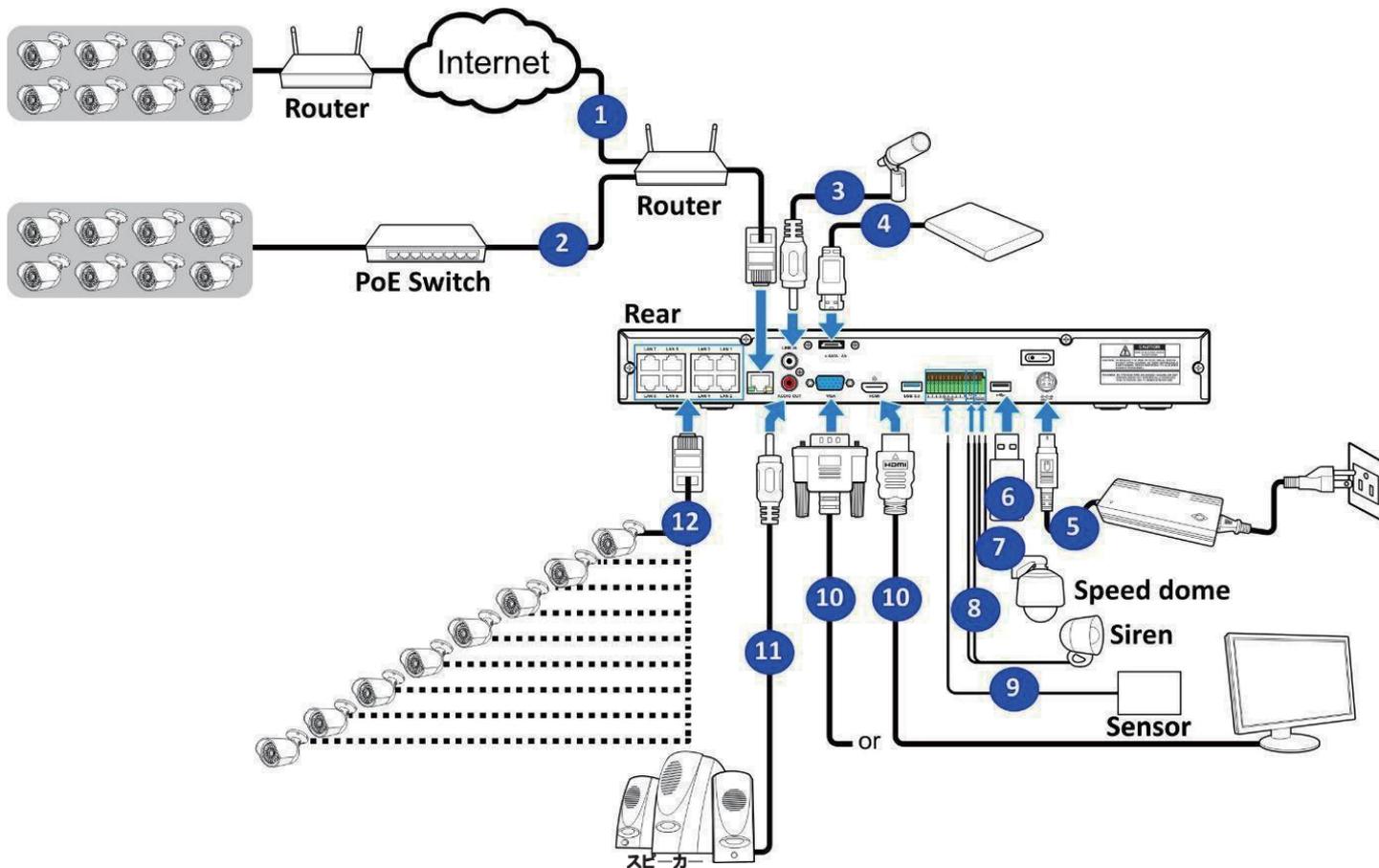


⑥

| アイテム物理ポート | 接続法 |
|----------------|-----------------------------------|
| ①電源スイッチ | 起動とシャットダウンをします。 |
| ②電源ポート | 付属の電源を接続します。 |
| ③USBポート | USB マウスやUSB メモリなどのUSB デバイスを接続します。 |
| ④センサー/アラーム | センサーまたは警報装置に接続します。 |
| ⑤HDMIポート | HDMI モニターに接続します。 |
| ⑥VGAポート | VGA モニターに接続します。 |
| ⑦ラインイン | 音声マイク入力します。 |
| ⑧オーディオアウト | 外部スピーカーに接続します。 |
| ⑨LANポート | ネットワークインターフェースに接続します。 |
| ⑩PoEポート | PoEをサポートします。カメラに電源供給します。 |
| ⑪RS485(16CHのみ) | PTZカメラコントロール用のケーブルを接続します。 |

第2章 NVR のインストールと接続

2.1 接続例



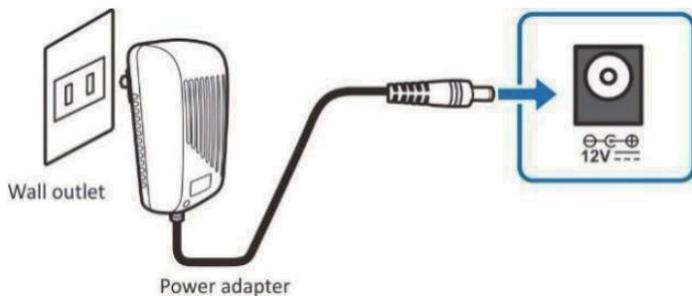
※ 上図は参考です。実際の接続は、NVRによって異なります。

2.2 電源の接続方法

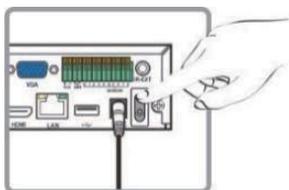
※注意※

NVRに付属の電源アダプターのみを使用してください。

電源アダプターの端をNVRの背にある電源コネクタに接続します。電源アダプターのもうの端を壁のコンセントに差し込みます。

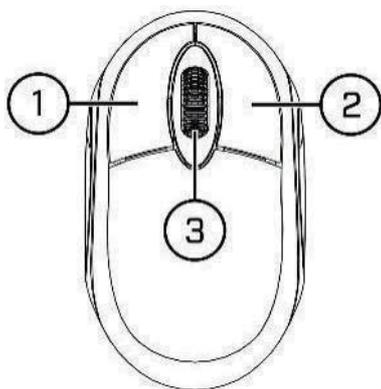


部の特定のモデルでは、電源をオンにするために電源スイッチを押す必要がある場合があります。



第3章 NVR 共通操作

3.1 付属マウスの使用方法



①左ボタン：

- クリックしてメニューを選択します。
- 分割表示の際にダブルクリックすると全画面表示になります。もう一度ダブルクリックすると分割画面表示に戻ります。

②右ボタン：

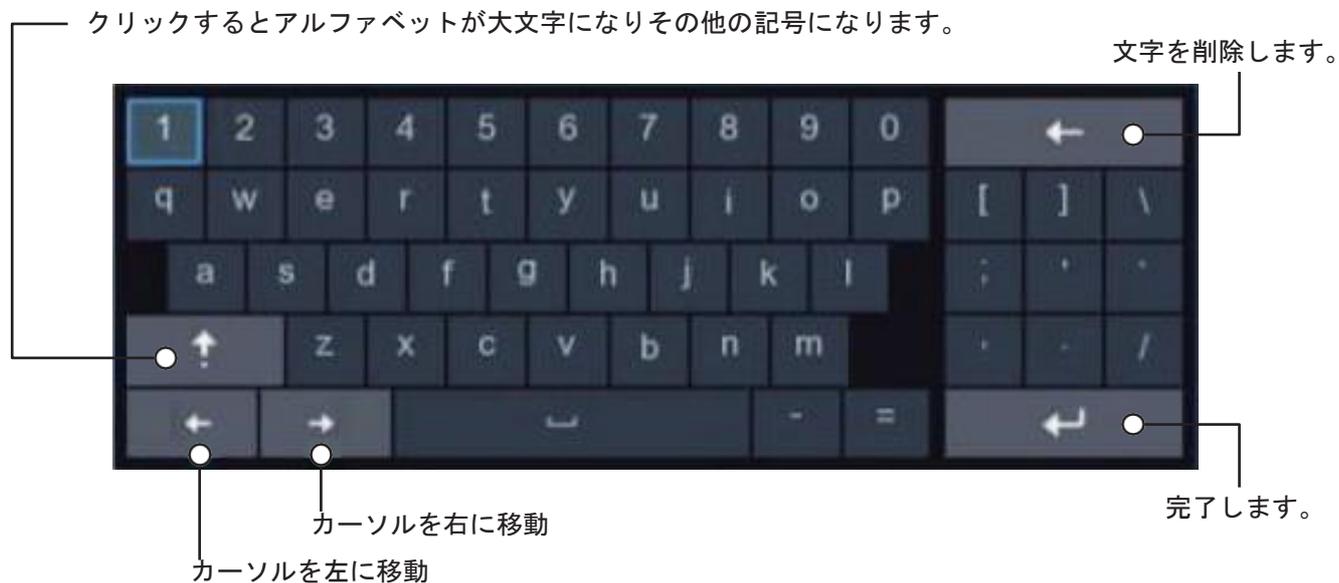
- ライブ画面でクリックするとタスクバーが開きます。
- 各設定画面でクリックするとメニューを閉じます。

③スクロールホイール：

- 映像表示中にスクロールすることでデジタルズームイン・アウトができます。
- ボリュームコントローラーでスクロールすることで音量の調整ができます。

3.2 仮想キーボードの使用方法

文字や記号を入力する際は仮想キーボードが自動で表示されます。



3.3 パスワード

NVR を使用するにはパスワードの設定が必要になります。設定後のパスワードは安全な場所に保管してください。

必ず日本語を選択してください

言語：日本語を選択(初期値)

デバイスID：デバイスを識別するIDを設定します。

新しい管理者名：adminに設定します。

新しい管理者パスワード：新しいパスワードを設定します。英数字、記号を組み合わせで8字以上にする必要があります。

パスワードの確認：パスワードをもう一度、入力します。

パターンロックを解除します：パターンロック設定を行う場合は「有効」にして、枠外の  を左クリックします。

パターン設定：一筆書きで4ポイント以上通過してください。

もう一度同じものを一筆書きします。

全ての設定が終わりましたら、[適用]を選択し閉じます。

次にパスワードダイアログ復元画面が表示されます。

次にパスワードダイアログ復元画面が表示されます。

セキュリティ質問設定、

証明書、

スーパーコード(非推奨)のいずれかにチェックを入れ、設定をします。

不要の場合は、スーパーコードを選択し [OK] を左クリックします。

ログインします。

※注意※ パスワードを忘れた場合、システムにログインできなくなります。忘れてしまった場合は機器の初期化が必要になりますので、正規販売店にご連絡ください。

第4章 NVRの起動

1. スタートアップウィザード

スタートアップウィザードは、システムを構成し、NVRをすばやく動作させるのに役立ちます。

1. スタートアップウィザードの開始

スタートアップウィザードの開始をクリックして次のステップに進みます。



4.1.2 ネットワーク構成 【ネットワーク】

| ローカル接続 | | | | | |
|-------------|-------------------------------------|-------------------------|---|----|--|
| DHCP | <input checked="" type="checkbox"/> | | | | |
| IPアドレス | | 192.168.011.074 | | | |
| サブネットマスク | | 255.255.255.000 | | | |
| ゲートウェイ | | 192.168.011.001 | | | |
| IPv6 アドレス | | fe80::223:63ff:fea5:915 | / | 64 | |
| IPv6 ゲートウェイ | | fe80::764 | | | |

| DNS | |
|------|-----------------|
| DNS1 | 192.168.011.001 |
| DNS2 | 008.008.008.008 |

| ポート | | | | | |
|------|-------|-------|-------|--------|-----------|
| サービス | プロトコル | 内部ポート | 外部ポート | UPNP状態 | マッピングストラ: |
| 4 | 内部 | TCP | 8080 | 8080 | 無効 |

<ローカルコンディション>

DHCPを使用できるルーターに接続している場合は、DHCPにチェックを入れてください。

ルーターは、NVRのすべてのネットワーク値を割り当てます。DHCPのチェックを外すとIPアドレスを指定することができます。

IPアドレス：IPアドレスは、ネットワーク内のNVRを識別します。ピリオドで区切られた0～255の4つの数値グループで構成されます。例えば、「192.168.001.100」です。

サブネットマスク：サブネットマスクは、ネットワークで使用できるIPアドレスの範囲を指定するネットワーク値です。サブネットマスクも、ピリオドで区切られた4つのグループの数値で構成されます。たとえば、「255.255.255.000」です。

ゲートウェイ：このアドレスにより、NVRがインターネットにアクセスできるようにします。ゲートウェイアドレスは通常ルーターのIPアドレスで構成されます。例えば、「192.168.001.001」です。

IPv6アドレス：IPv6アドレスを使用する場合、アドレスの数値を入力します。

IPv6ゲートウェイ：IPv6アドレスを使用しインターネットに接続する場合、ゲートウェイのアドレス数値を入力します。

<DNS>

DNS1/DNS2 : DNS1 は優先 DNS サーバーで、DNS2 は代替 DNS サーバーです。例えば、「192.168.001.001」です。

<ポート設定>

ウェブポート : NVR にリモートでログインするために使用されるポートです。デフォルトポートが他のアプリケーションで使用されている場合は変更してください。

client ポート : NVR の情報送信 (映像及び通信) に使用されるポートです。デフォルトのポート 9000 が他のアプリケーションによって既に使われている場合は、変更してください。VMS またはアプリで使用されます。)

RTSP ポート : NVR がリアルタイムストリーミングを他のデバイスに送信できるようにするポートです。ストリーミングブレイヤーで使用されます。

UPNP : Web クライアントを使用して NVR にリモートでログインする場合は、ルーターでポート転送を完了する必要があります。ルーターが UPnP をサポートしている場合は、このオプションを有効にします。この場合、ルーターでポート転送を手動で構成する必要はありません。ルーターが UPnP をサポートしていない場合は、ルーターでポート転送の設定が必要となります。

4.1.3 日付 / 時間

このメニューでは日付、時間、日付表示形式、時間表示形式、タイムゾーン、およびサマータイムを設定します。

【日付と時間】



日付 : カレンダーアイコンをクリックして、システムの日付を設定します。

時間 : クリックしてシステム時間を設定します。

日付表示形式 : ドロップダウンメニューから選択して、優先する日付表示形式を設定します。

時間表示形式 : 24 時間と 12 時間の時間形式を選択します。

タイムゾーン : 正しいタイムゾーンを設定してください。GMT+9 : 00

【NTP】

NTP は Network Time Protocol の略です。この機能により、インターネット経由で NVR の日付と時間をタイムサーバーと同期できます。利用するには NVR をインターネットに接続する必要があります。



NTP 有効にチェックを入れて、NTP サーバーを選択します。

【サマータイム】 使用しません。

4.1.4 IP カメラ設定

このメニューでは、IP カメラを NVR に追加できます。

IP カメラ設定は設定→チャンネル→IP チャンネルから設定ができます。



検索をクリックすることで同じネットワーク内の IP カメラを検索します。追加する IP カメラを選択し、矢印アイコンでカメラが追加されます。

NVR の背面「PoE ポート」に接続するとカメラは自動で追加されます。

※自動モードのイラスト入れる

接続情報を編集します

| | |
|-------------|-------------|
| チャンネル | CH1 |
| スイッチモード | 自動モード |
| POEモード | 自動 |
| エイリアス | |
| IPアドレス/ドメイン | |
| サブネットマスク | |
| ポート | 1 |
| プロトコル | プライベートプロトコル |
| ユーザー名 | |
| パスワード | |

OK キャンセル

カメラのユーザー名とパスワードをして、カメラを登録します。

手動で追加する場合

カメラを手動で追加する場合は手動モードに変更して検索をクリックします。

クリックすることもできます ボタンをクリックして、個々のIPカメラを単のチャンネルに追加します。





検索ボタンをクリックしてIPカメラを検索し、デバイスリストでIPカメラの1つをクリックします。

IPアドレス/ドメイン：IPカメラのIPアドレスまたはドメイン名

カメラ名：IPカメラの名称

位置：画面上のカメラ名を表示する位置です。

ポート：IPカメラのポート

プロトコル：ドロップダウンメニューからIPカメラのプロトコルを選択します。

ユーザー名：IPカメラのユーザー名

パスワード：IPカメラのパスワード

バインドチャンネル：接続したいNVRのチャンネルを選択してください

4.1.5 ディスク管理

設定→ディスク管理→ディスク管理



HDD を新しく NVR に取り付ける場合は、フォーマットする必要があります。

HDD を選択して HDD のフォーマットボタンを押して HDD をフォーマットします。

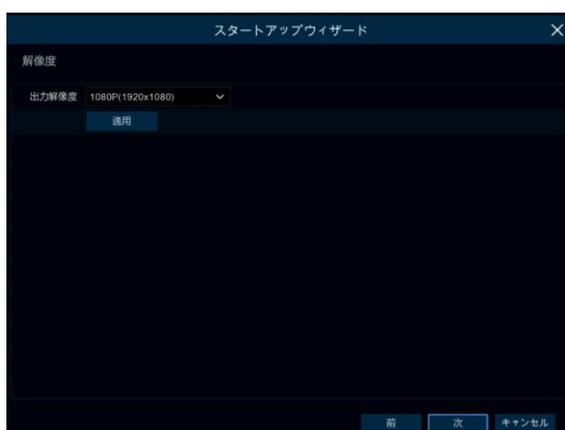
上書き：HDD の上書きする頻度を設定します。自動にすると HDD 容量がなくなったタイミングで上書きされます。7日を選択すると、過去7日間の記録のみが HDD に保持されます。古い記録を上書きしないようにするには、オフを選択します。この機能を無効にしている場合は、HDD の状態を定期的にチェックして、HDD がいっぱいになっていないことを確認してください。

ESATA に記録：NVR に e-SATA ポートが付属している場合、録画映像を e-SATA HDD に録画することができます。

4.1.6 出力解像度

設定→システム→基本設定→モニター設定→VGA/HDMI 解像度

モニターに出力する解像度を選択します。NVR はシステムの起動時にモニターの最適な解像度に合わせて出力解像度を自動的に調整します。設定変更後は適用をクリックしてください。



4.1.7 P2P 設定 (モバイル)

P2P 設定 (モバイル) の情報は

設定→システム→システム情報→システム情報

スマートフォンアプリから NVR の QR コードをスキャンしてスマホに登録することで NVR に遠隔からアクセスすることができます。



4.1.8 概要

スタートアップウィザードで設定した内容を確認できます。「次回このウィンドウを表示しないでください。」にチェックを入れて完了ボタンを押せば次回以降、入力する必要はありません。



4.2 ライブ画面の概要



カメラ名 : カメラのチャンネル名を表示します。

ステータスアイコン :

-  録画中
-  モーション検知中
-  外部 I/O 検知中
-  HDD エラー
-  HDD 未フォーマット
-  HDD 空き容量なし
-  HDD 読み取り専用

ビデオロス : カメラ映像切断

カメラなし : カメラが未接続です

デコード失敗 : 圧縮規格がサポートされていないので、H.265 または H.264 に変更してください

+ : クリックして開きますクイック追加 IP カメラを追加するメニュー

4.2.1 カメラクイックツールバー

ライブビューでは、接続されたカメラでマウスの左ボタンをクリックして、カメラクイックツールバーを表示します。



- ① **手動録画** : クリックすることで手動で録画を開始します。手動録画が進行中の場合、アイコンは赤色で表示されます。手動録画を停止する場合は、もう一度クリックします。
- ② **手動キャプチャ** : クリックすることで、指定したカメラ画像のスナップショットを保存します。手動キャプチャーを有効にしておくことが重要です。画像の検索、再生、バックアップについては・・・写真再生をご参照ください。
- ③ **インスタント再生** : 指定したチャンネルの直前5分前の録画映像を再生します。
- ④ **PTZ** : PTZコントローラーを開きます。
- ⑤ **デジタルズーム** : クリックして映像を拡大します。拡大したい位置にマウスポインタを持っていきマウスホイールを回転させると拡大、縮小します。
- ⑥ **カラー設定** : クリックしてチャンネルのカラー設定をします。色相、明るさ、コントラスト
- ⑦ **ストリーム** : HDとSDのビデオストリームを切り替えます。HDはメインストリームでSDはサブストリームです。

トークバック : この機能は使用できません。

カスタムタグ : 検索時の索引できるカスタムタグを追加します。

AI 検知数 : 人検知 / 車両検知 / バイク検知

4.2.2 タスクバー



- ① **メニュー表示** : クリックしてスタートメニューを表示します。
。
- ② **表示画面レイアウト** : ライブ映像の画面レイアウトを変更します。
- ③ **他のレイアウト** : ライブ映像のその他の画面レイアウトを表示します。
- ④ **自動シーケンス** : ライブ映像を順番に表示します。
- ⑤ **クイック再生** : 本日の 00 : 00 以降の録画データを再生します。時間を指定すれば直前の録画データが確認できます。5 秒、10 秒、30 秒、1 分、5 分から選択可能です。
- ⑥ **音量** : 音量を調整します。
- ⑦ **ストリーム切替** : ライブ映像のメインストリームとサブストリームを切り替えます。
- ⑧ **ストレッチ表示切替** : ライブ映像のアスペクト比を調整します。4 : 3 の映像を 16 : 9 に引き伸ばして表示します。
- ⑨ **プレビューポリシー** : ライブ映像の表示を調整します。リアルタイム表示またはバランス表示から選択します。録画品質には影響はありません。
- ⑩ **プレビュー復元** : 使用しません
- ⑪ **ネットワーク接続状況** : ネットワークに接続されており、遠隔監視できる状態かどうかを表示します。
。
- ⑫ **警戒中モニター** : 各種アラームを接続または解除の設定をします。
- ⑬ **手動モード** : 手動録画と手動アラームの設定をします。
- ⑭ **システム情報、チャンネル情報、録画情報、ネットワーク状態** を表示します
。

4.2.3 スタートメニュー

スタートメニューを使用すると、ユーザーの切り替え、検索と再生、設定メニュー、画面のロックとロック解除、システムのシャットダウン、再起動、ログアウトをうことができます。



- ユーザーを切り替えるには。
マルチユーザーを有効にするには、次を参照してください5.6.3 マルチユーザー
- 検索と再生第6章 検索、再、バックアップ
- 設定メニュー第5章 NVR システム
- 画面のロックとロック解除4.2.3.1 画面のロック解除とロック
- シャットダウン、再起動、ログアウトします。4.2.3.2 シャットダウン



4.2.3.1 画面のロックと解除

NVR を 1 分間何も操作しないと画面がロックされライブ映像に戻ります。必要に応じて、画面操作を手動でロックすることもできます。スタートメニューから画面のロック  をクリックするとロック状態になります。ロックされている場合はロック解除  をクリックしパスワードを入力します。ロックが解除されると再度操作が可能になります。

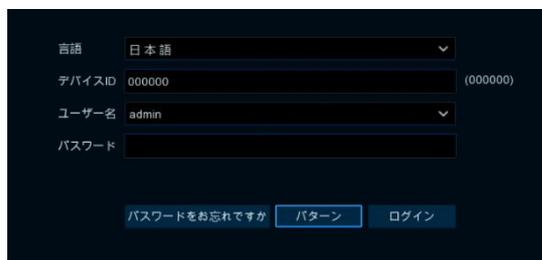
4.2.3.2 シャットダウン

シャットダウンをクリックするとシャットダウンメニューが表示されます。項目を選択してOKをクリックします。管理者パスワードを入力して実行されます。



- シャットダウン
- 再起動
- ログアウト

ログアウトを選択するとライブ映像が消えて、ログイン画面が表示されます。再度パターンもしくはパスワードを入力してログインします。



第5章 NVRシステムのセットアップ

スタートメニュー設定：チャンネル、録画、アラーム、ネットワーク、デバイス、システムの設定を行います。



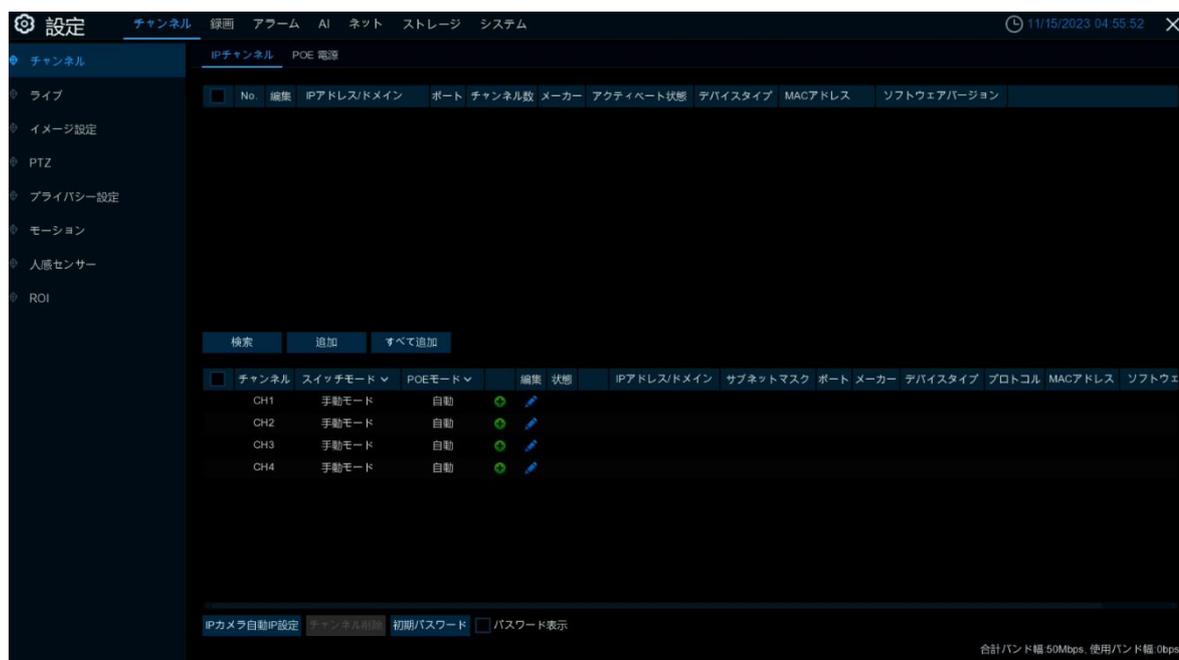
1. チャンネル

このセクションでは、カメラの設定、ライブ映像設定、IPカメラの管理、IPカメラの画像の調整、PTZセットアップ、モーションセットアップ、モード変更などをすることができます。

1. チャンネル

1. チャンネル構成

5.1.1 IP チャンネル



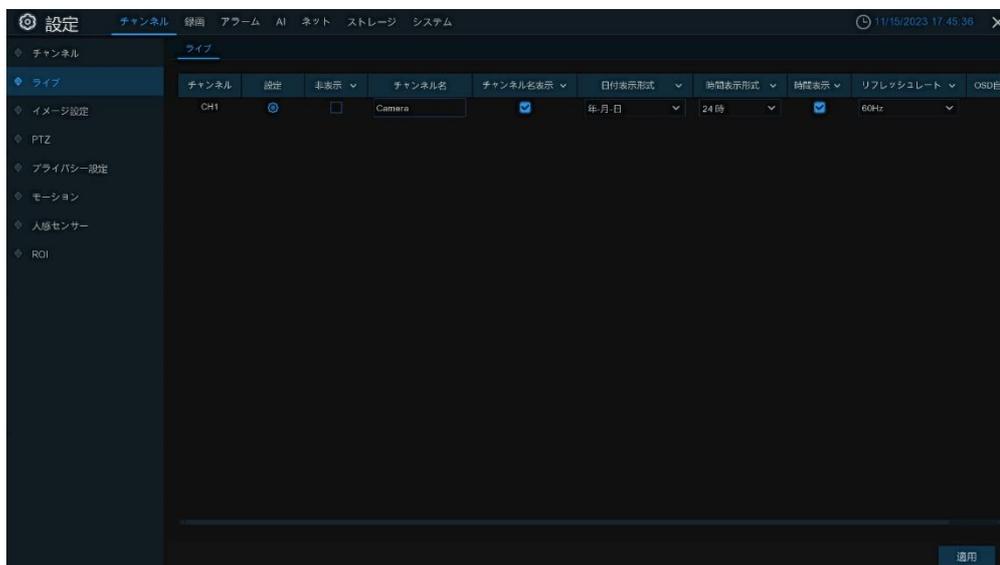
レコーダーへのカメラの登録方法は4.1.4 IPカメラ設定をご確認ください。

5.1.2 PoE 電源

NVR の PoE 電源を使用している場合、電源使用量と余剰電力をモニタリングすることができます。

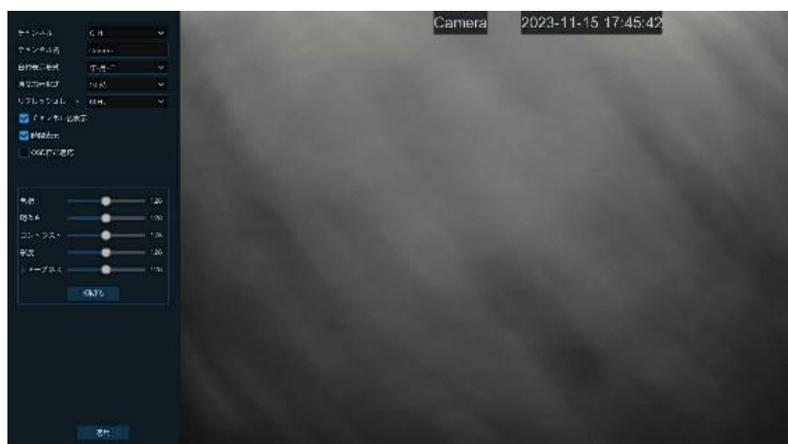
5.1.3 ライブ

カメラのパラメータを設定します。



チャンネル : チャンネル名を表示します。

設定 : アイコンをクリックすると設定ページに移動します。



設定するチャンネルを選択します。

カメラ名を設定します。

カメラに表示する日付形式

カメラに表示する時間形式

周波数

チャンネル名を表示する場合はチェックを入れます。

時間を表示する場合はチェックを入れます。

OSD 見やすく自動最適化する場合はチェックを入れます。

色相を調整します。

明るさを調整します。

コントラストを調整します。

彩度を調整します。

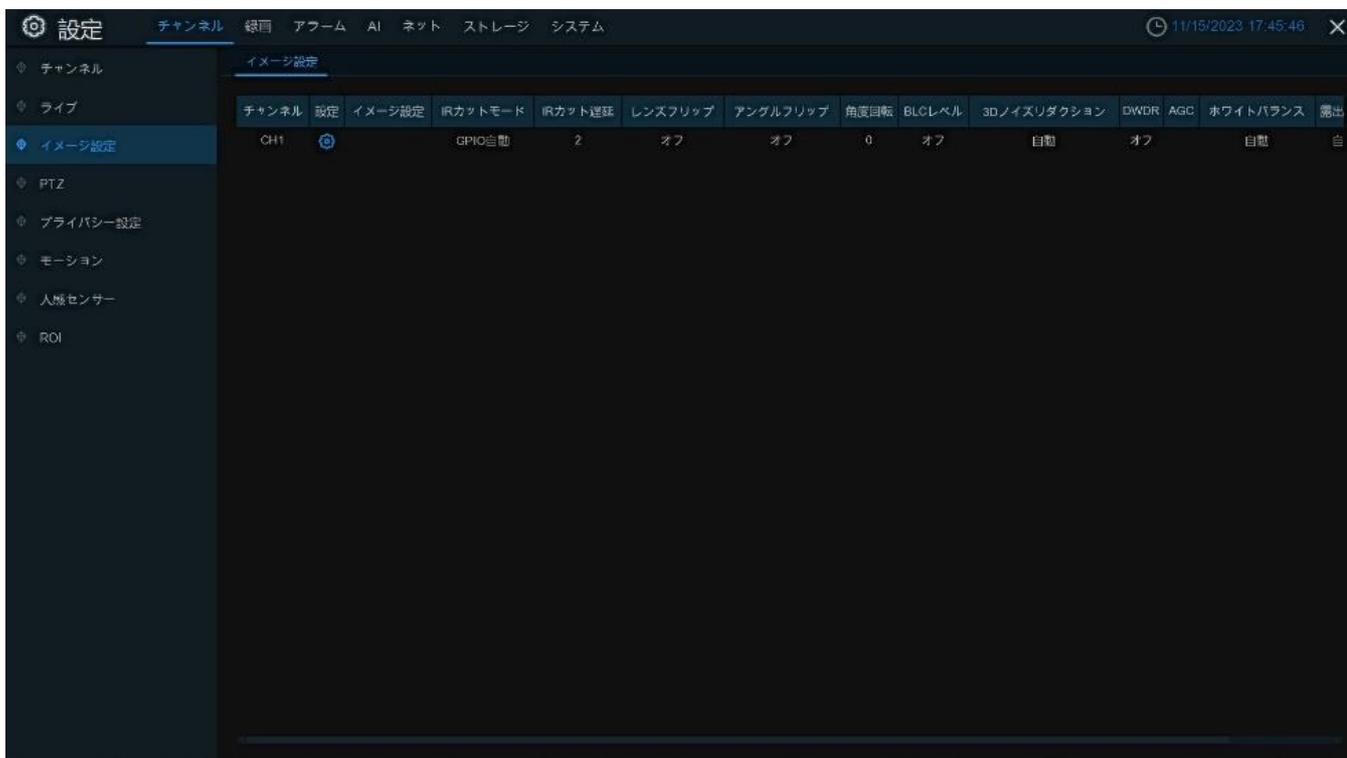
シャープネスを調整します

初期値に戻します。

5.1.4 イメージ設定

このメニューでは、サポートされているIPカメラの画像イメージを設定できます。

設定→チャンネル→イメージから設定できます。



チャンネル：チャンネル名。

設定：クリック アイコンをクリックして詳細な設定ページに移動します。

昼夜カメラが適切な映像を撮影するように IR カットフィルターのモードを変更します。

IR カット遅延：IR カットフィルターが作動するタイミングを調整します。

IR-LED：IR-LED の作動方法を設定します。レ

レンズフリップ：上下の反転

アングルフリップ：左右の反転

コリドーモード：長い廊下など全体を映せるように画像を合成します。

角度回転：フリップする角度を設定します。

露出補正：露出補正します。WDR、HLC、BLC、無効

3D ノイズリダクション：3D ノイズリダクション機能を有効または無効にします。

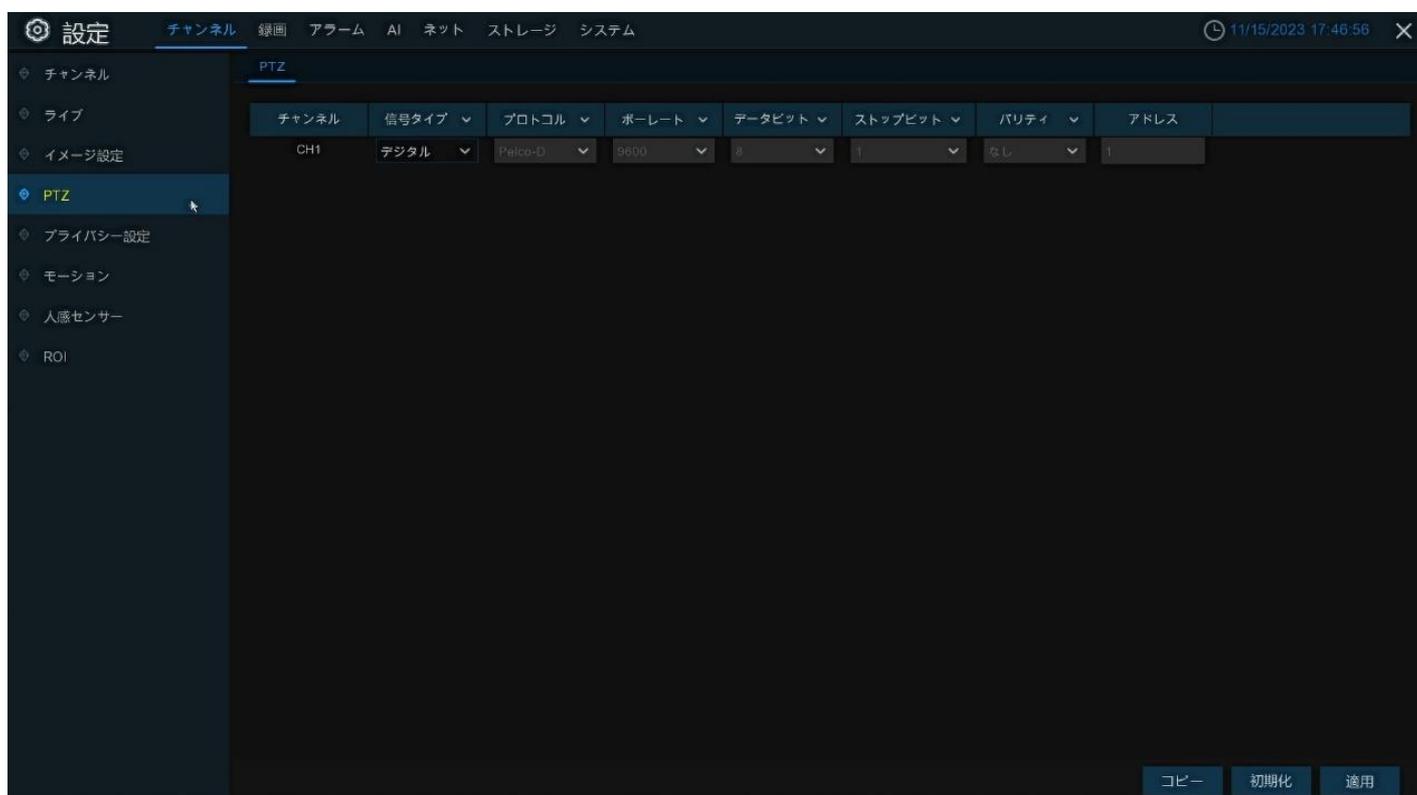
ホワイトバランス：ホワイトバランスの自動と手動を設定します。

シャッター：シャッタースピードを自動または手動に設定します。

露出時間：カメラの露出時間を設定します。

5.1.5PTZ

このメニューでは、PTZカメラのプロトコル設定を行います。設定→チャンネル→PTZから設定できます。



チャンネル：チャンネル名。

信号タイプ：同軸カメラはアナログ、IPカメラの場合はデジタルを選択してください。

プロトコル：PTZを制御するプロトコルを選択します。Pelco-DまたはPelco-C

ボーレート：NVRからPTZ対応カメラに送信される情報の速度を選択します。PTZカメラの設定値と合わせてください。

データビット/ストップビット：NVRとPTZ対応カメラ間の情報は、個別のパッケージで送信されます。データビットは送信されたビット数となり、エンドビットはパッケージの終わり、次の(情報)パッケージの始まりを示します。データビットに使用可能なパラメータは、8、7、6、5です。ストップビットに使用可能なパラメータは1または2です。

パリティ：エラーチェックです。この設定に関する詳細はPTZカメラ本体のマニュアルを参照してください。

アドレス：PTZシステムのコマンドアドレスです。複数のPTZカメラをコントロールするには固有のアドレスが必要です。

5.1.5.1 PTZ コントロール

PTZ 設定が完了したら、PTZ 機能を使用して PTZ カメラを制御できます。

- 1) ライブ視聴画のチャンネルをマウスで左クリックして開きますカメラクイック ツールバー 
- 2) PTZ コントロールパネルが表示されます。



- ① **チャンネル** : PTZ カメラのチャンネルを選択します。
- ② **巡回開始** : プリセットポイントを設定して PTZ クルーズを開始 / 停止します。
- ③ **UTC** : このチャンネルのプロトコルを COAX1 または COAX2 として選択した場合、は UTC メニューが表示されますまたこのアイコンをクリックすると UTC OSD メニューに入ります。
- ④ **スピード** : PTZ スピードを調整します。
- ⑤ **ポインターパネル** :
 - ① 方向矢印をクリックすることで PTZ カメラの向きを選択します。
 - ② UTC OSD メニューでカーソルを移動するには上 / 下 / 左 / 右矢印をクリックします。
 - ③ オートパンモードに切り替えます。
- ⑥ **ズーム** : 拡大と縮小をします。
- ⑦ **フォーカス** : 映像のピントを調整します。
- ⑧ **アイリス** : カメラのアイリスを調整します。
- ⑨ **プリセット** : プリセットパネルを表示 / 非表示します。
- ⑩ **トータル** : プリセットポイントの総数を表示します。
- ⑪ **パリティ** : エラーチェックです。この設定に関する詳細は PTZ カメラ本体のマニュアルを参照してください。
- ⑫ **アドレス** : PTZ システムのコマンドアドレスです。複数の PTZ カメラをコントロールするには固有のアドレスが必要です。

5.1.6 プライバシーゾーン設定

カメラの映像の中で見せたくない任意の場所にマスクをすることで、プライバシーに配慮します。映像上にプライバシーゾーンを4カ所から作成することができます。プライバシーゾーンの有効にして必要なエリアにチェックを入れてください。

設定→チャンネル→プライバシー設定

設定方法

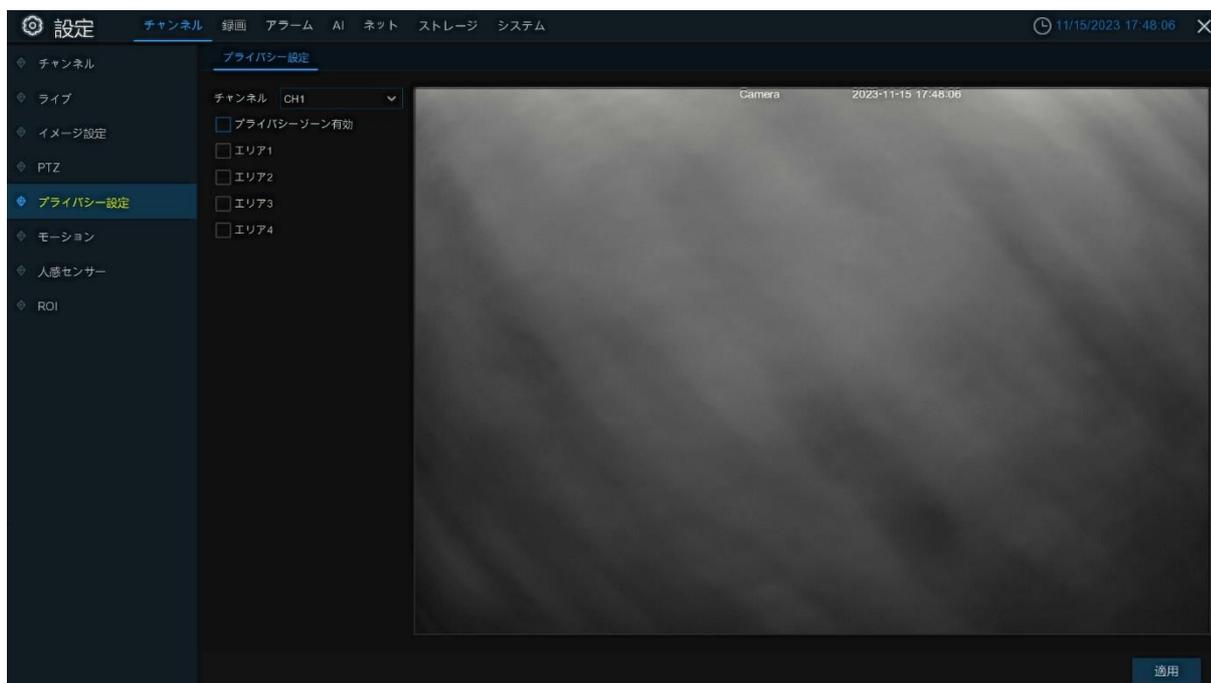
プライバシー設定でプライバシーゾーン有効のチェックを入れます。

チェックした後にエリアを選択すると赤枠が表示されるので隠したい場所に移動し拡大、縮小させることができます。

エリアを設定したのち右下の適用をクリックすると反映されます。

解除方法

エリア番号左のチェックボックスからチェックを外して適用をクリックするとプライバシーゾーンが解除されます。

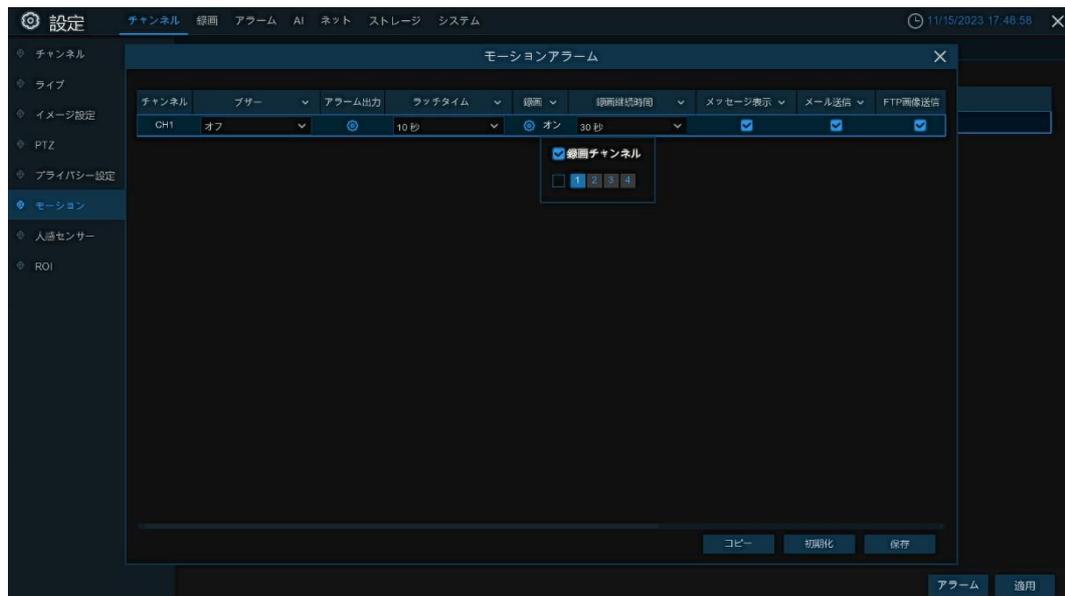


5.1.7 モーション

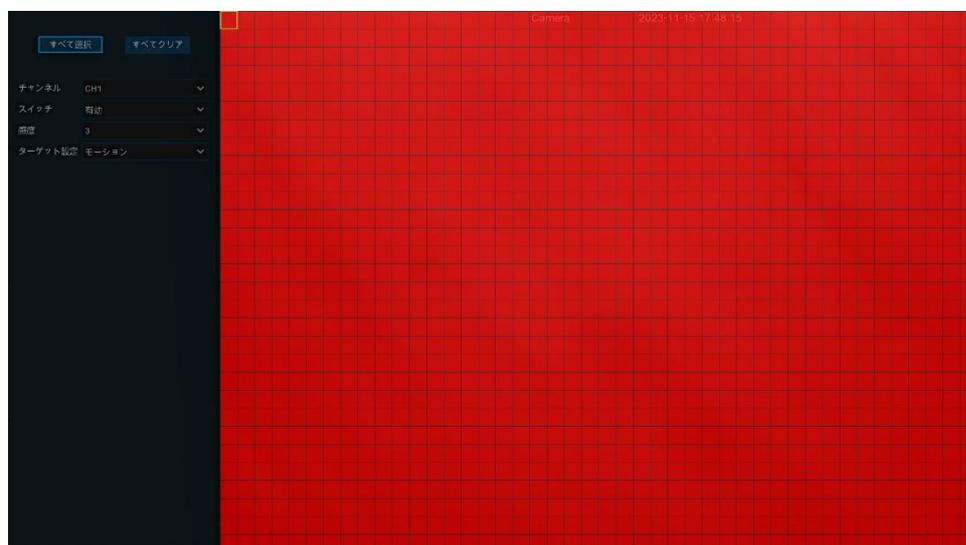
このメニューでは、モーションを設定できます。

カメラが映像の動きを検知すると録画が開始されてアラームが作動します。

設定→チャンネル→モーション



設定：クリック  アイコンを設定ページに移動します。



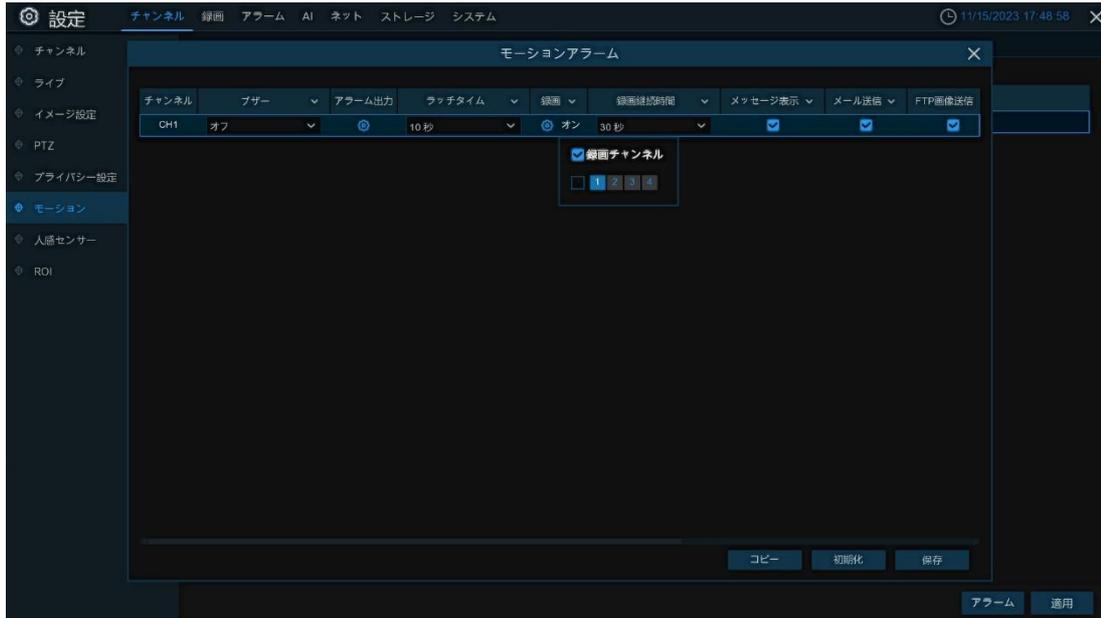
モーション検知エリア：

デフォルトでは画面全体がモーション検知エリアに設定されています。モーション検知を無効にしたいエリアは透明のブロックにしてください。

エリアを設定後マウスの右クリックで前のメニューに戻り適用をクリックするとエリア設定が有効になります。

5.1.8 アラーム

動体検知アラーム機能を設定します。



チャンネル：カメラチャンネルが表示されます。

ブザー：NVR 内部のブザーを使用してアラーム音を発砲します。

アラーム出力：外部アラーム機器を接続した場合の有効と無効の設定をします。

ラッチタイム：モーションが検出されたときの外部アラーム時間を設定します。

録画： アイコンをクリックして、モーション検出がトリガーされたときに録画するチャンネルを選択します。

録画継続時間：モーション検知してから録画する時間を設定します。30 秒から 5 分を選択可能です。✖

メッセージを表示：チェックボックスをオンにすると、モーションが検出されたときにライブビューにモーションアイコンが表示されます。

メール送信：モーション検出した際にメールを送信することができます。

FTP 画像送信：モーション検知した際に FTP サーバーに画像をアップロードします。

FTP 動画送信：モーション検知した際に FTP サーバーに動画をアップロードします。

クラウド画像送信：モーション検知した際にクラウドサーバーに画像をアップロードします。

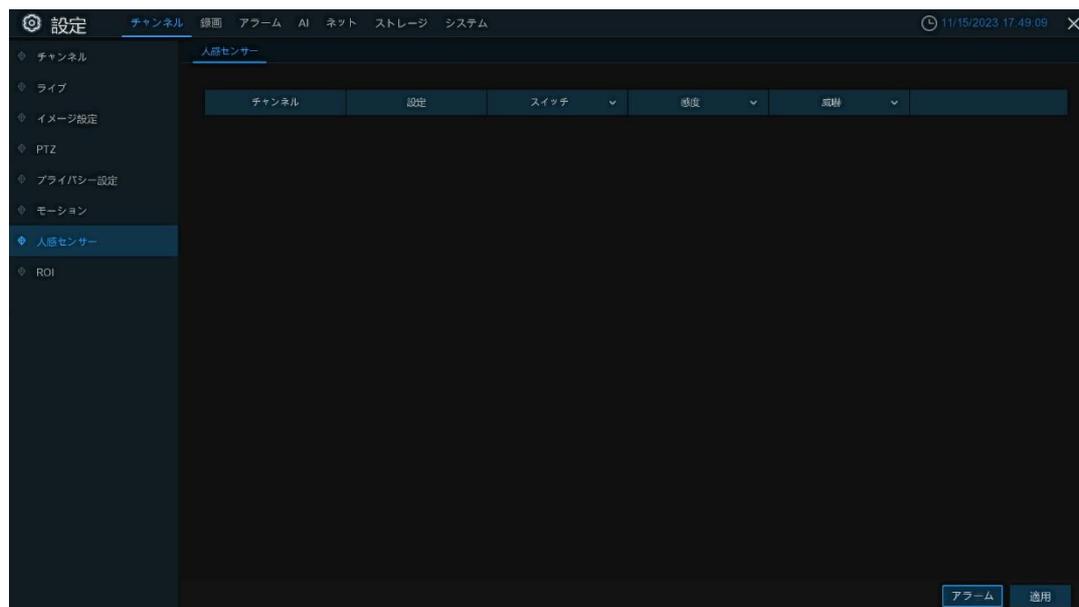
クラウド動画送信：モーション検知した際にクラウドサーバーに動画をアップロードします。

全画面表示：モーション検知した際にチャンネルがフル画面で表示されます。

音声警告：モーション検知した際に音声プロンプトで警告音を発砲します。

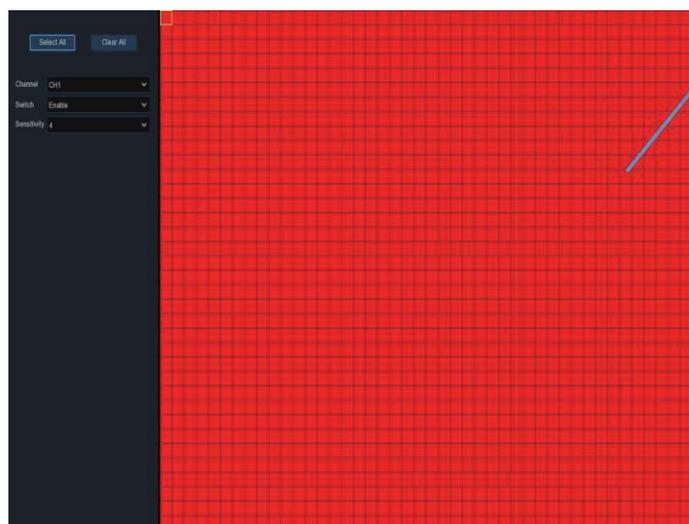
5.1.9 人感センサー (PIR)

人感センサーメニューでは人感センサーやホワイト LED 搭載のカメラがセンサーで検知した場合にライトとサイレンによって侵入者を威嚇することができます。



設定 :  アイコンをクリックして設定ページに移動します。

設定→チャンネル→人感センサー



PIR 検出エリア : デフォルトでは、画面全体が PIR 検出にマークされています (赤いブロック) 特定の領域で PIR 検出を無効にする場合は、グリッドカーソルをクリックしてからマウスをドラッグしてその領域のマークを解除します。透明ブロック。設定が完了したら、マウスの右ボタンをクリックして戻り、クリックします保存エリア設定を有効にします。

スイッチ : 人感センサーを有効または無効にします。

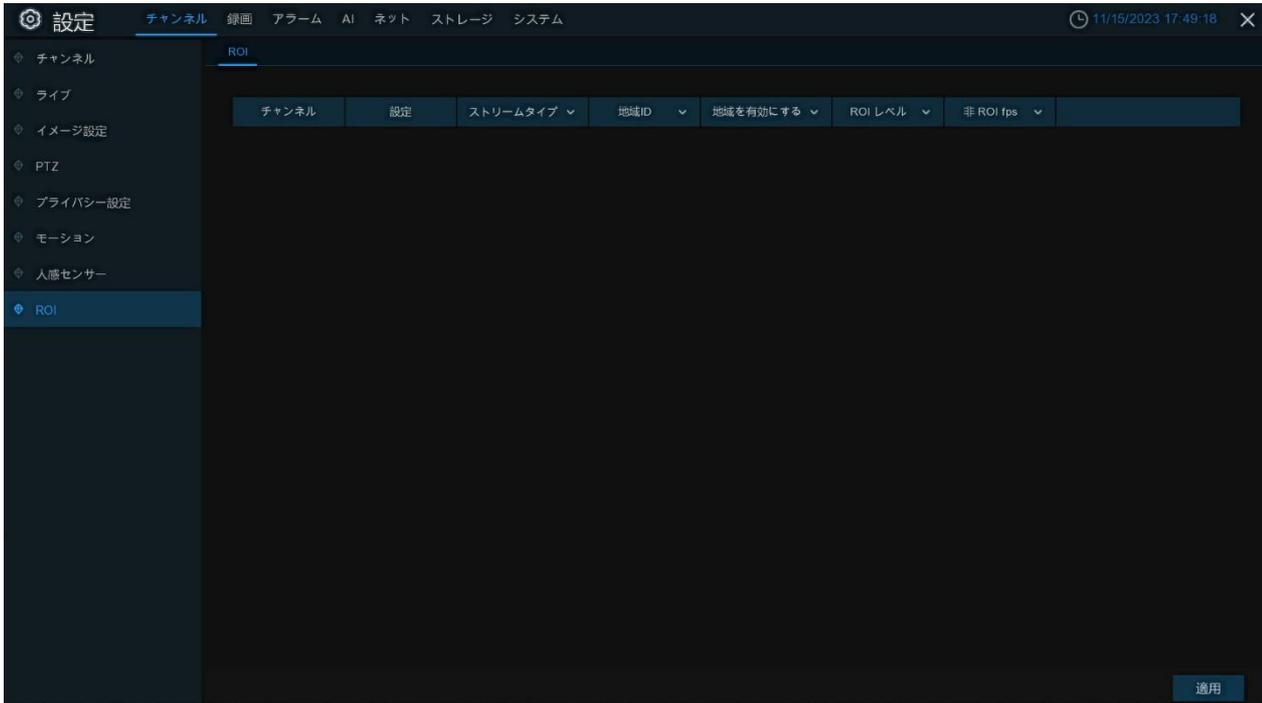
感度 : 感度レベルを設定します。レベル 1 が最も低い感度レベルで、レベル 8 が最も高い感度レベルです。

5.1.10 ROI(関心領域 : Region of Interest)

ここでは、ROIの設定を行います。

設定→チャンネル→ROI

設定 : クリック  アイコンを設定ページに移動します。



デフォルトでは、画全体が抑 検出にマークされています(いブロック)。特定の領域で抑 の検出を無効にする場合は、グリッドカーソルをクリックしてからマウスをドラッグしてスコープを強調表示し、その領域のマークを解除して透明なブロックにします。設定が完了したら、マウスの右ボタンをクリックして戻り、クリックします 保存エリア設定を有効にします。

チャンネル : ROIの設定を入れるチャンネルを選択します。

ストリームタイプ : 設定をするストリームタイプを選択します。

地域ID : 指定する8つのエリアより設定します。

ROIレベル : ROIレベルを最低から最高まで6段階で設定します。

非ROI fps : 非ROIfpsを設定します。指定したエリア外のFPSとなります。高ければ滑らかに、低ければかきついた映像になります。

感度 : 感度レベルを設定します。レベル1が最も低い感度レベルで、レベル8が最も高い感度レベルです。

5.2.録画設定

この設定メニューでは録画の詳細設定が可能です。

5.2.1 エンコード設定

このメニューでは録画映像の設定とネットワーク伝送時のエンコード設定を行います。メインストリームはHDDに保存される録画データでサブストリームは遠隔監視時に表示される映像に関する設定です。モバイルストリームはスマホなどのモバイルデバイスでアクセスする際に表示される映像の品質です。

設定→録画設定→エンコード設定

※画像

ストリームタイプ：画面上段のタブでメイン、サブ、モバイル、音声の4種類を選択します。モバイルのみ有効、無効を選択可能です。

解像度：映像出力の解像度を選択します。FPS

：録画するフレームレートを選択します。

ビデオエンコードタイプ：H.265またはH.264の圧縮方式を選択します。

ビットレート制御：CBRは固定ビットレートでデータ伝送します。またVBRは可変ビットレートで画質に合わせてビットレートを調整する機能です。

ビットレートモード：ビットレートを自分で入力する場合は、入力式を選択して既定のビットレートから選択する場合は選択しを選んでください。

ビットレート：映像の画質品質やデータ転送速度を設定します。ビットレートが高いほど画質は向上します。ただし録画日数に影響があるため、解像度に適したビットレートを設定してください。

Iフレーム間隔：Iフレームを挿入する間隔を設定します。デフォルト設定のままご利用ください。音

声有効：音声入出力があるカメラはチェックを入れることで有効と無効を切り替えます。

出力音量：音声出力の音量を調整します。出力音声は最大10から最小0まで設定が可能です。

入力音声：音声入力の音量を調整します。入力音声は最大10から最小0まで設定が可能です。

タイプ：音声コーデックをG711AとG711Uの2種類から選択します。

| チャンネル | ストリームタイプ | 解像度 | FPS | ビデオエンコードタイプ | ビットレート制御 | ビットレートモード | ビットレート | 音声 |
|-------|----------|-------------|-----|-------------|----------|-----------|--------|----|
| CH1 | ノーマル | 2592 x 1944 | 20 | H.265 | CBR | 選択式 | 3072 | |

合計バンド幅:50Mbps, 使用バンド幅:4.25Mbps

適用

5.2.2 録画

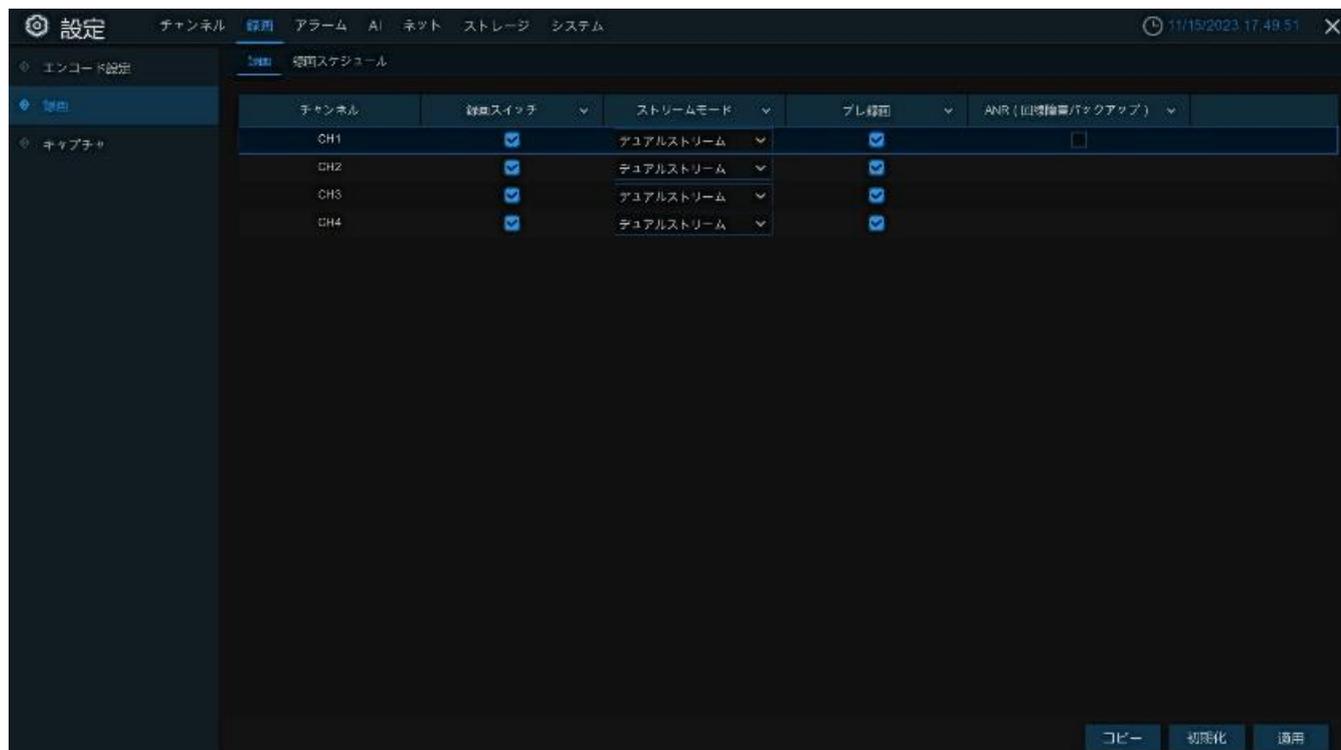
録画のオンオフ設定とデュアルストリーム、プレ録画などの設定を行います。

設定→録画→録画

録画スイッチ：録画のを有効にする場合はチェックを入れます。

ストリームモード：録画するストリームを選択します。メインはメインストリームのみで、デュアルストリームはメインとサブの両方を同時に録画します。

プレ録画：チェックを入れるとイベントが発生する数秒前から録画を開始します。モーション検知や外部センサーを使う場合、このオプションを使用します。



5.2.2.1 録画スケジュール

チャンネル別で曜日、時間帯、録画モード(連続録画、モーション、IOアラーム、人感センサー録画)別で録画スケジュールを設定できます。

設定→録画→録画

チャンネルを設定してから右側の録画モードを選択します。選択した後にスケジュール上でカーソルをドラックして設定します。他のチャンネルに同じ録画スケジュールをコピーする場合はコピー機能を使用してください。最後んび適用をクリックして設定を保存します。

チャンネル：スケジュールするチャンネルを選択します。

連続：連続録画は常時録画をします。緑色のバーで表示されます。

モーション：映像上に変化があった場合に録画を開始します。黄色のバーで表示されます。

アラームIO：外部センサー検知した場合に録画を開始します。赤色のバーで表示されます。

人感センサー：カメラの人感センサーが検知された場合に録画を開始します。紫の色のバーで表示されます。

録画なし：黒く表示されます。



5.3.1 キャプチャ

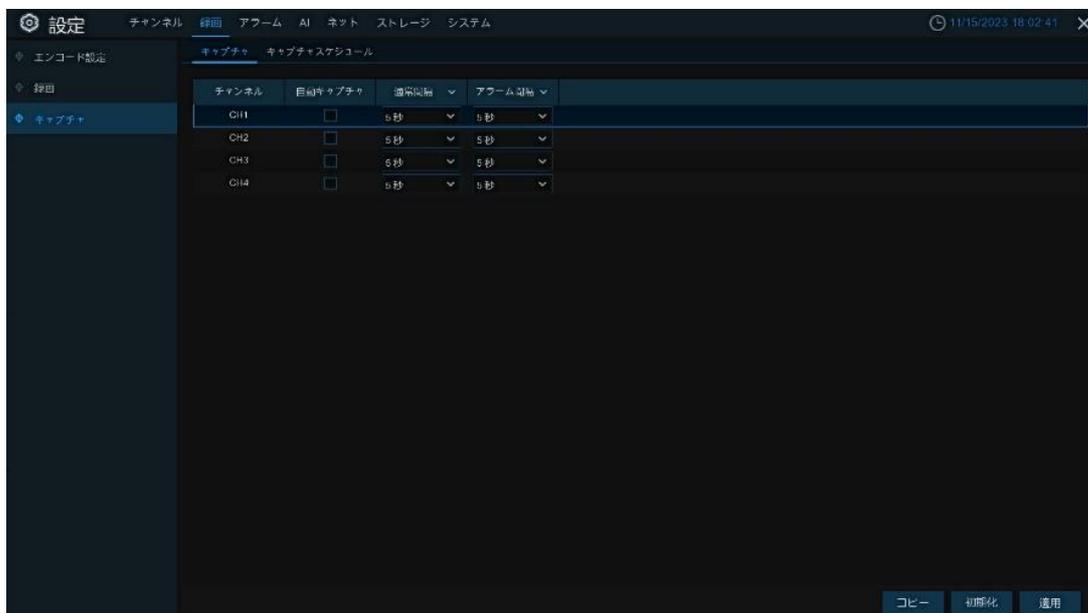
画面キャプチャー機能を設定します。

設定→録画→キャプチャ

自動キャプチャ：チャンネルの自動キャプチャーを有効または無効にします。

通常間隔：通常録画の画像をキャプチャーする間隔を選択します。

アラーム間隔：モーション、アラームIO、人感センサーが検知された時にキャプチャーする画像の間隔を設定します。



5.3.1.1 キャプチャースケジュール

チャンネル：設定するチャンネルを選択します。

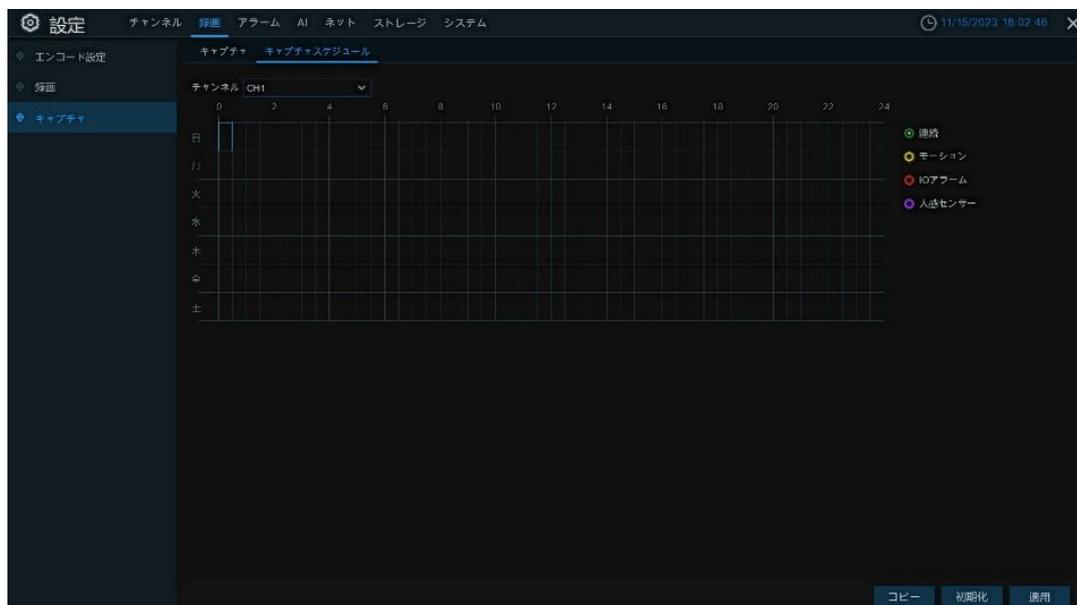
連続：通常録画をキャプチャーします。スケジュールは緑色で表示されます。

モーション：映像上に変化が発生した場合のみキャプチャーします。スケジュールは黄色で表示されます。

IOアラーム：外部センサー検知した場合にキャプチャーします。スケジュールは赤色で表示されます。

人感センサー：人感センサーが検知した場合にキャプチャーします。スケジュールは紫色で表示されます。

キャプチャーなし：黒く表示されています。



5-4 アラーム

アラーム機能の詳細設定をします。

5.4.1 モーションアラーム

モーション検知機能の設定を行います。

設定→アラーム→モーションアラーム

ブザー：モーション検知した際にレコーダーからブザー音を出します。ブザー音の持続時間は秒単位で設定可能です。

アラーム出力：モーション検知した際に外部アラームに出力信号を送る

ラッチタイム：アラーム出力の動作時間を設定します。

録画：アイコンをクリックしてモーション検知した際に録画するチャンネルを選択します。

録画継続時間：モーション検知時の録画継続時間を設定します。推奨時間は30秒です。

メッセージ表示：モーション検知時にライブ画面にアイコンが表示されます。

メール送信：モーション検知時に登録したメールアカウントにメール送信します。

FTP画像送信：モーション検知時にFTPサーバーに画像をアップロードします。

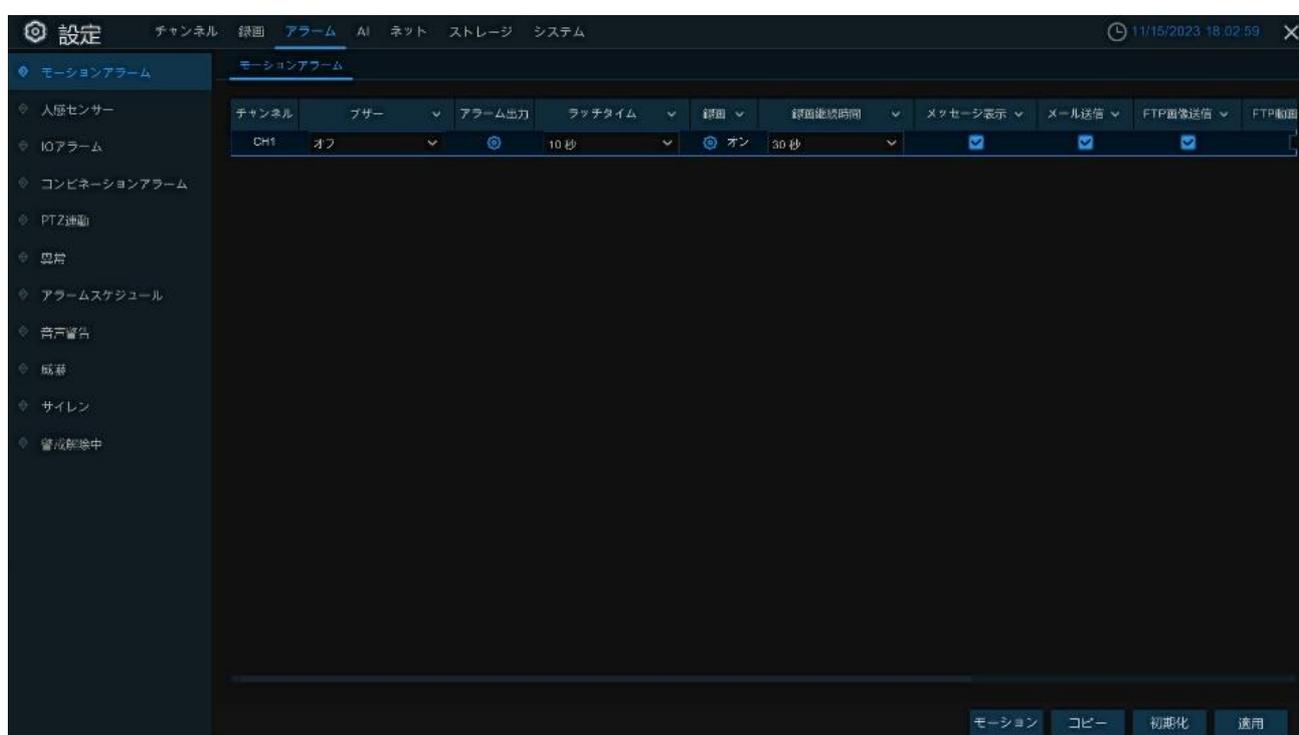
動画送信：モーション検知時にFTPサーバーに動画をアップロードします。

クラウド画像送信：モーション検知時にクラウドサーバーに画像をアップロードします。

クラウド動画送信：モーション検知時にクラウドサーバーに動画をアップロードします。

全画面表示：モーション検知時に検知したチャンネルをフル画面で表示します。

音声警告：モーションを検知した際に音声プロンプトを使用して警告を発します。



5.4.2 人感センサー

モーション検知機能の設定を行います。

設定→アラーム→モーションアラーム

ブザー：人感センサーが検知された場合にブザー音を出力することができます。ブザー音の持続時間は秒単位で設定できます。

アラーム出力：人感センサーが検知した場合、外部の警報装置にアラーム出力します。

ラッチタイム：アラーム出力の動作時間を設定します。

録画：アイコンをクリックして人感センサーが検知した際に録画したいチャンネルを選択します。

録画継続時間：人感センサー検知時の録画継続時間を設定します。最大5分まで設定できます。メ

ッセージ表示：人感センサー検知時にライブ画面にメッセージが表示されます。

メール送信：人感センサー検知時に登録したメールアドレスにメールが送信されます。

FTP 画像送信：センサー検知時に FTP サーバーに画像をアップロードします。

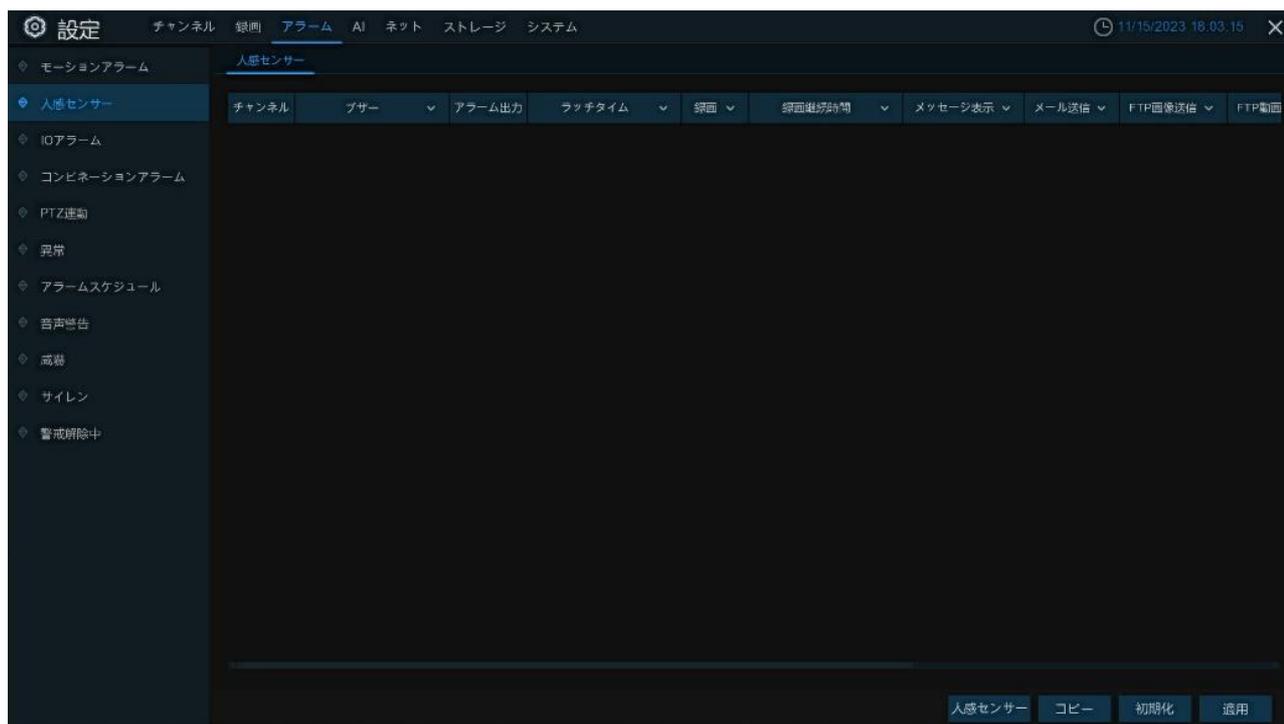
FTP 動画送信：センサー検知時に FTP サーバーに動画をアップロードします。

クラウド画像送信：センサー検知時にクラウドサーバーに画像をアップロードします。

クラウド動画送信：センサー検知時にクラウドサーバーに動画をアップロードします。

全画面表示：センサー検知時に検知したチャンネルがフルスクリーンで表示されます。

音声警告：センサーを検知した際に音声プロンプトを使用して警告を発します。



5.4.3 I/O アラーム

I/O 機能の設定を行います。設

定→アラーム→I/O アラーム

アラーム入力：入力チャンネルごとに設定します。

アラームタイプ：3つのアラームタイプから選択します。ノーマルオープン、ノーマルクローズ、オフから選択します。設置する外部センサーの種類によって選択してください。

ブザー：外部センサーが検知した際のブザー音を鳴らすことができます。ブザー音の持続時間は秒単位で設定できます。

アラーム出力：外部センサーが検知した際の外部機器へのアラーム出力の設定をします。

ラッチタイム：アラーム出力の作動時間を設定します。

チャンネル：アイコンをクリックして外部センサーが検知した際の録画チャンネルを選択します。

録画継続時間：外部センサー検知時の録画継続時間を設定します。最大5分まで設定できます。メ

ッセージ表示：外部センサー検知時にライブ画面にメッセージが表示されます。

メール送信：外部センサー検知時にメールを送信します。

FTP 画像送信：外部センサー検知時に FTP サーバーに画像をアップロードします。

| | アラーム入力 | アラームタイプ | ブザー | アラーム出力 | ラッチタイム | チャンネル | 録画継続時間 | メッセージ表示 | メール送信 | FTP画像送信 |
|--------------|---------|----------|-----|--------|--------|-------|--------|---------|-------|---------|
| IOアラーム | ローカル<-1 | ノーマルオープン | 無効 | ☑ | 10秒 | ☑ | 30秒 | ☑ | ☑ | ☑ |
| コンピネーションアラーム | ローカル<-2 | ノーマルオープン | 無効 | ☑ | 10秒 | ☑ | 30秒 | ☑ | ☑ | ☑ |
| | ローカル<-3 | ノーマルオープン | 無効 | ☑ | 10秒 | ☑ | 30秒 | ☑ | ☑ | ☑ |
| PTZ型 | ローカル<-4 | ノーマルオープン | 無効 | ☑ | 10秒 | ☑ | 30秒 | ☑ | ☑ | ☑ |

5.4.4 コンビネーションアラーム

コンビネーションアラームの設定を行います。

設定→アラーム→コンビネーションアラーム

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

アラーム有効：コンビネーションアラームの設定を有効または無効に設定します。

コンビネーション設定：併用するアラームタイプを選択します。

ブザー：アラームを検知した際のブザー音を鳴らすことができます。ブザー音の持続時間は秒単位で設定できます。

アラーム出力：アラームを検知した際の外部機器へのアラーム出力の設定をします。

ラッチタイム：アラーム出力の作動時間を設定します。

録画：アラームを検知した際の録画チャンネルを設定します。

録画継続時間：アラームを検知した際の録画継続時間を設定します。

メッセージ表示：アラーム検知時にライブ画面にメッセージが表示されます。

メール送信：アラーム検知時にメールを送信します。

FTP 画像送信：アラーム検知時にFTP サーバーに画像をアップロードします。

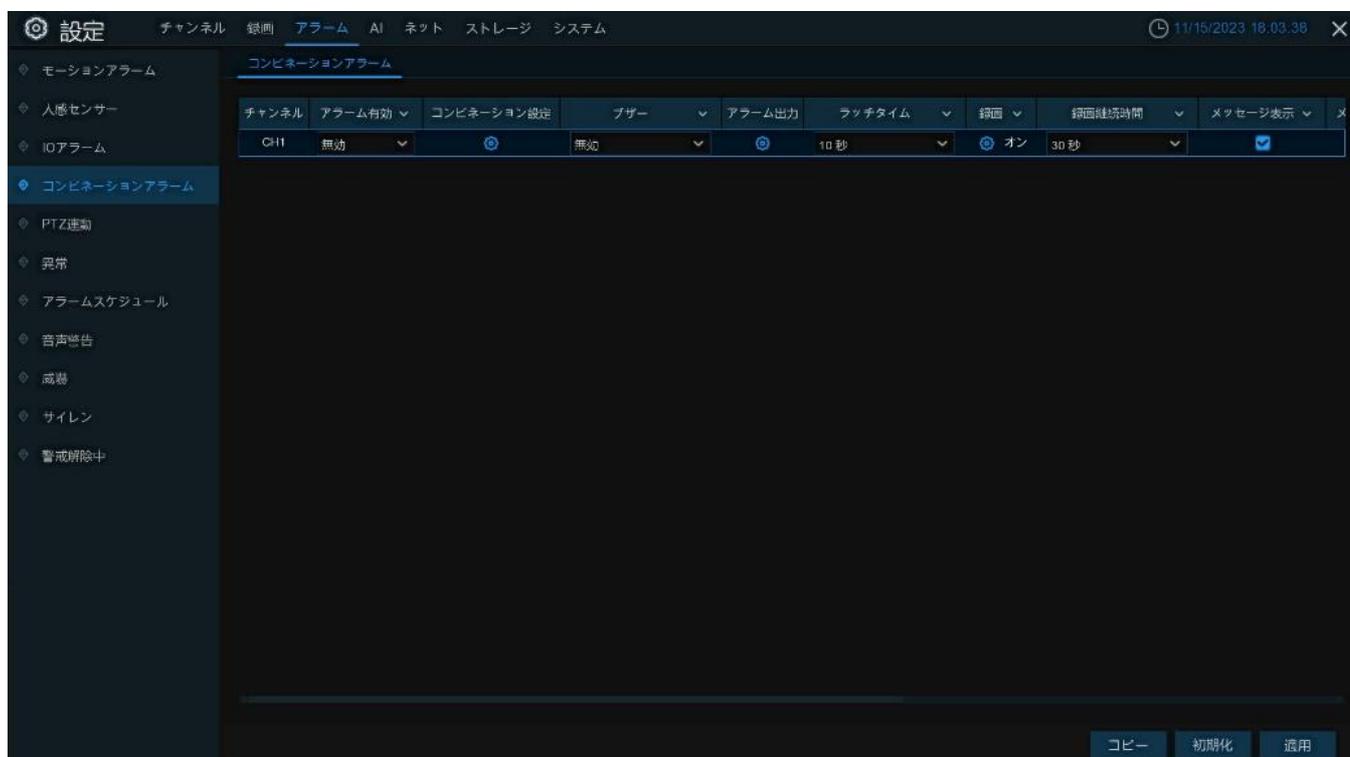
FTP 動画送信：アラーム検知時にFTP サーバーに動画をアップロードします。

クラウド画像送信：アラーム検知時にクラウドサーバーに画像をアップロードします。

クラウド動画送信：アラーム検知時にクラウドサーバーに動画をアップロードします。

全画面表示：アラーム検知時に検知したチャンネルをフル画面で表示します。

音声警告：アラームを検知した際に音声プロンプトを使用して警告を発します。



5.4.5 PTZ 連動

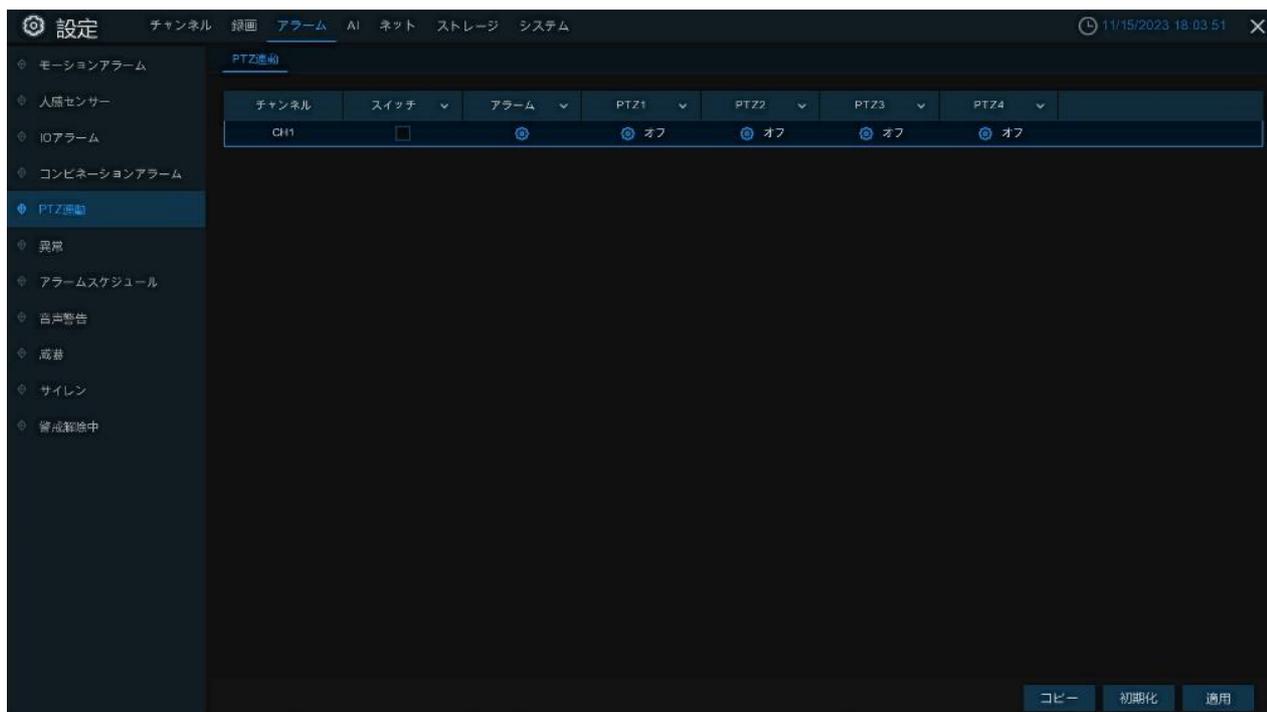
PTZ カメラと各種アラームを連動させる際に設定します。設定→アラーム→PTZ 連動

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

スイッチ：PTZ 連動を有効または無効にします。

アラーム：どのタイプのアラームを検知した際に PTZ カメラと連動させるか選択します。

PTZ：PTZ カメラのプリセットポイントを設定します。



5.4.6 異常アラーム

機器に異常が発生した場合の通知方法を設定します。

設定→アラーム→異常

イベントタイプ：HDD 空き容量なし、HDD エラー、ビデオロスから選択できます。

スイッチ：異常アラーム機能の有効または無効を設定します。

ブザー：異常アラーム時にブザー音を鳴らすことができます。ブザー音の持続時間は秒単位で設定できます。

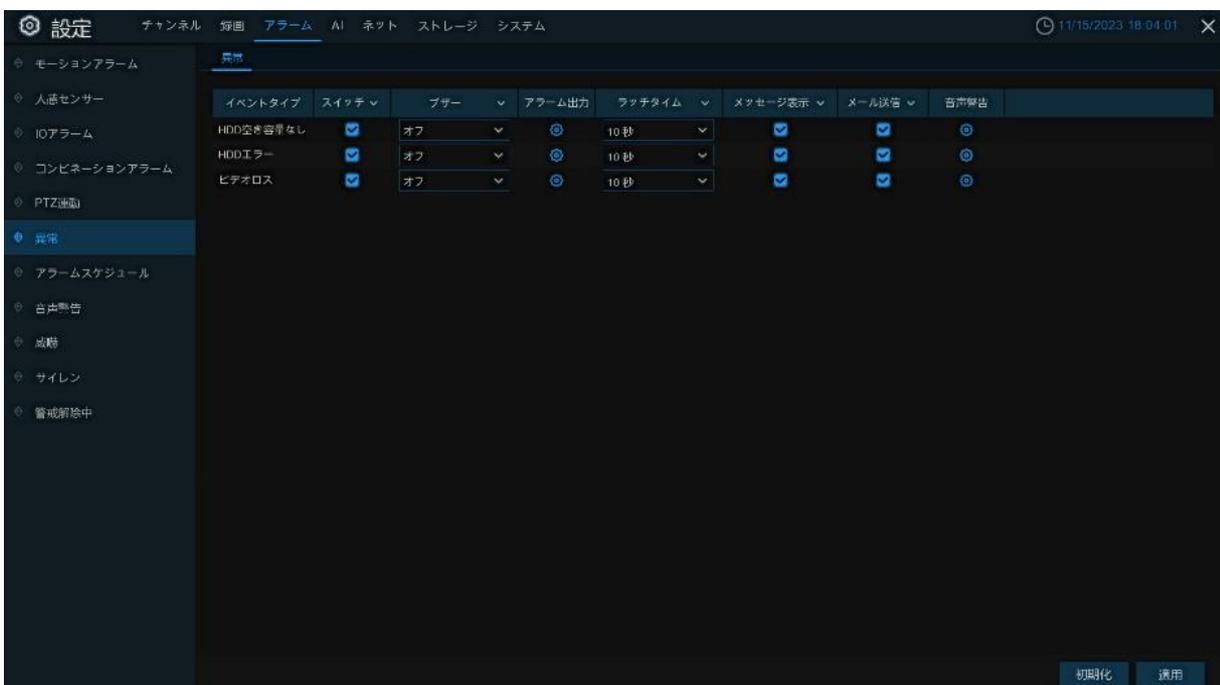
アラーム出力：異常アラーム検知時に、外部機器へのアラーム出力の設定をします。

ラッチタイム：アラーム出力の作動時間を設定します。

メッセージ表示：異常アラーム検知時にライブ画面にメッセージが表示されます。

メール送信：異常アラーム検知時にメールを送信します。

音声警告：異常アラームを検知した際に音声プロンプトを使用して警告を発します。

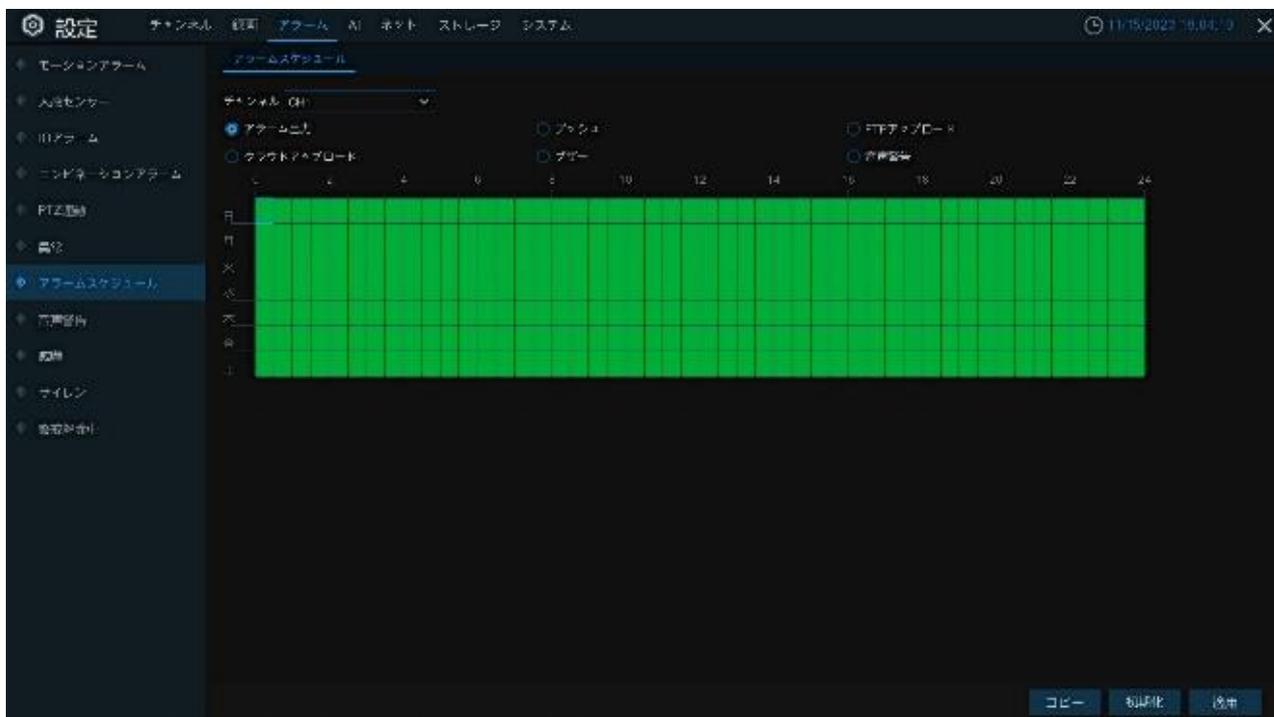


5.4.7 アラームスケジュール

アラームスケジュール設定は

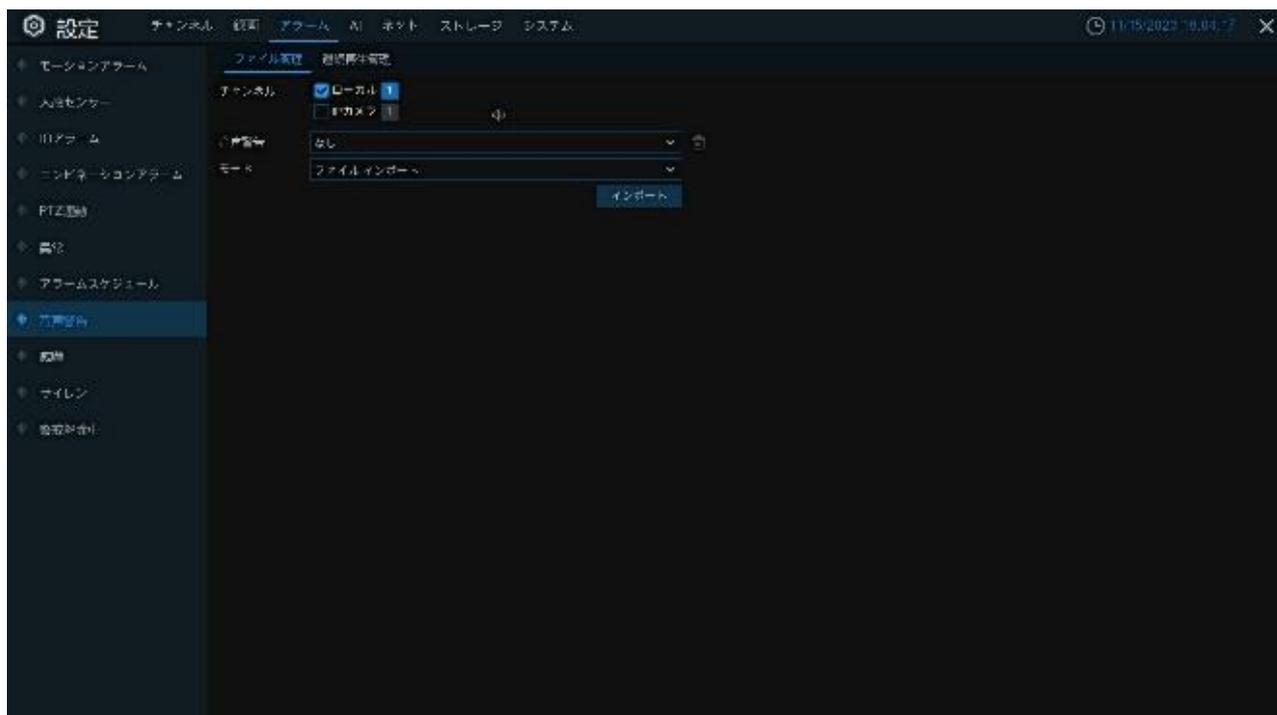
設定→アラーム→アラームスケジュール

スケジュールはチャンネル別、曜日別、時間帯別で設定可能です。スケジュールを設定したいチャンネルを選択して、マウスをドラッグして設定します。スケジュールされた時間帯は緑色で表示されます。他のチャンネルにも適用させる場合はコピー機能をご使用ください。適用をクリックして保存完了です。



5.4.8 音声警告

音声警告設定は 設定→アラーム→音声警告

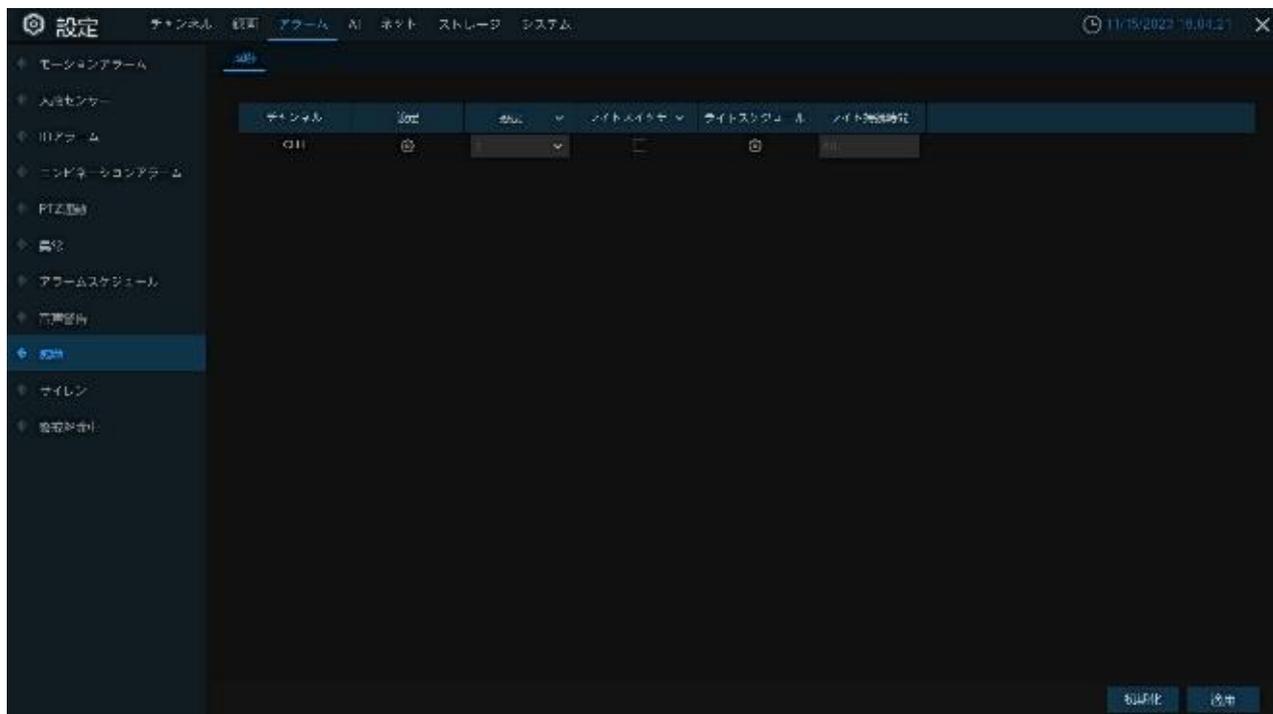


5.4.9 威嚇

音声警告設定を入れることができます。

設定→アラーム→威嚇

人感センサー&ホワイトLED搭載カメラのセンサーが検知した場合にライトで威嚇することができます。

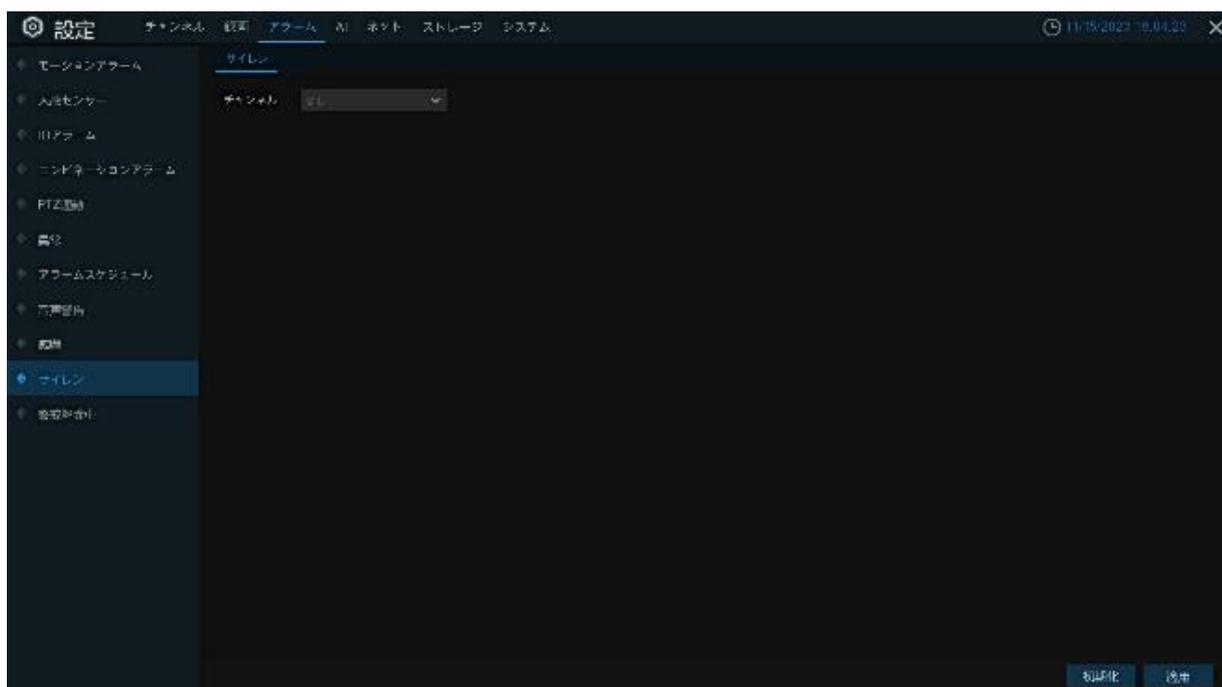


5.4.10 サイレン

音声警告設定を入れることができます。

設定→アラーム→サイレン

人感センサー&ホワイトLED搭載カメラのセンサーが検知した場合にサイレンで威嚇することができます。



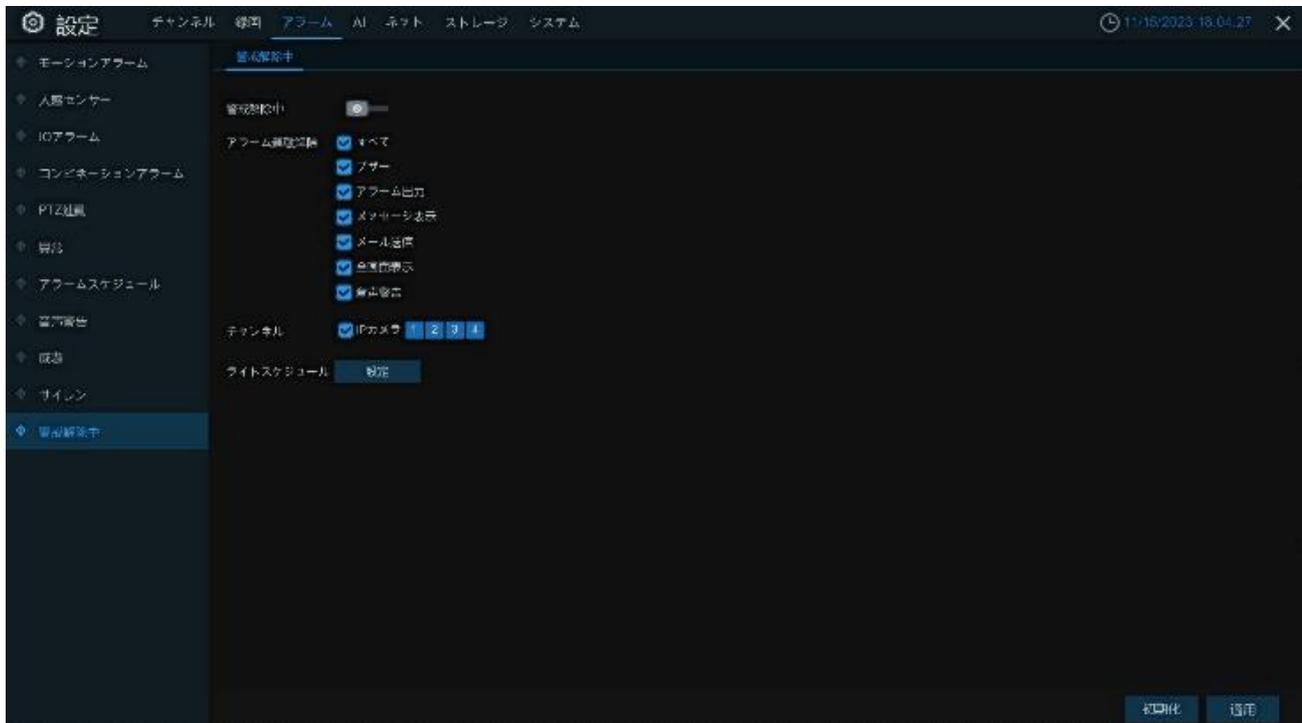
5.4.11 警戒解除中

警戒解除中の設定をすることができます。

設定→アラーム→警戒解除中

警戒解除中：オンにすることで全てのアラームを一時解除します。解除する場合はオフにスライドさせます。

アラーム連動解除：アラーム



5.5.1 顔検知

顔検知機能は指定のエリアを通過した際に、顔を検知し特定のアラーム出力やアクションを実行することができます。

設定→AI→顔検知

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

設定：アイコンをクリックして、映像上へのエリア選択、顔検知の設定を行います。

スイッチ：顔検知の有効または無効の設定をします。

チャンネル：設定したいチャンネルを選択します。

スナップモード：リアルタイムモード/最適モード/インターバルモードの3モードから選択します。リアルタイムモードは3枚の画像をスナップして、最適モードは動画の中で撮影もっとも最適な画像を抽出します。インターバルモードは一定間隔でスナップショットを保存します。

アングル：顔検知の許容範囲アングルの設定をします。

カスタマイズ設定に関して

ロール範囲：顔の傾きの範囲を設定します。0～180の範囲を設定します。

ピッチ範囲：顔の垂直回転の範囲を設定します。0～180の範囲を設定します。

ヨー範囲：顔の水平回転の範囲を設定します。0～180の範囲を設定します。画

像：設定範囲は0～100です。

ヨー範囲：顔の水平回転 フロントビュー初期化、マルチアングル初期化は設定初期値を入力します。最

小ピクセル：画像の中での最小ピクセルを設定します。32～1080の範囲を設定します。

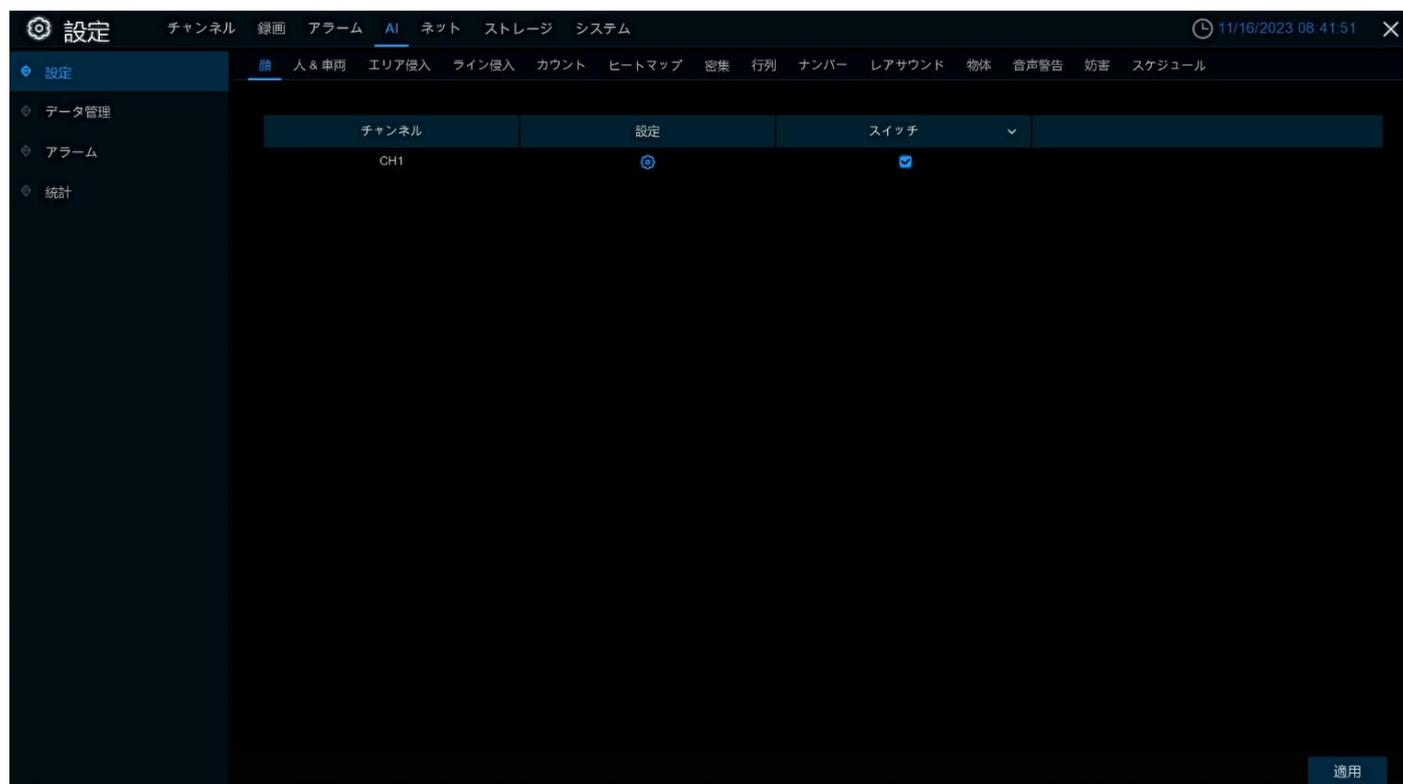
最大ピクセル：画像の中での最大ピクセルを設定します。320～1080の範囲を設定します。顔

協調：顔協調モードの有効と無効を設定します。

検知モード：静的モードまたはモーションから選択します。

ルールの種類：顔検知のルール設定します。四角形もしくはラインで設定します。ラインの場合は任意の位置にラインを引きます。

マーキング：指定したエリアをライブで表示させます。有効または無効の設定をします。



- チャンネル CH1
- スナップモード 最適モード
- アングル マルチアングル
- 最小ピクセル 64 (32-1080)
- 最大ピクセル 640 (320-1080)
- 前強調 有効
- 検知モード 静的モード
- ルールの種類 四角形
- 検知範囲 全画面
- マーキング 有効

保存



5.5.2 人&車両

人もしくは車両のみ検知します。設定→AI→人&車両

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

スナップモード：初期化、リアルタイムモード、インターバルモードから選択します。

初期化モード：最適な画像を撮ります。

リアルタイムモード：3枚の画像をスナップします。

インターバルモード：一定間隔でスナップします。

最小ピクセル：画像の中での最小ピクセルを設定します。64～1080の範囲を設定します。

最大ピクセル：画像の中での最大ピクセルを設定します。320～1080の範囲を設定します。

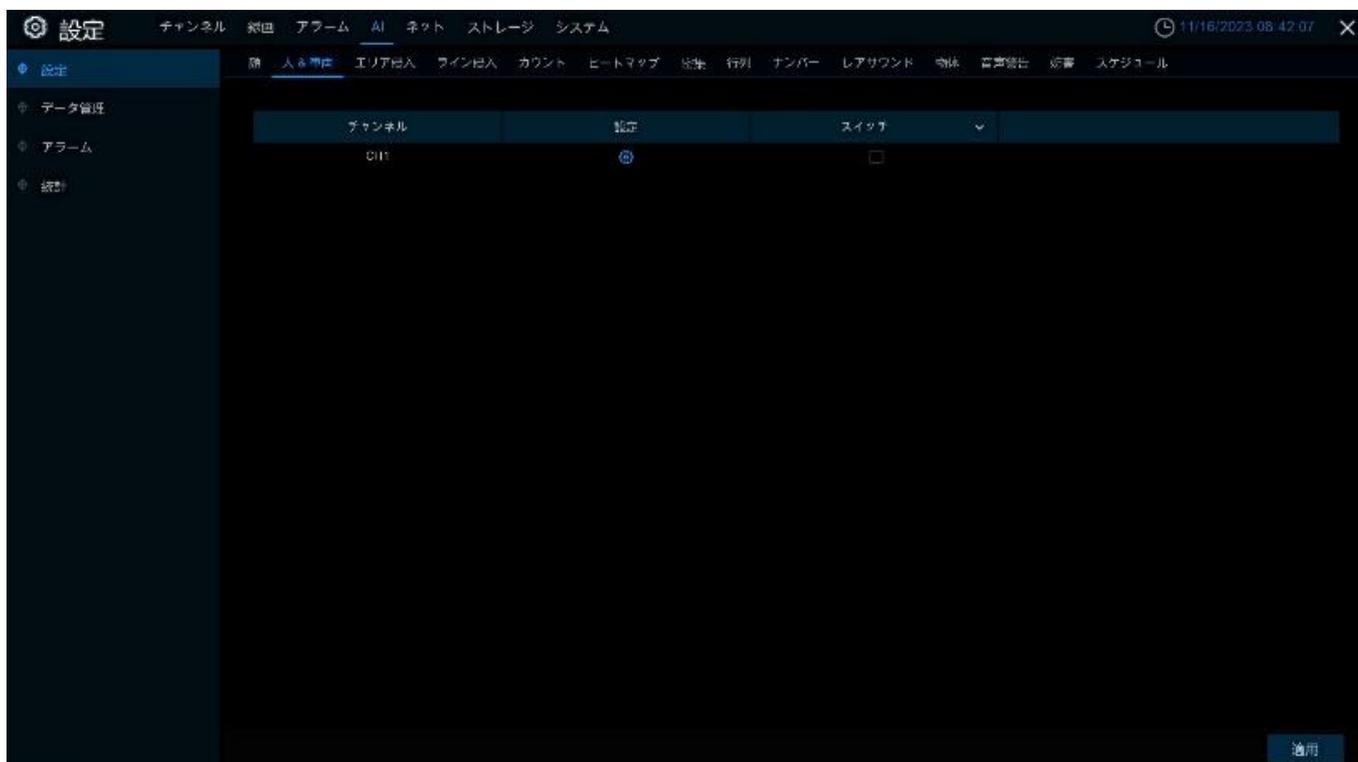
感度：感度の設定をします。1～100の範囲を設定します。

検知タイプ：人もしくは車両、非四輪から選択します。

検知モード：静的モードまたはモーションモードから選択します。

検知範囲：全画面もしくはカスタマイズ(指定エリアの設定)から選択します。

マーキング：指定したエリアをライブで表示させます。有効または無効の設定します。





5.5.3 エリア侵入

エリアを設定してエリア内に人、車両、非四輪の検知をします。

設定→AI→エリア侵入

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

設定：アイコンをクリックして、映像上にエリア侵入の設定を行います。

スイッチ：エリア侵入の有効または無効の設定をします。

感度：感度の設定を1～4で設定します。感度が高いほど、反応しやすくなります。

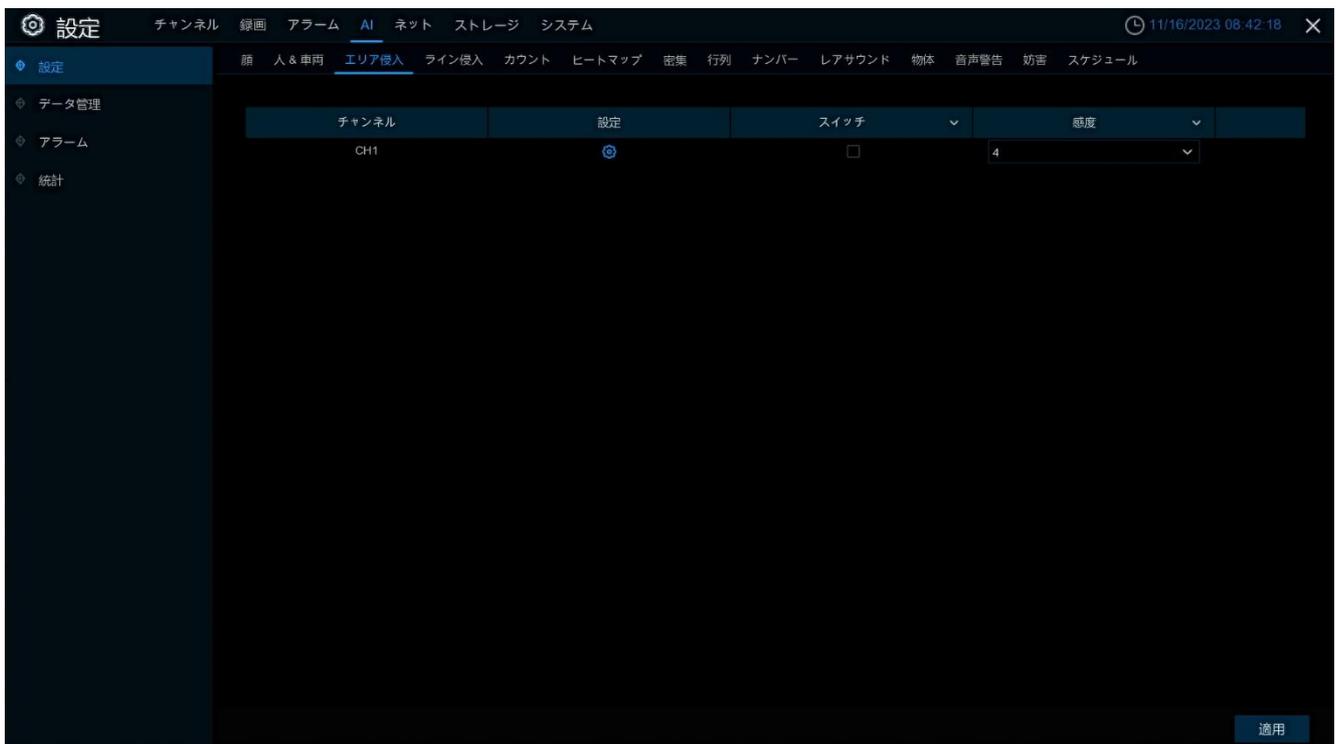
検知タイプ：人、車両、非四輪の中から選択します。

規則番号：4つのエリアを選択します。

規則スイッチ：機能を有効または無効にします。

規則タイプ：エリアに対する侵入方向を選択します。A>B、B>A、A<>Bから選びます。

マーキング：指定したエリアをライブで表示させます。有効または無効の設定をします。



5.5.4 ライン侵入

仮想ラインを設定して、ラインを通過した人、車両、非四輪の検知をします。

設定→AI→ライン侵入

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

設定：アイコンをクリックして、映像上にライン侵入の設定を行います。

スイッチ：ライン侵入の有効または無効の設定をします。

感度：感度の設定を1～4で設定します。感度が高いほど、反応しやすくなります。

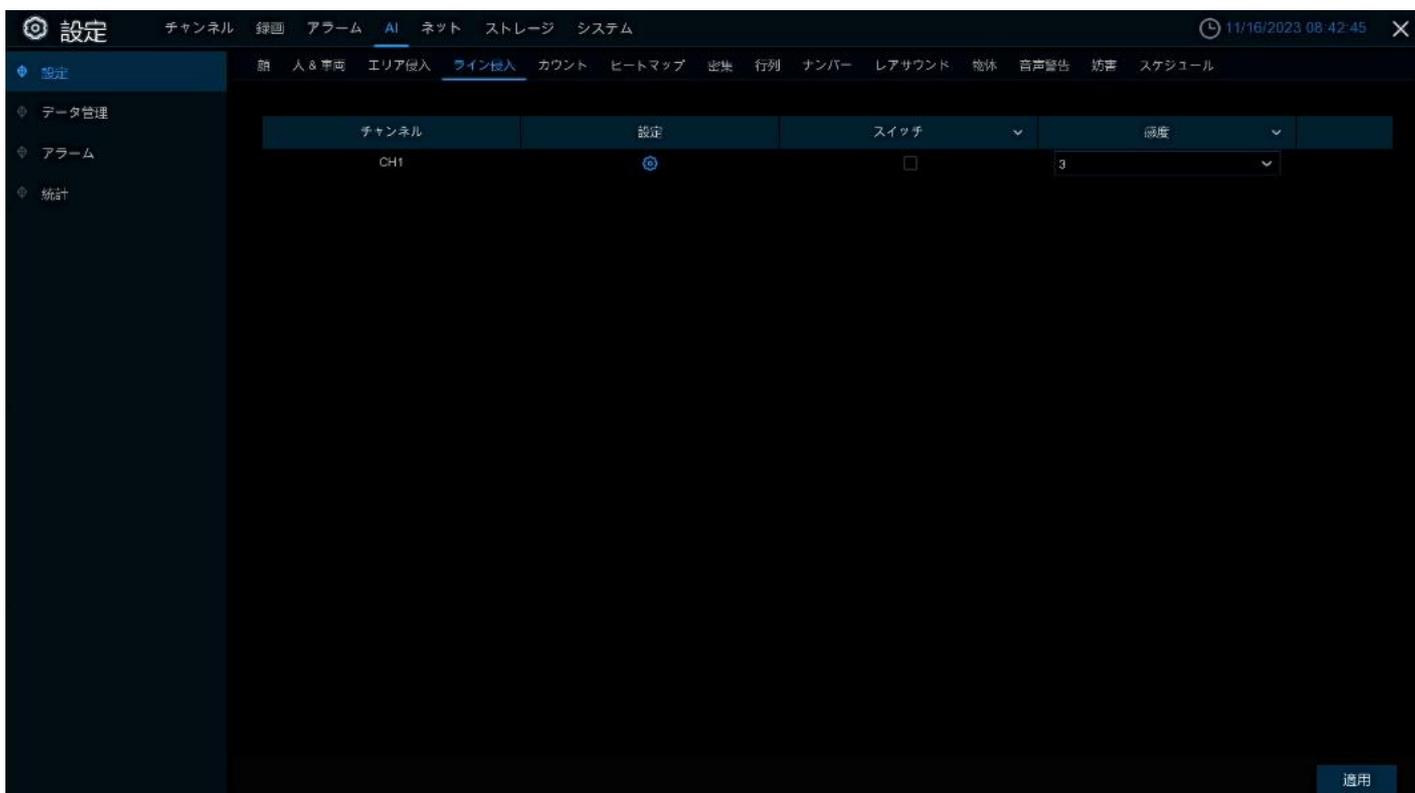
検知タイプ：人、車両、非四輪の中から選択します。

規則番号：4つのラインを選択します。

規則スイッチ：機能を有効または無効にします。

規則タイプ：ラインに対する侵入方向を選択します。A>B、B>A、A<>Bから選びます。

マーキング：指定したエリアをライブで表示させます。有効または無効の設定します。



5.5.5 カウント

仮想ラインを設定して、ラインを通過した人や物体の回数をカウントします。

設定→AI→カウント

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

設定：アイコンをクリックして、映像上にカウントの設定を行います。

スイッチ：カウントの有効または無効の設定をします。

感度：感度の設定を1～4で設定します。感度が高いほど、反応しやすくなります。タ

イプ：人、車両、非四輪、モーションの中から選択します。

アラーム番号：1～255までのアラーム番号を入力します。開

始時間：カウントを開始する時間を設定します。

終了時間：カウントを終了する時間を設定します。

カウントリセット：集計したカウントをリセットします。

規則番号：カウント規則番号を選択します。

規則スイッチ：機能を有効または無効にします。

規則タイプ：ラインに対する侵入方向を選択します。A>B、B>Aから選びます。

マーキング：指定したエリアをライブで表示させます。有効または無効の設定します



5.5.6 ヒートマップ

ヒートマップとは、映像に変化が多い場所を赤く、少ないエリアを青く表示することができます。

設定→AI→ヒートマップ

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

設定：アイコンをクリックして、映像上にカウントの設定を行います。

スイッチ：ヒートマップの有効または無効の設定をします。

規則番号：ヒートマップ規則番号を選択します。

規則スイッチ：機能を有効または無効にします。

すべて削除で設定したエリアを削除します。



5.5.7 密集

仮想エリアを設定して、エリア内の人数が規定値を超えたかどうかを検知します。

設定→AI→密集

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

設定：アイコンをクリックして、映像上に密集の設定を行います。

スイッチ：密集の有効または無効の設定をします。

感度：感度の設定を1～4で設定します。感度が高いほど、反応しやすくなります。タ

イプ：人、車両、非四輪、モーションの中から選択します。

最小ピクセル：画像の中での最小ピクセルを設定します。32～1080の範囲を設定します。最

大ピクセル：画像の中での最大ピクセルを設定します。320～1080の範囲を設定します。最大

検知数：エリア内の密集を検知する最大の数を設定します。1～500の間で設定します。検知

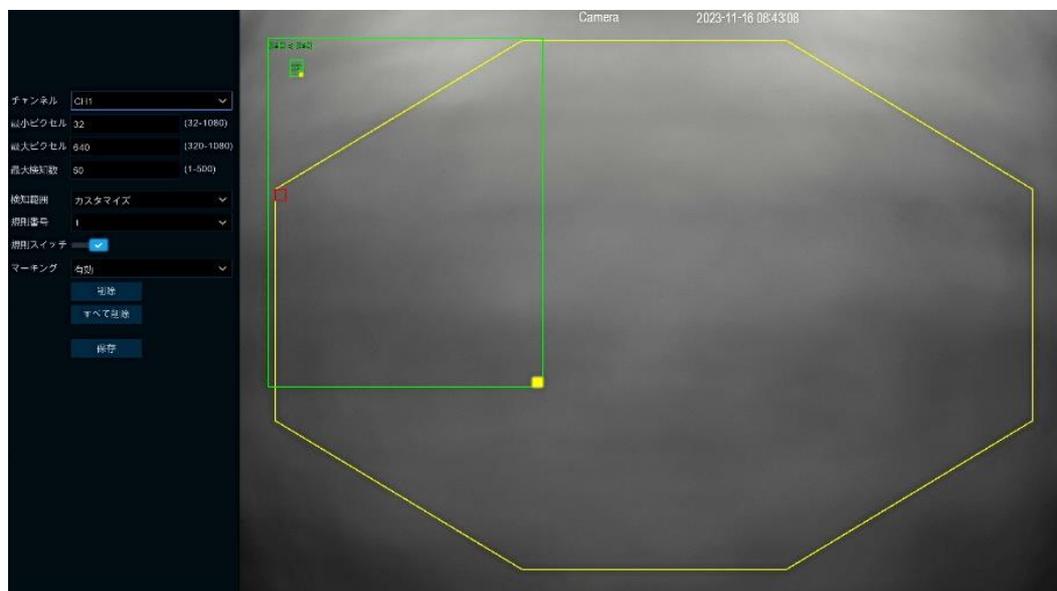
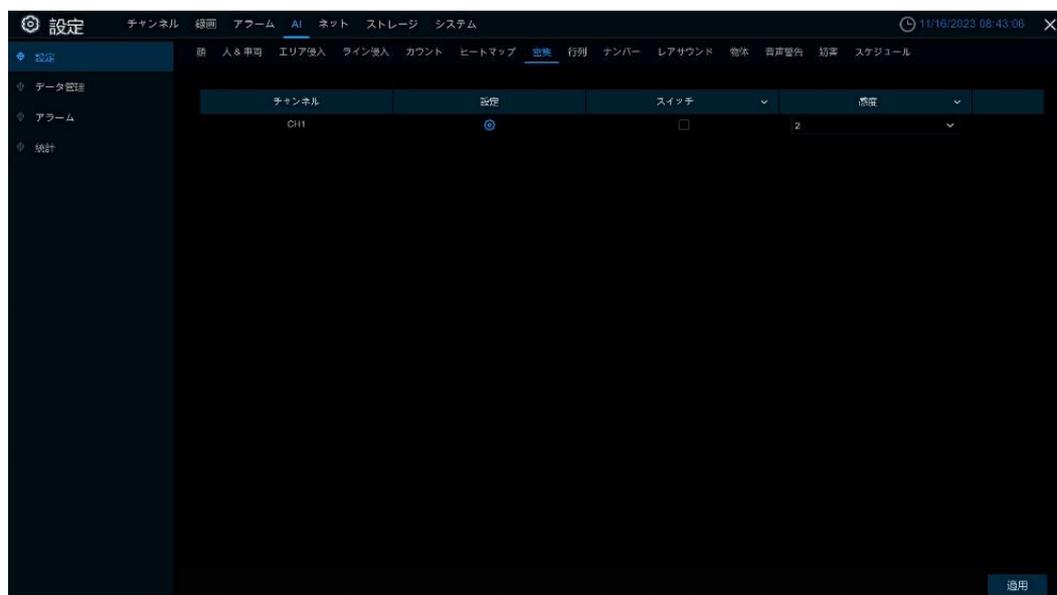
範囲：検知範囲を指定します。カスタマイズまたは全画面から選択します。

規則番号：密集規則番号を選択します。

規則スイッチ：機能を有効または無効にします。

マーキング：指定したエリアをライブで表示させます。有効または無効の設定をします。

すべて削除で設定したエリアを削除します。



5.5.8 行列

仮想エリアを設定して、エリア内の人数および滞在時間が規定値を超えたかどうかを検知します。

設定→AI→行列

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

設定：アイコンをクリックして、映像上に行列の設定を行います。

スイッチ：行列の有効または無効の設定をします。

感度：感度の設定を1～4で設定します。感度が高いほど、反応しやすくなります。

最小ピクセル：画像の中での最小ピクセルを設定します。32～1080の範囲を設定します。最大

ピクセル：画像の中での最大ピクセルを設定します。320～1080の範囲を設定します。最大

検知数：エリア内の密集を検知する最大の数を設定します。1～100の間で設定します。最大

検知数：エリア内の密集を検知する最大の数を設定します。1～100の間で設定します。

最大滞留時間：エリア内の密集を検知する最大の滞留時間を設定します。1～3600の間で設定します。検

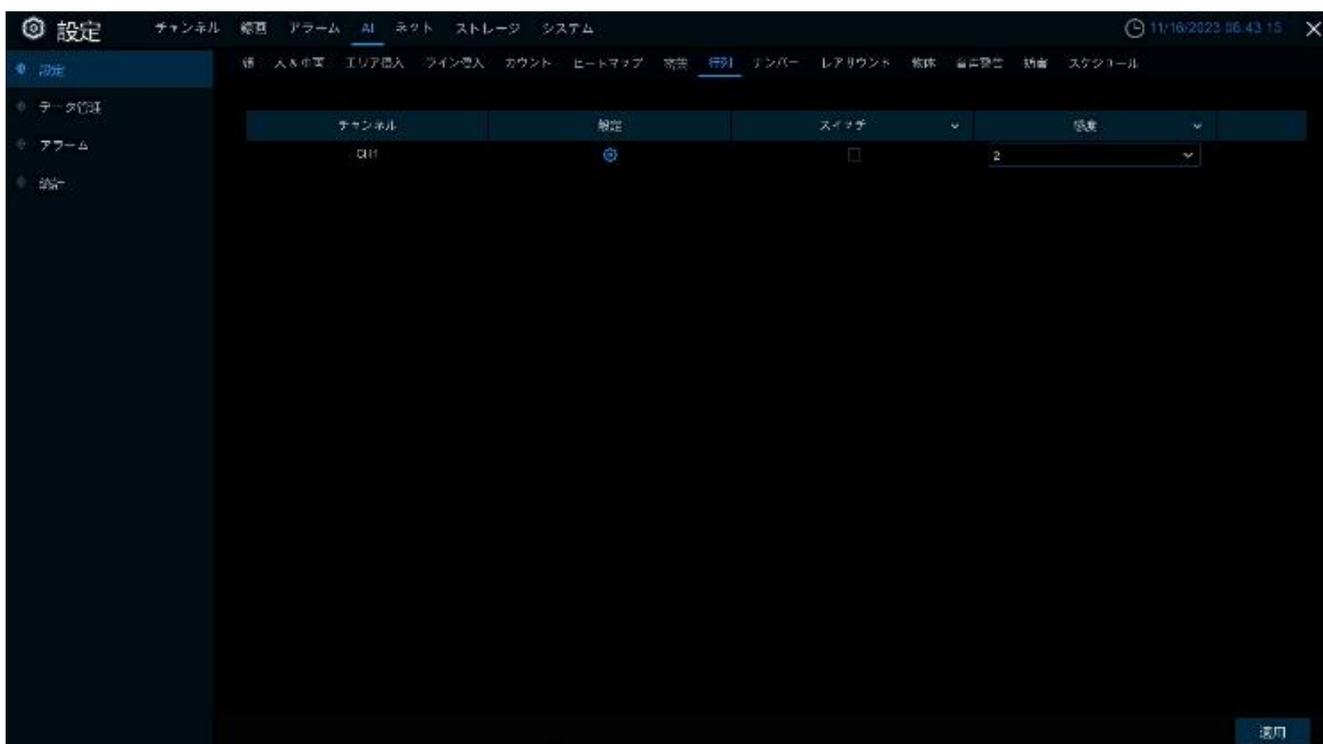
知範囲：検知範囲を指定します。カスタマイズまたは全画面から選択します。

規則番号：行列規則番号を選択します。

規則スイッチ：機能を有効または無効にします。

マーキング：指定したエリアをライブで表示させます。有効または無効の設定をします。

すべて削除で設定したエリアを削除します。



5.5.9 レアサウンド

特定の音を認識し検知する機能です。

設定→AI→レアサウンド

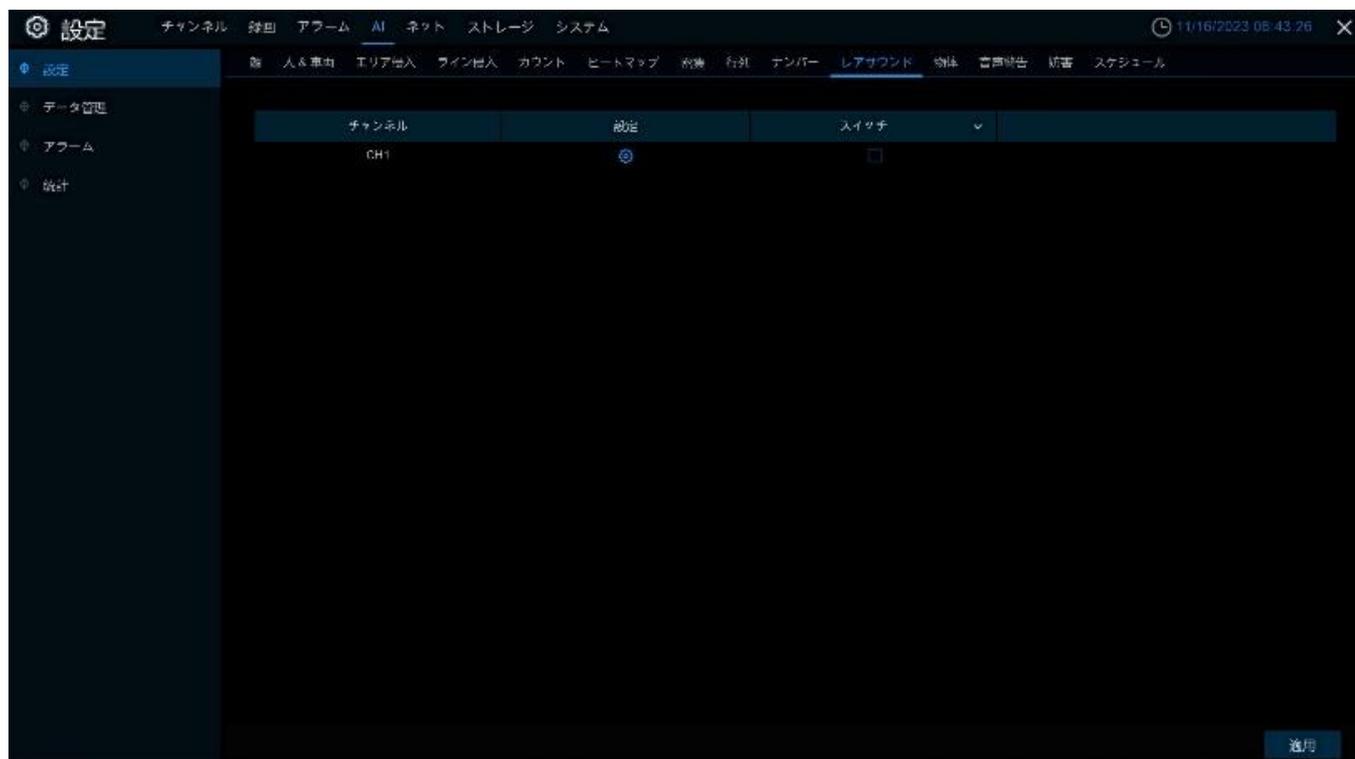
チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

設定：アイコンをクリックして、映像上に行列の設定を行います。

スイッチ：行列の有効または無効の設定をします。

感度：感度を設定します。1～100の間で設定します。

検知タイプ：赤ちゃんの泣き声、犬鳴き声、銃声から選択します。



5.5.10 物体

物体の置き去り、持ち去りを検知しアラームします。

設定→AI→物体

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

設定：アイコンをクリックして、機能の設定を行います。

スイッチ：機能の有効または無効の設定をします。

感度：感度を設定します。1～4の間で設定します。

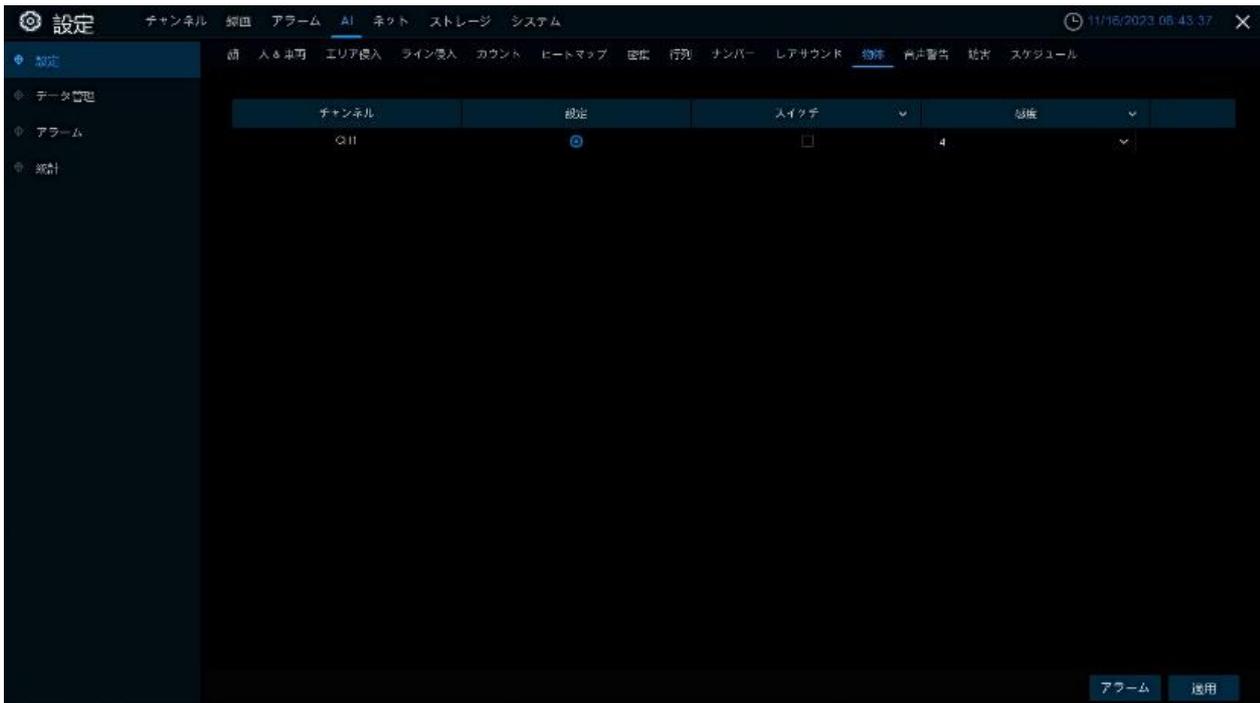
規則番号：物体の規則番号を選択します。

規則スイッチ：機能を有効または無効にします。

規則タイプ：置き去り、持ち去り、置き去り&持ち去りより選択します。

マーキング：指定したエリアをライブで表示させます。有効または無効の設定をします。

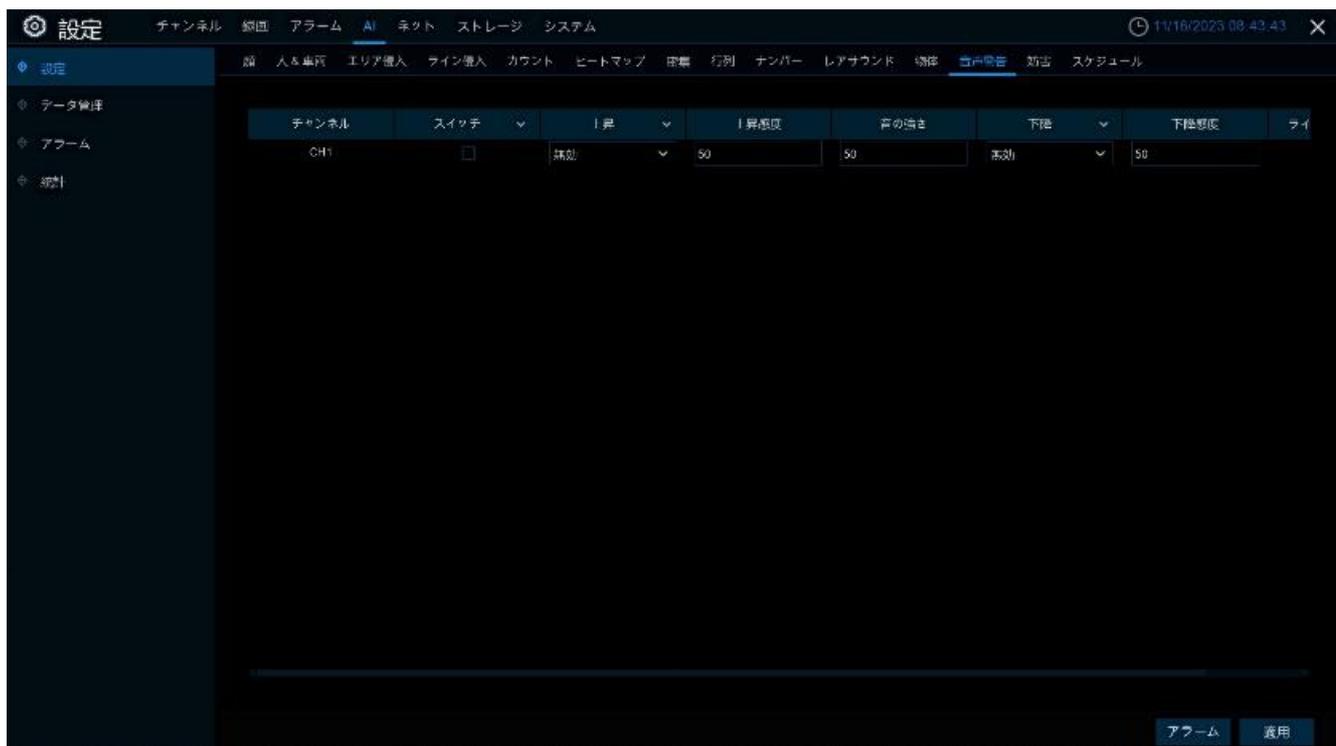
すべて削除で設定したエリアを削除します。



5.5.11 音声警告

設定→AI→音声警告

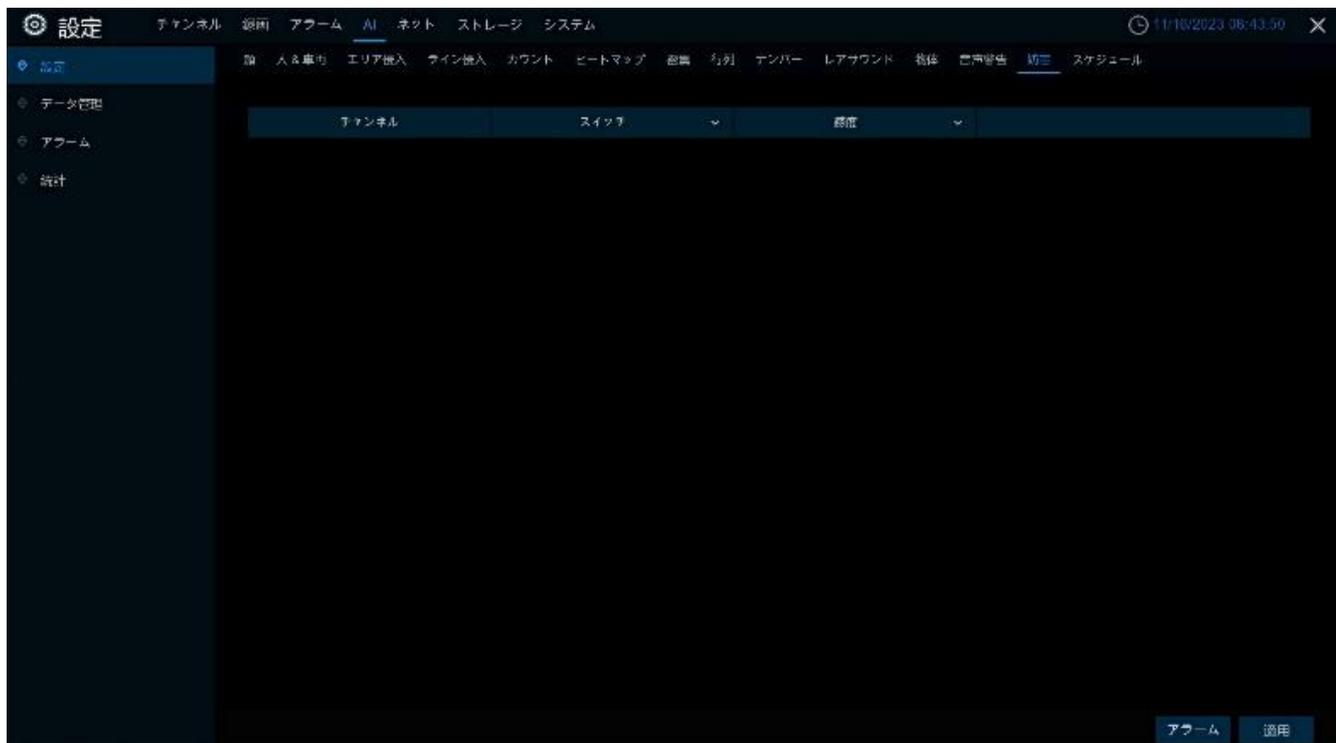
※音声警告機能を持ったカメラのみ対応しています。



5.1.4.1 妨害検知

設定→AI→妨害検知

※妨害検知機能を持ったカメラのみ対応しています。



5.5.12 スケジュール

各種 AI 機能のスケジュールを設定します。

設定→AI→スケジュール

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

有効：スケジュールの有効または無効を設定します。時間帯によって使用したい AI 機能を選択してスケジュール設定します。

画面上で使用したい AI 機能を選択してマウスのドラッグ&ドロップで曜日、時間を選択します。赤丸の AI 機能は一種類のみ選択可能です。



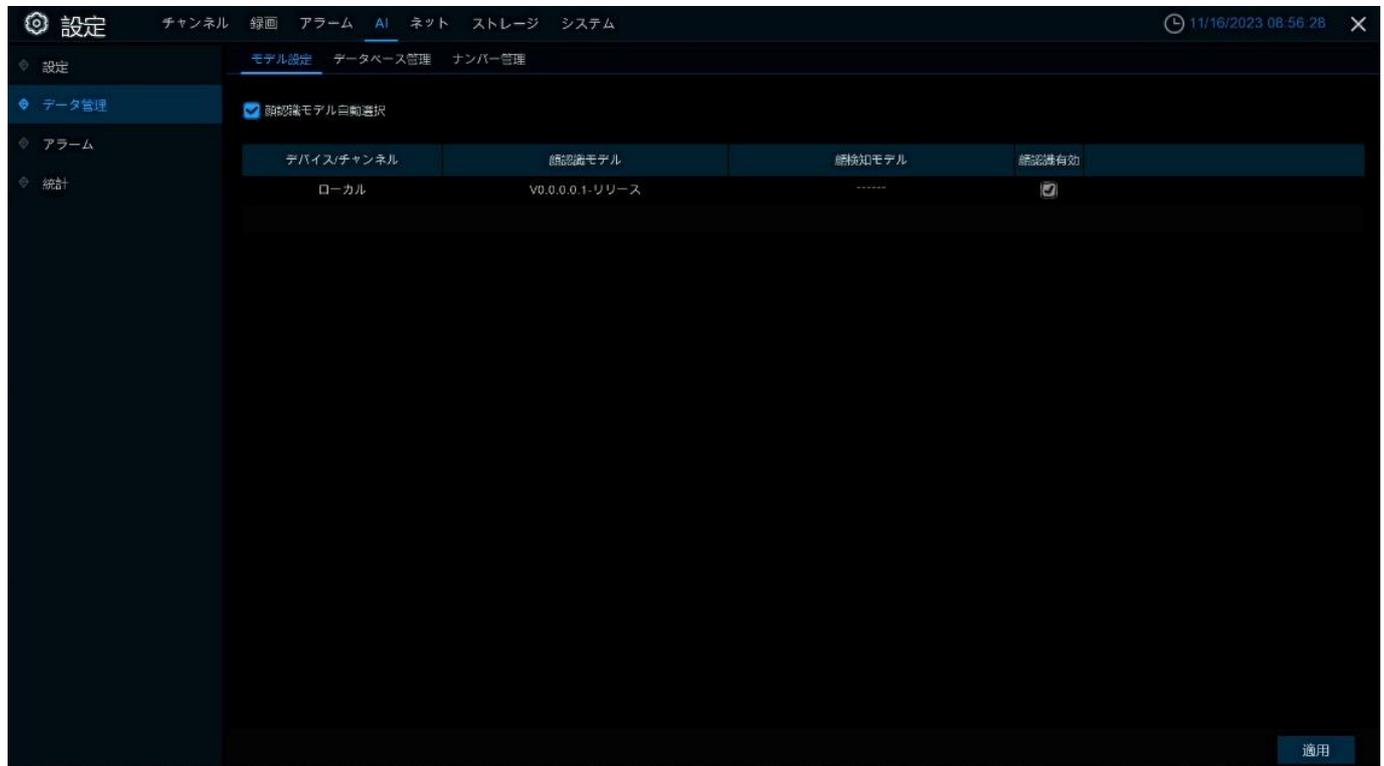
5.5.13 データベース管理

このメニューでは顔認識用のデータベースの登録と管理を行います。

設定→AI→データ管理

顔認識モデル設定：顔認識モデル自動選択にチェックを入れて使用してください。

顔認識有効：現在インストールされている顔認識モデルのバージョンが表示されています。



5.5.14 データベース管理

このメニューでは顔認識用のデータベースの登録と管理を行います。

設定→AI→データ管理

データベースのインポート：外部ストレージを使用してデータベースを取り込みます。

データベースのバックアップ：外部ストレージを使用してデータベースをバックアップします。

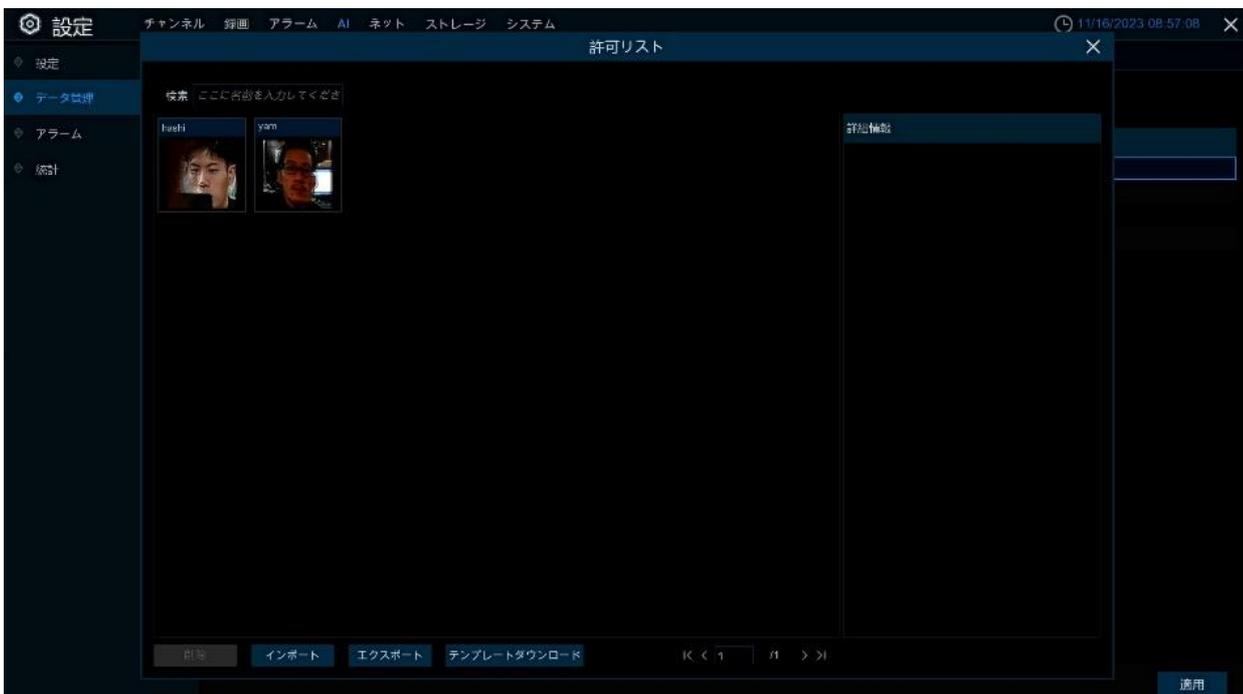
グループ名：顔認識グループの名前を選択します。初期値で許可リスト、ブロックリスト、未登録者になっていますが、仮想キーボードで変更可能です。

編集：編集ボタンで顔データベースのインポート、エクスポート、編集が可能です。

インポート：インポートアイコンをクリックすると、ローカルストレージに保存された顔データを登録します。外部ストレージを選択すると接続されたUSB デバイスからインポートします。

エクスポート：エクスポートアイコンをクリックすると、ローカルストレージに保存された顔データをバックアップします。接続されたUSB デバイスが一覧で表示されます。

テンプレートダウンロード：



5.5.15 ナンバー管理

このメニューではナンバープレート用のデータベースの登録と管理を行います。

設定→AI→ナンバー管理

※現在この機能は使用できません。

5.5.16 アラーム

このメニューではAI機能を使用時のアラームの設定を行います。

設定→AI→アラーム



5.5.16 顔認識

顔認識時のアラームの設定を行います。

設定→AI→アラーム→顔認識

グループ名：照合するデータベースのグループ名を選択します。

アラーム有効：アラームの有効と無効を選択します。

ポリシー：顔認識のルールを設定します。データベースと照合して、許可、拒否、未登録者から選択します。許可またはブロックの場合はデータベース管理にて登録されている顔データと照合しアラームします。未登録者の場合はデータベースに登録されていない場合アラームします。

類似性：データベースの顔データと照合する類似性を設定します。数値が低いと認識率は上がりますが誤認識も増えますので、設置環境に合わせて調整してください。

アラーム：各種アラームの設定を行います。

チャンネル：カメラのチャンネルごとにアラームの設定を行います。

以下はアラーム内の項目です

ブザー：顔認識した際にレコーダーからブザー音を出します。ブザー音の持続時間は秒単位で設定可能です。

アラーム出力：顔認識した際に外部アラームに出力信号を送る

ラッチタイム：アラーム出力の動作時間を設定します。

顔キャプチャ：顔のキャプチャーを取得します。

背景保存：背景を保存する設定です。

サムネイル表示：サムネイル表示の設定を行います。

メール送信：顔認識時に登録したメールアカウントにメール送信します。

FTP 画像送信：顔認識時に FTP サーバーに画像をアップロードします。

クラウド画像送信：顔認識時にクラウドサーバーに画像をアップロードします。

全画面表示：顔認識時に検知したチャンネルをフル画面で表示します。

音声警告：顔認識した際に音声プロンプトを使用して警告を発します。

| | グループ名 | アラーム有効 | ポリシー | 類似性 | アラーム | アラームスケジュール | チャンネル |
|---|---------|-------------------------------------|------|--------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1 | 許可リスト | <input checked="" type="checkbox"/> | 許可 | ≥ 70 % | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 2 | ブロックリスト | <input checked="" type="checkbox"/> | 拒否 | ≥ 70 % | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 3 | 未登録者 | <input checked="" type="checkbox"/> | 未登録者 | < 70 % | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |

5.5.17 特徴

特徴検知時のアラームの設定を行います。

設定→AI→アラーム→特徴

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

アラームタイプ：マスクあり、マスクなし、閉じる(オフ)から選択します。

ブザー：検知した際にレコーダーからブザー音を出します。ブザー音の持続時間は秒単位で設定可能です。

アラーム出力：検知した際に外部アラームに出力信号を送る

ラッチタイム：アラーム出力の動作時間を設定します。

録画：アイコンをクリックして検知した際に録画するチャンネルを選択します。

録画継続時間：検知時の録画継続時間を設定します。推奨時間は30秒です。メ

ッセージ表示：検知時にライブ画面にアイコンが表示されます。

メール送信：検知時に登録したメールアカウントにメール送信します。

全画面表示：検知時に検知したチャンネルをフル画面で表示します。

音声警告：検知した際に音声プロンプトを使用して警告を発します。



5.4.2.2 ナンバー認識

この機能は使用できません。

5.5.18 人&車両

設定→AI→アラーム→人&車両

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

ブザー：検知した際にレコーダーからブザー音を出します。ブザー音の持続時間は秒単位で設定可能です。

アラーム出力：検知した際に外部アラームに出力信号を送る

ラッチタイム：アラーム出力の動作時間を設定します。

録画：アイコンをクリックして検知した際に録画するチャンネルを選択します。

録画継続時間：検知時の録画継続時間を設定します。推奨時間は30秒です。メ

ッセージ表示：検知時にライブ画面にアイコンが表示されます。

メール送信：検知時に登録したメールアドレスにメール送信します。

FTP画像送信：検知時にFTPサーバーに画像をアップロードします。FTP

動画送信：検知時にFTPサーバーに動画をアップロードします。

クラウド画像送信：検知時にクラウドサーバーに画像をアップロードします。

クラウド動画送信：検知時にクラウドサーバーに動画をアップロードします。

全画面表示：検知時に検知したチャンネルをフル画面で表示します。

音声警告：検知した際に音声プロンプトを使用して警告を発します。

| チャンネル | ブザー | アラーム出力 | ラッチタイム | 録画 | 録画継続時間 | メッセージ表示 | メール送信 | FTP画像送信 | FTP動画 |
|-------|-----|--------|--------|----|--------|---------|-------|---------|-------|
| CHI | オフ | オン | 10秒 | オン | 30秒 | ☑ | ☑ | ☑ | ☑ |

5.5.19 エリア侵入

設定→AI→アラーム→エリア侵入

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

ブザー：検知した際にレコーダーからブザー音を出します。ブザー音の持続時間は秒単位で設定可能です。

アラーム出力：検知した際に外部アラームに出力信号を送る

ラッチタイム：アラーム出力の動作時間を設定します。

録画：アイコンをクリックして検知した際に録画するチャンネルを選択します。

録画継続時間：検知時の録画継続時間を設定します。推奨時間は30秒です。メ

ッセージ表示：検知時にライブ画面にアイコンが表示されます。

メール送信：検知時に登録したメールアカウントにメール送信します。

FTP画像送信：検知時にFTPサーバーに画像をアップロードします。FTP

動画送信：検知時にFTPサーバーに動画をアップロードします。

クラウド画像送信：検知時にクラウドサーバーに画像をアップロードします。

クラウド動画送信：検知時にクラウドサーバーに動画をアップロードします。

全画面表示：検知時に検知したチャンネルをフル画面で表示します。

音声警告：検知した際に音声プロンプトを使用して警告を発します。

| チャンネル | ブザー | アラーム出力 | ラッチタイム | 録画 | 録画継続時間 | メッセージ表示 | メール送信 | FTP画像送信 | FTP動画 |
|-------|-----|--------|--------|----|--------|---------|-------|---------|-------|
| CH1 | オフ | オン | 10秒 | オン | 30秒 | オン | オン | オン | オン |

5.5.20 ライン侵入

設定→AI→アラーム→ライン侵入

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

ブザー：検知した際にレコーダーからブザー音を出します。ブザー音の持続時間は秒単位で設定可能です。

アラーム出力：検知した際に外部アラームに出力信号を送る

ラッチタイム：アラーム出力の動作時間を設定します。

録画：アイコンをクリックして検知した際に録画するチャンネルを選択します。

録画継続時間：検知時の録画継続時間を設定します。推奨時間は30秒です。メ

ッセージ表示：検知時にライブ画面にアイコンが表示されます。

メール送信：検知時に登録したメールアドレスにメール送信します。

FTP画像送信：検知時にFTPサーバーに画像をアップロードします。FTP

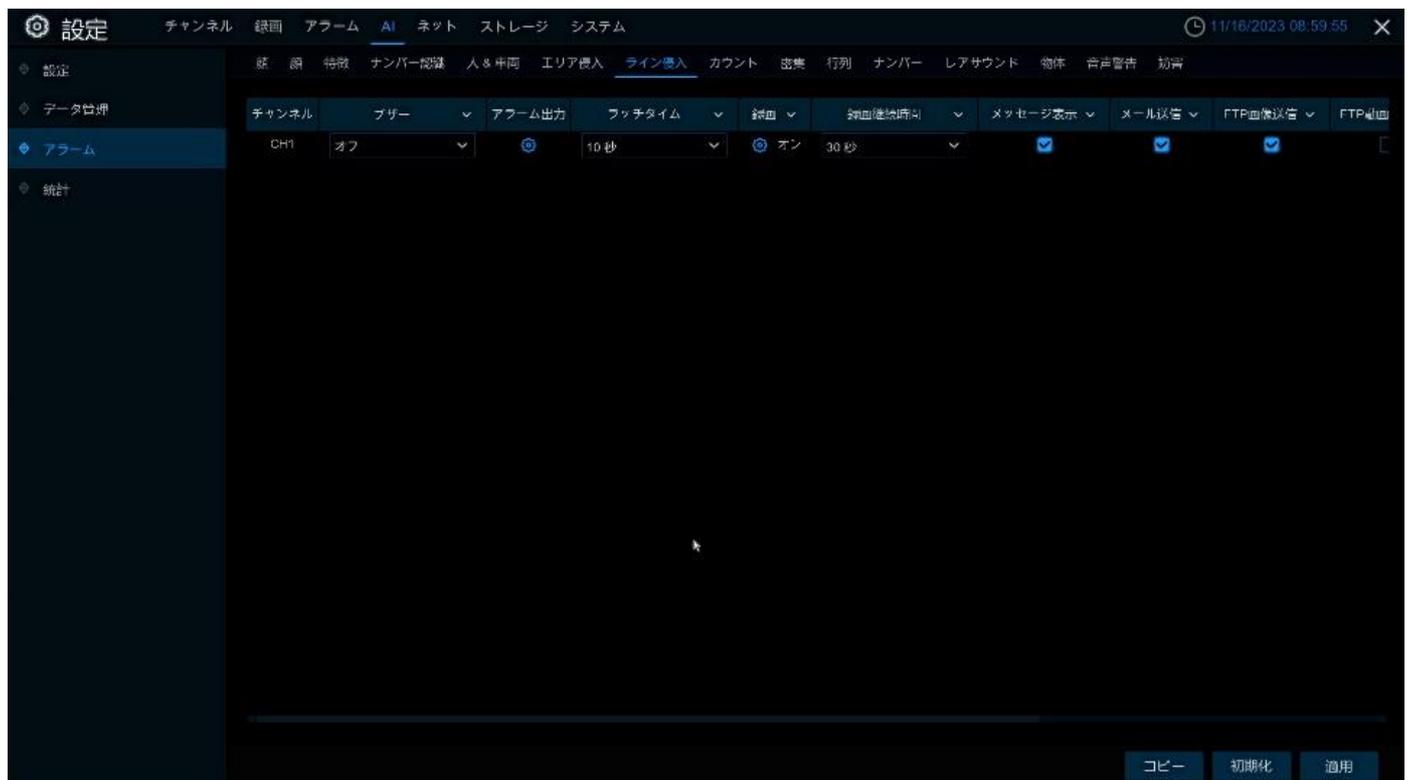
動画送信：検知時にFTPサーバーに動画をアップロードします。

クラウド画像送信：検知時にクラウドサーバーに画像をアップロードします。

クラウド動画送信：検知時にクラウドサーバーに動画をアップロードします。

全画面表示：検知時に検知したチャンネルをフル画面で表示します。

音声警告：検知した際に音声プロンプトを使用して警告を発します。



5.5.21 カウント

設定→AI→アラーム→カウント

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

ブザー：検知した際にレコーダーからブザー音を出します。ブザー音の持続時間は秒単位で設定可能です。

アラーム出力：検知した際に外部アラームに出力信号を送る

ラッチタイム：アラーム出力の動作時間を設定します。

録画：アイコンをクリックして検知した際に録画するチャンネルを選択します。

録画継続時間：検知時の録画継続時間を設定します。推奨時間は30秒です。メ

ッセージ表示：検知時にライブ画面にアイコンが表示されます。

メール送信：検知時に登録したメールアドレスにメール送信します。

FTP画像送信：検知時にFTPサーバーに画像をアップロードします。FTP

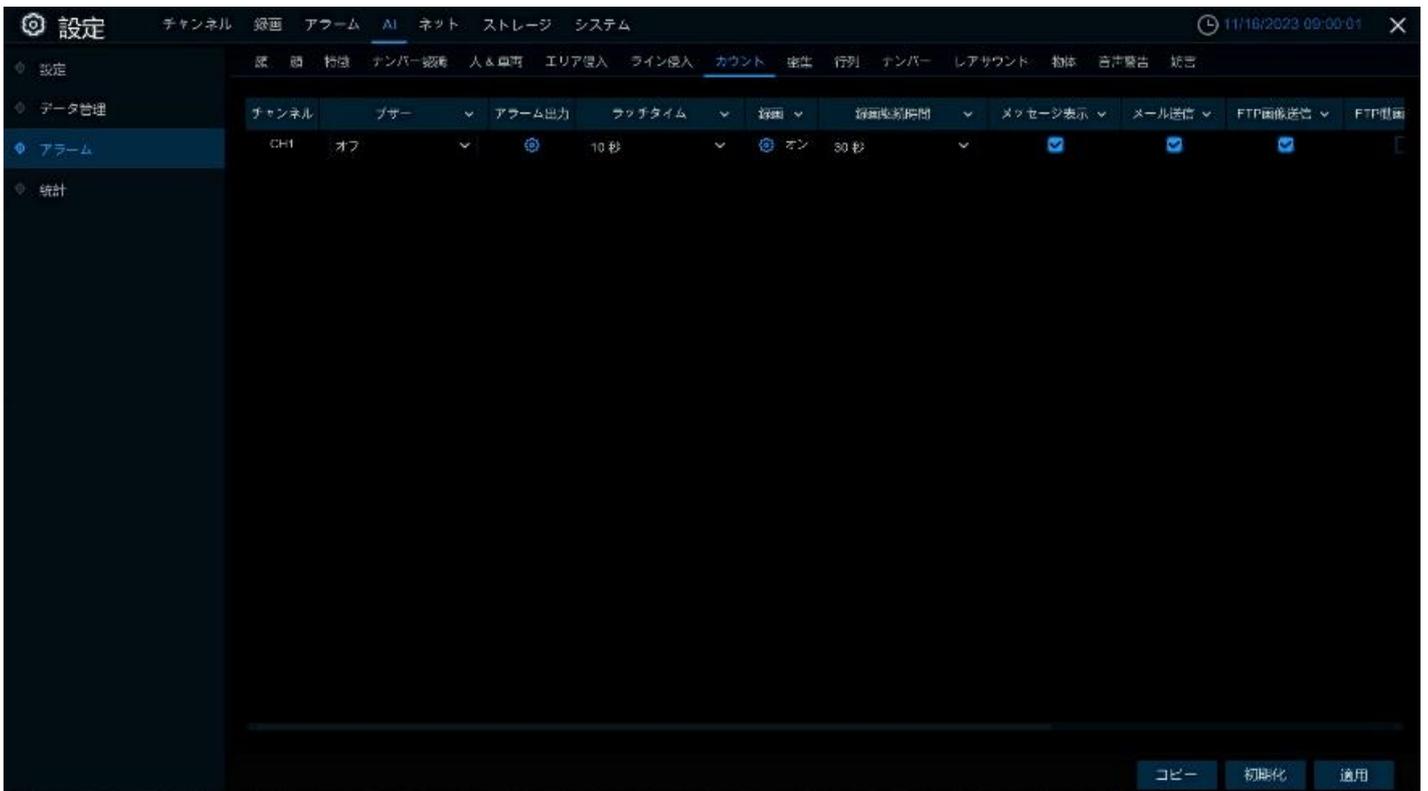
動画送信：検知時にFTPサーバーに動画をアップロードします。

クラウド画像送信：検知時にクラウドサーバーに画像をアップロードします。

クラウド動画送信：検知時にクラウドサーバーに動画をアップロードします。

全画面表示：検知時に検知したチャンネルをフル画面で表示します。

音声警告：検知した際に音声プロンプトを使用して警告を発します。



5.5.22 密集

設定→AI→アラーム→密集

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

ブザー：検知した際にレコーダーからブザー音を出します。ブザー音の持続時間は秒単位で設定可能です。

アラーム出力：検知した際に外部アラームに出力信号を送る

ラッチタイム：アラーム出力の動作時間を設定します。

録画：アイコンをクリックして検知した際に録画するチャンネルを選択します。

録画継続時間：検知時の録画継続時間を設定します。推奨時間は30秒です。メ

ッセージ表示：検知時にライブ画面にアイコンが表示されます。

メール送信：検知時に登録したメールアドレスにメール送信します。

FTP画像送信：検知時にFTPサーバーに画像をアップロードします。FTP

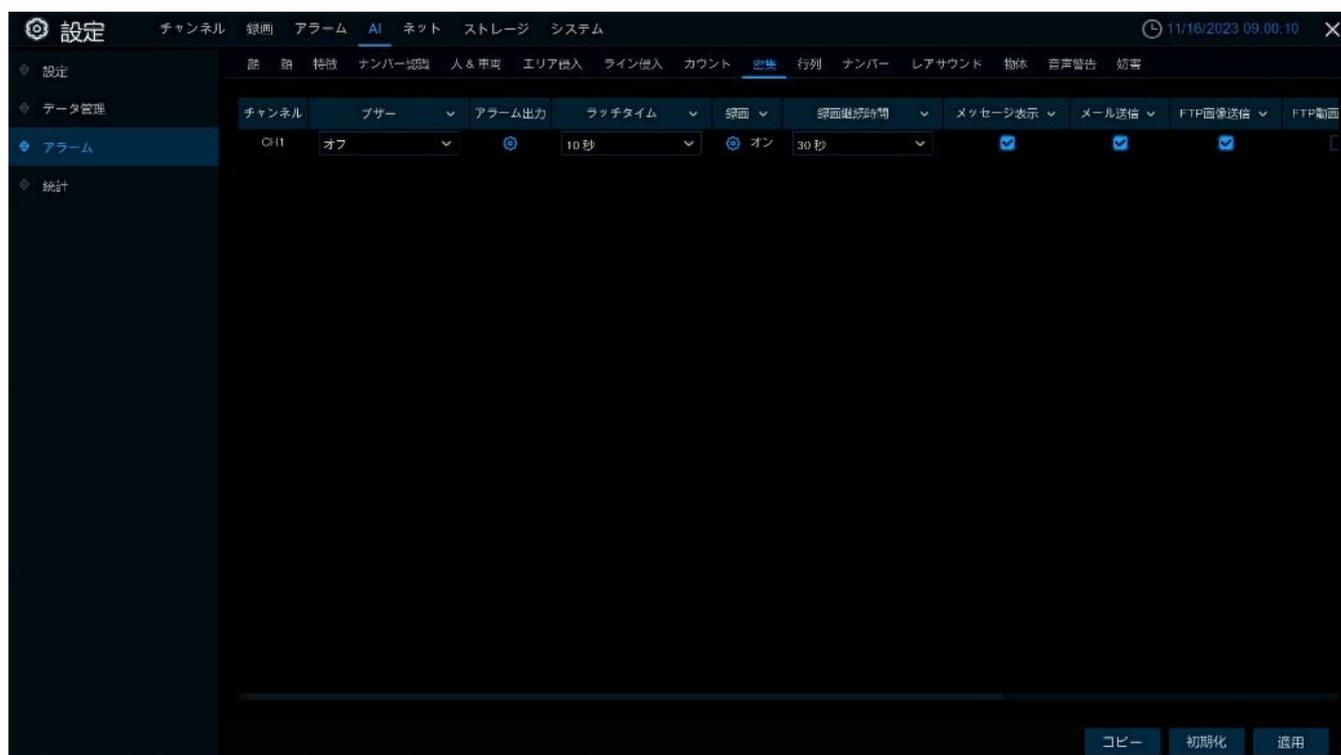
動画送信：検知時にFTPサーバーに動画をアップロードします。

クラウド画像送信：検知時にクラウドサーバーに画像をアップロードします。

クラウド動画送信：検知時にクラウドサーバーに動画をアップロードします。

全画面表示：検知時に検知したチャンネルをフル画面で表示します。

音声警告：検知した際に音声プロンプトを使用して警告を発します。



5.5.23 行列

設定→AI→アラーム→行列

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

ブザー：検知した際にレコーダーからブザー音を出します。ブザー音の持続時間は秒単位で設定可能です。

アラーム出力：検知した際に外部アラームに出力信号を送る

ラッチタイム：アラーム出力の動作時間を設定します。

録画：アイコンをクリックして検知した際に録画するチャンネルを選択します。

録画継続時間：検知時の録画継続時間を設定します。推奨時間は30秒です。メ

ッセージ表示：検知時にライブ画面にアイコンが表示されます。

メール送信：検知時に登録したメールアドレスにメール送信します。

FTP画像送信：検知時にFTPサーバーに画像をアップロードします。FTP

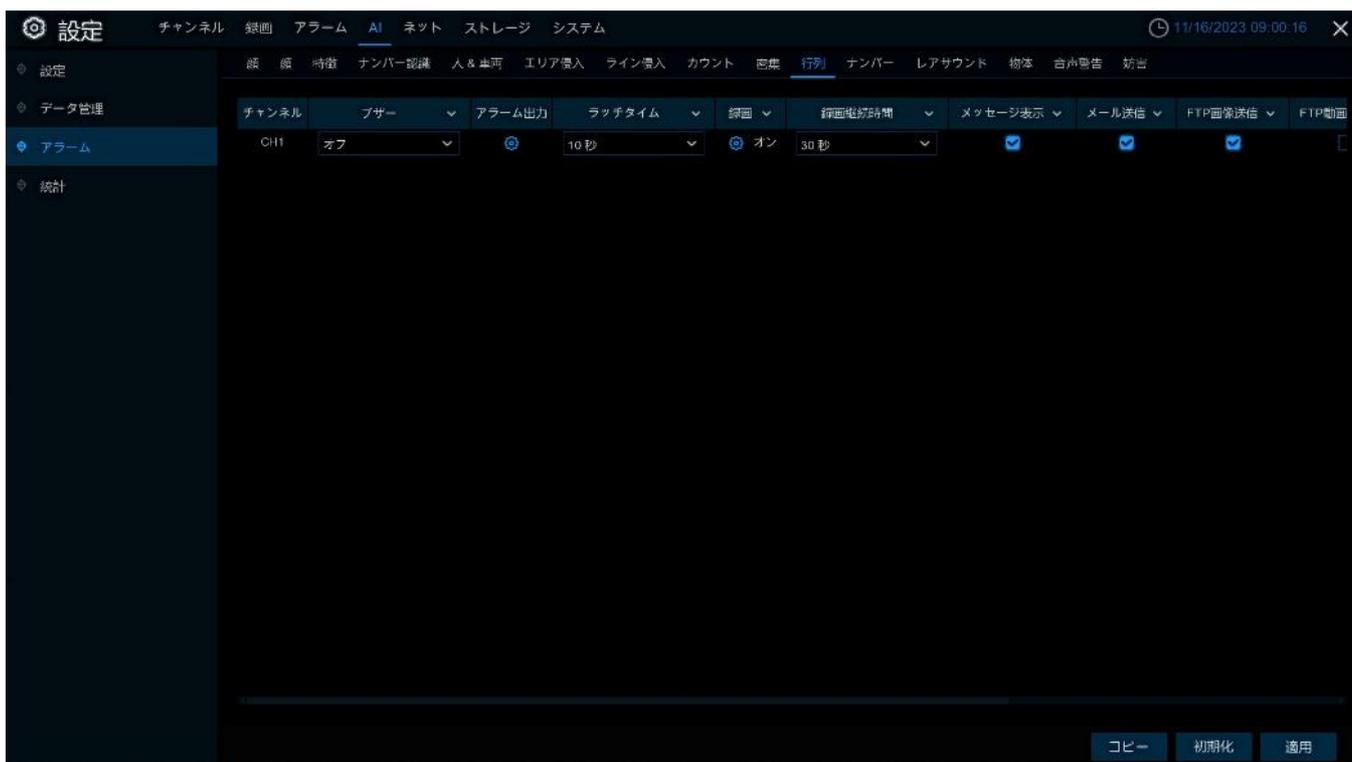
動画送信：検知時にFTPサーバーに動画をアップロードします。

クラウド画像送信：検知時にクラウドサーバーに画像をアップロードします。

クラウド動画送信：検知時にクラウドサーバーに動画をアップロードします。

全画面表示：検知時に検知したチャンネルをフル画面で表示します。

音声警告：検知した際に音声プロンプトを使用して警告を発します。



5.5.24 ナンバー

※この機能は使用しません。

5.2.25 レアサウンド

設定→AI→アラーム→レアサウンド

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

ブザー：検知した際にレコーダーからブザー音を出します。ブザー音の持続時間は秒単位で設定可能です。

アラーム出力：検知した際に外部アラームに出力信号を送る

ラッチタイム：アラーム出力の動作時間を設定します。

録画：アイコンをクリックして検知した際に録画するチャンネルを選択します。

録画継続時間：検知時の録画継続時間を設定します。推奨時間は30秒です。

メッセージ表示：検知時にライブ画面にアイコンが表示されます。

メール送信：検知時に登録したメールアドレスにメール送信します。

FTP画像送信：検知時にFTPサーバーに画像をアップロードします。FTP

動画送信：検知時にFTPサーバーに動画をアップロードします。

クラウド画像送信：検知時にクラウドサーバーに画像をアップロードします。

クラウド動画送信：検知時にクラウドサーバーに動画をアップロードします。

全画面表示：検知時に検知したチャンネルをフル画面で表示します。

音声警告：検知した際に音声プロンプトを使用して警告を発します。

| チャンネル | ブザー | アラーム出力 | ラッチタイム | 録画 | 録画継続時間 | メッセージ表示 | メール送信 | FTP画像送信 | FTP動画 |
|-------|-----|--------|--------|----|--------|---------|-------|---------|-------|
| CH1 | オフ | オン | 10秒 | オン | 30秒 | ☑ | ☑ | ☑ | |

5.2.26 物体

設定→AI→アラーム→物体

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

ブザー：検知した際にレコーダーからブザー音を出します。ブザー音の持続時間は秒単位で設定可能です。

アラーム出力：検知した際に外部アラームに出力信号を送る

ラッチタイム：アラーム出力の動作時間を設定します。

録画：アイコンをクリックして検知した際に録画するチャンネルを選択します。

録画継続時間：検知時の録画継続時間を設定します。推奨時間は30秒です。

メッセージ表示：検知時にライブ画面にアイコンが表示されます。

メール送信：検知時に登録したメールアドレスにメール送信します。

FTP画像送信：検知時にFTPサーバーに画像をアップロードします。FTP

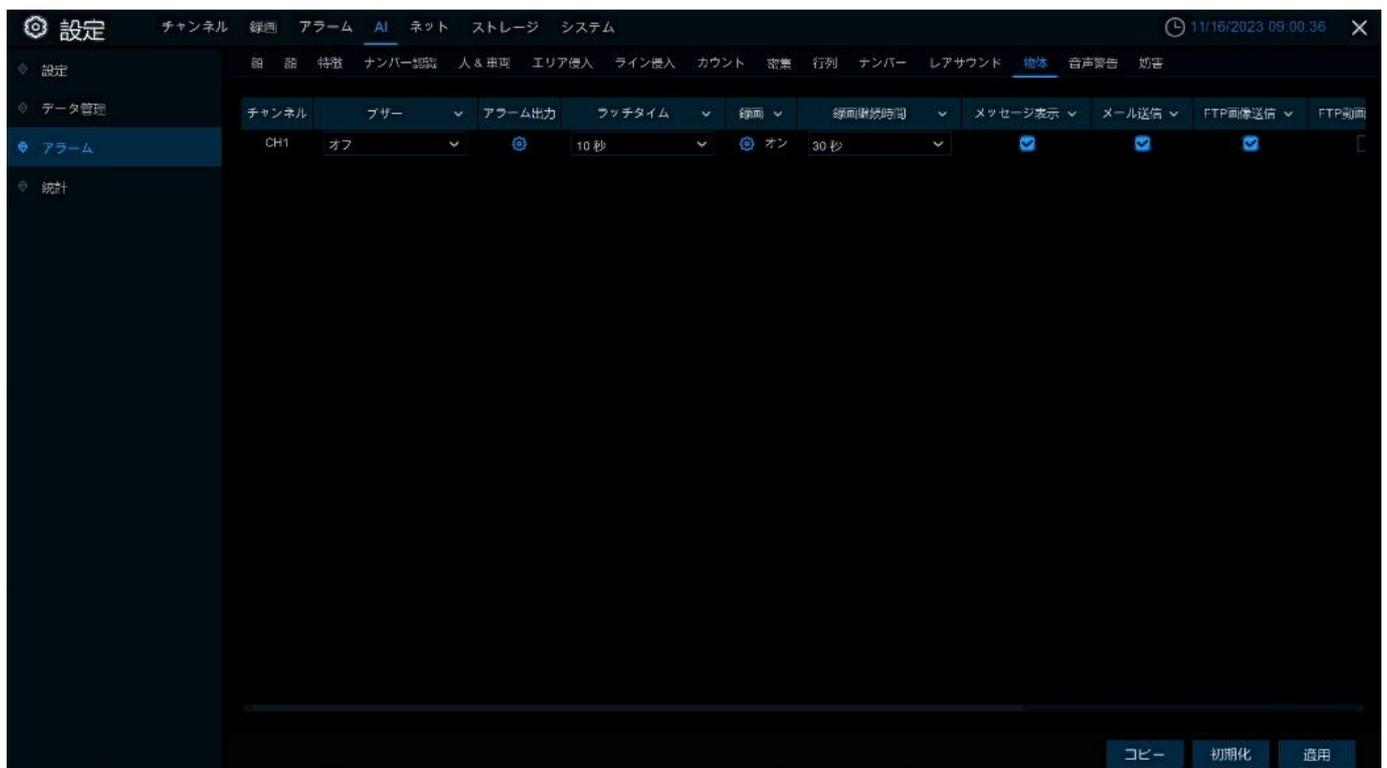
動画送信：検知時にFTPサーバーに動画をアップロードします。

クラウド画像送信：検知時にクラウドサーバーに画像をアップロードします。

クラウド動画送信：検知時にクラウドサーバーに動画をアップロードします。

全画面表示：検知時に検知したチャンネルをフル画面で表示します。

音声警告：検知した際に音声プロンプトを使用して警告を發します。



5.3 統計

このメニューではAI機能を使用時の統計レポートを表示します。

5.3.1 顔

設定→AI→統計→顔

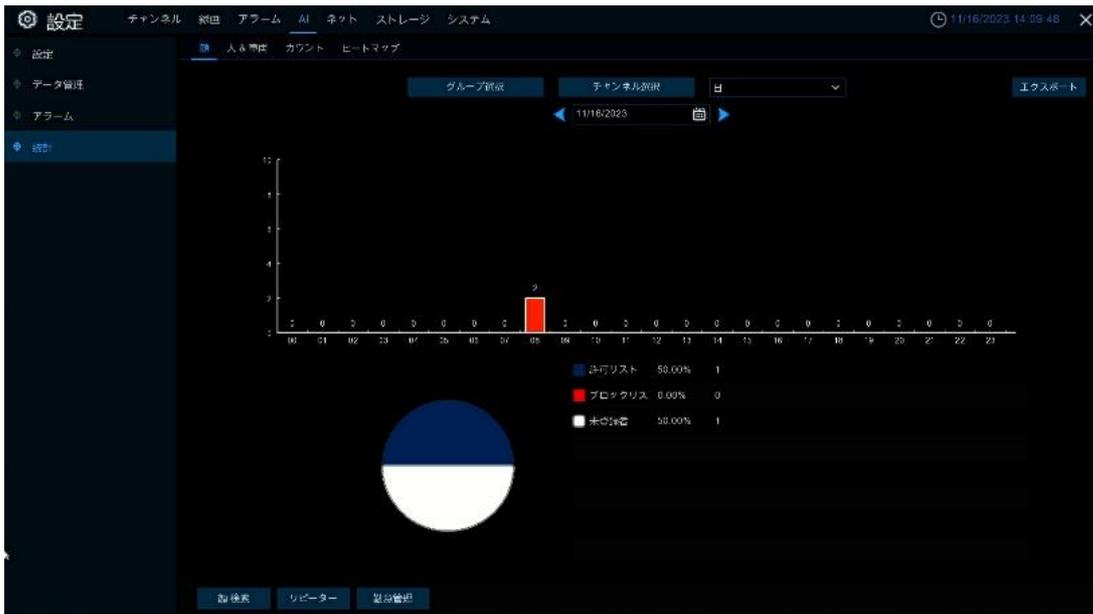
グループ選択：データベース管理のグループを選択します。

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

日付単位：日、月、年の単位を設定します。

カレンダー：日時を選択します。

検索：顔検索、リピーター、勤怠管理からAI検索を確認します。



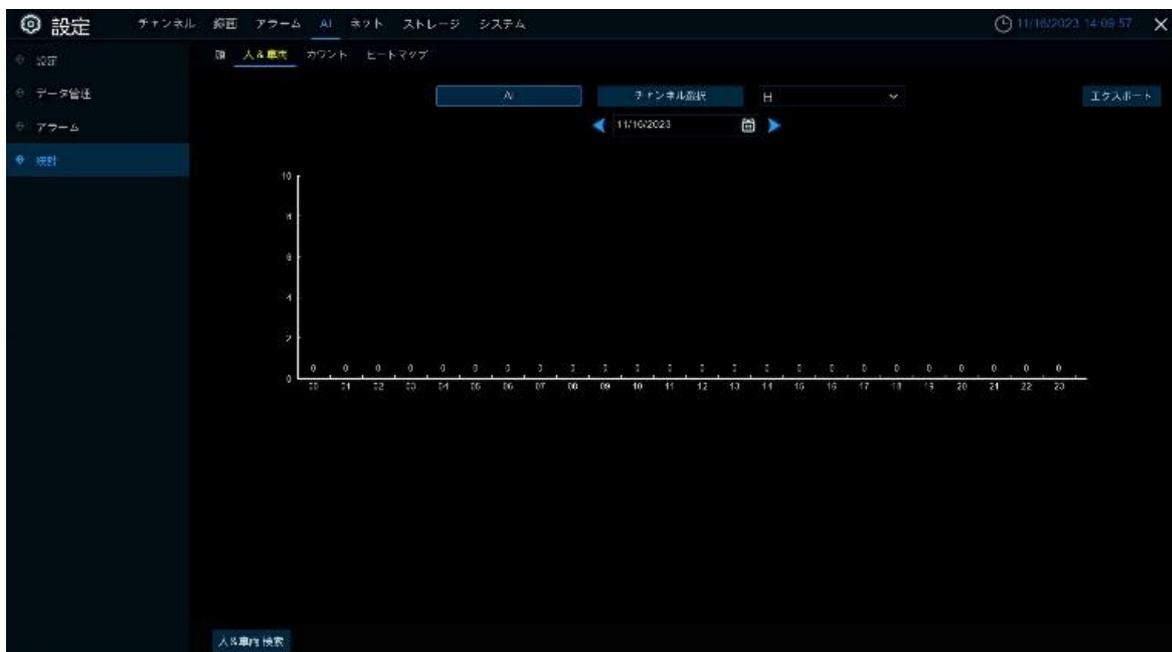
5.3.2 人&車両

設定→AI→統計→人&車両AI：AI機能を選択します。

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。日付単位：日、月、年の単位を設定します。

カレンダー：日時を選択します。

検索：人&車両からAI検索を確認します。



5.3.3 カウント

設定→AI→統計→カウント

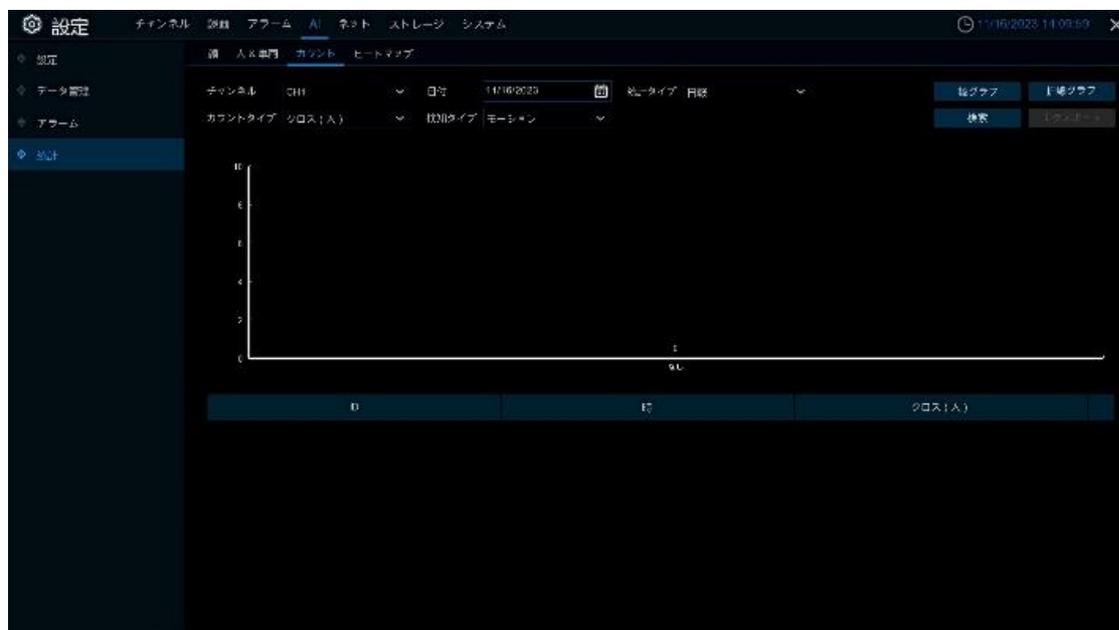
チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

日付：日付を設定します。

統計タイプ：日、週、月、年単位で設定します。

カウントタイプ：入室、退室のどちらのカウントタイプが選択します。

検知タイプ：モーション、人、車両、非四輪のタイプを選択します。



5.3.4 カウント

設定→AI→統計→カウント

チャンネル：入力チャンネルごとに設定します。

日付：日付を設定します。

開始時間：開始時間を設定します。

終了時間：終了時間を設定します。

統計タイプ：日、週、月、年単位で設定します。

空間マップ：実際の空間の中でのヒートマップ映像を表示します。

時間マップ：実際の時間の中でのヒートマップ映像を表示します。



5.3.5 ネットワーク設定

このメニューでは、TCP/IP、DHCPなどのネットワーク設定を行います。特にネットワークの設定をする必要がない場合は基本的にはDHCPで運用してください。

5.3.6 基本設定

ネット→基本設定→基本設定

ルーターに接続されており、DHCPの使用が可能な場合はDHCPにチェックを入れてください。ルーターのDHCP機能によりレコーダーにIPアドレスが割り当てられます。IPアドレスを固定する場合は、DHCPのチェックを外してください。IPアドレス：ネットワーク内のレコーダーを識別するアドレスです。0から255までの数字を4つのグループで構成するアドレスです。例「192.168.1.100」

サブネットマスク：ネットワークで使用できるアドレスの範囲を指定するパラメーターです。サブネットアドレスも0から255までの数字を4つのグループで構成するアドレスです。例

「255.255.255.0」

ゲートウェイ：レコーダーをインターネットに接続するためのアドレスです。アドレス形式はIPアドレスと同じです。

例「192.168.1.1」

IPv6アドレス：ネットワーク内でレコーダーを識別するためのIPv6アドレスです。例

「fe80::223:63ff:fea5:916」

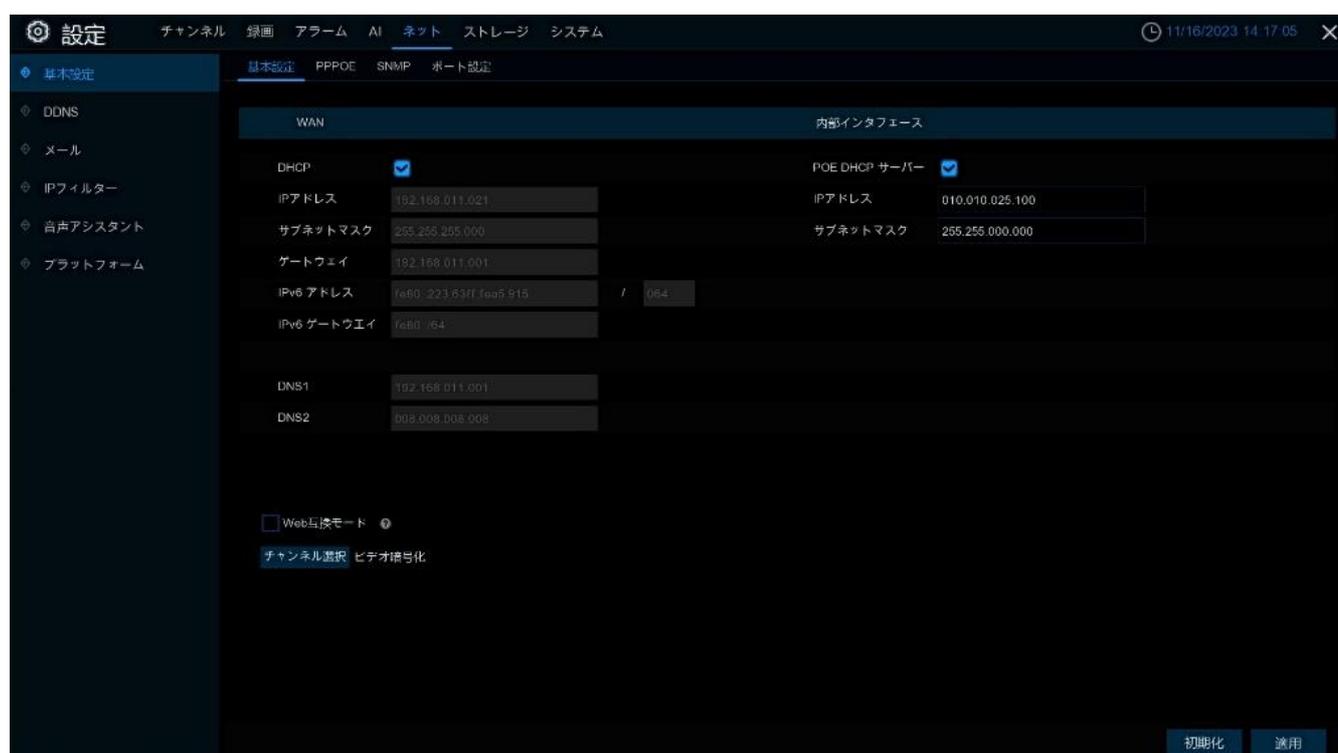
IPv6ゲートウェイ：レコーダーをインターネットに接続するためのIPv6アドレスです。例

「fe80::/64」

DNS1：レコーダーをインターに接続する際に使用するDNSサーバーです。DNS1がプライマリサーバーで、DNS2はバックアップ用サーバーです。

内部インターフェース：カメラ専用のPoEポートを使用する場合に設定します。基本的にはDHCPを使用して必要であればIPアドレスを固定して使用してください。

WEB互換モード：ブラウザでカメラへのアクセスができない場合はWEB互換モードを有効にしてください。



5.3.7 PPPoE

このメニューでは、レコーダーを PPPoE 接続する場合に設定します。

ネット→基本設定→PPPoE

PPPoE 有効：PPPoE 機能を有効にする場合にチェックします。ユ

ーザー名：ユーザー名を入力します。

パスワード：パスワードを入力します。

The screenshot shows a web interface for configuring PPPoE. The top navigation bar includes '設定' (Settings), 'チャンネル' (Channels), '録画' (Recording), 'アラーム' (Alarms), 'AI', 'ネット' (Network), 'ストレージ' (Storage), and 'システム' (System). The 'ネット' (Network) tab is active, and the 'PPPoE' sub-tab is selected. The left sidebar lists various settings categories: '基本設定' (Basic Settings), 'DDNS', 'メール' (Email), 'IPフィルター' (IP Filter), '音声アシスタント' (Voice Assistant), and 'プラットフォーム' (Platform). The main content area is titled '基本設定' (Basic Settings) and contains the following fields:

| | |
|----------|--------------------------|
| PPPoE有効 | <input type="checkbox"/> |
| ユーザー名 | <input type="text"/> |
| パスワード | <input type="password"/> |
| IPアドレス | <input type="text"/> |
| サブネットマスク | <input type="text"/> |
| ゲートウェイ | <input type="text"/> |
| DNS1 | <input type="text"/> |
| DNS2 | 008.008.008.008 |

At the bottom right of the page, there are two buttons: '初期化' (Reset) and '適用' (Apply).

5.3.8 SNMP

ネット→基本設定→SNMP

レコーダーのSNMP機能を使用する場合に設定します。

SNMPバージョン：SNMPバージョンを設定します。

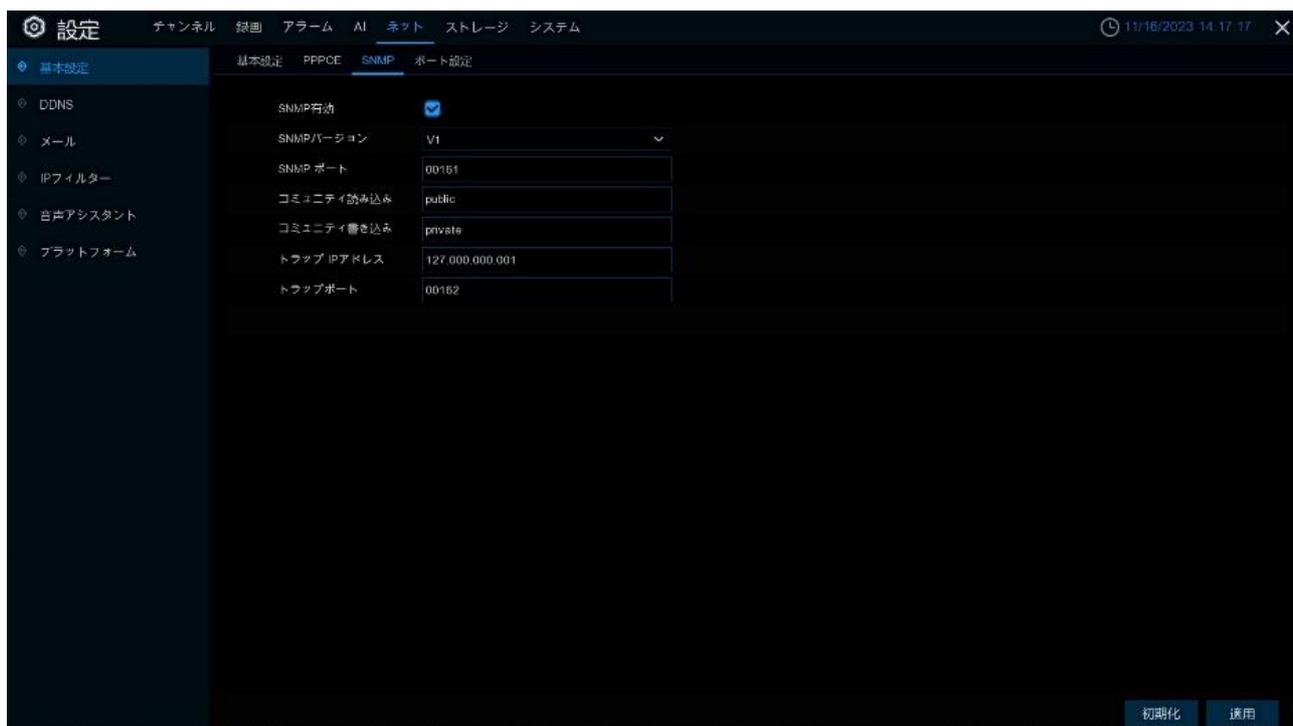
SNMPポート：SNMPポートを設定します。

コミュニティ読み込み：SNMPで管理するネットワークの読み込み範囲を設定します。

コミュニティ書き込み：SNMPで管理するネットワークの書き込み範囲を設定します。

トラップIPアドレス：SNMPネットワークのトラップIPアドレスを指定します。

トラップポート：SNMPネットワークのトラップポートを指定します。



5.3.9 ポート設定

ネット→基本設定→ポート設定

レコーダーのポート番号の設定を行います。基本的にはデフォルト設定でご利用ください。必要に応じてポート番号を変更してください。

WEBポート：遠隔からレコーダーにログインする際に使用するポートです。デフォルトは80番です。

クライアントポート：ソフトウェアやアプリを使用する場合に使用するポートです。デフォルトは9000番です。

P2Pスイッチ：遠隔監視をする場合はP2Pスイッチを有効にしてください。

ポートフォワーディング：クライアントソフトを使ってリモートでログインする場合はポートフォワーディングにチェックを入れてください。ルーター側でUPnPに対応している場合はルーター側の設定もオンにしてください。ルーターがUPnPに対応していない場合は手動でポートフォワーディングの設定を入れてください。

| ID | サービス | プロトコル | 内部ポート | 外部ポート | UPnP状態 | マッピングステージ | UPnP |
|----|--------|-------|-------|-------|--------|-----------|--------------------------|
| 1 | ウェブ | TCP | 00080 | 00080 | 無効 | 自動 | <input type="checkbox"/> |
| 2 | クライアント | TCP | 09000 | 09000 | 無効 | 自動 | <input type="checkbox"/> |

説明
rtsp://ip:port/rtsp/streaming?channel=A&subtype=B
A:01(チャンネル1),02(チャンネル2) ...
B:0(メインストリーム),1(サブストリーム)

外部IP

P2Pスイッチ

ポートフォワーディング

初期化 適用

5.3.10 DDNS

設定→ネット→DDNS

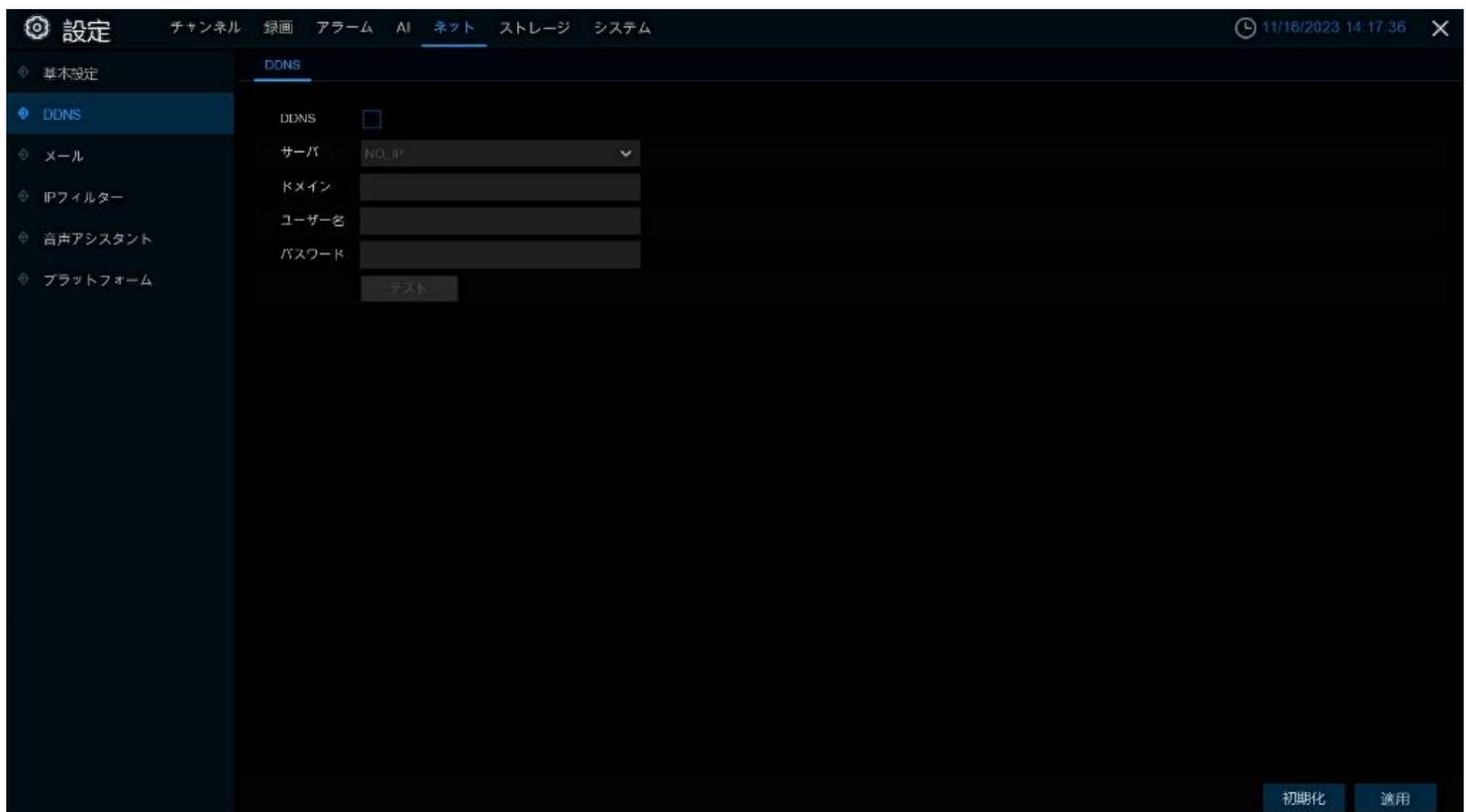
このメニューでは DDNS の設定を行います。DDNS を使用する場合は別途外部の DDNS サービスに登録が必要です。方法については各種 DDNS サービスプロバイダーに確認してください。

DDNS：チェックを入れて DDNS を有効にします。

サーバ：DDNS サーバー選択してください。

ドメイン：ドメイン名を入力します。

ユーザー名 / パスワード：DDNS サービスプロバイダーから提供されているユーザー名をパスワードを入力します。最後にテストボタンを押すとテスト結果が NG 判定の場合はネットワークの接続と設定内容が誤っているため、再度入力してください。



5.3.11 メール設定

設定→ネット→メール設定

このメニューではメールの設定を行います。アラーム発報をメールで通知することができます。

メール：チェックを入れてメール機能を有効にします。

暗号化タイプ：SSLまたはTLS、自動から選択してください。

SMTPポート：SMTPポートを入力してください。

SMTPサーバー：SMTPサーバーアドレスを入力してください。

ユーザー名：ユーザー名(アカウント)を入力してください。

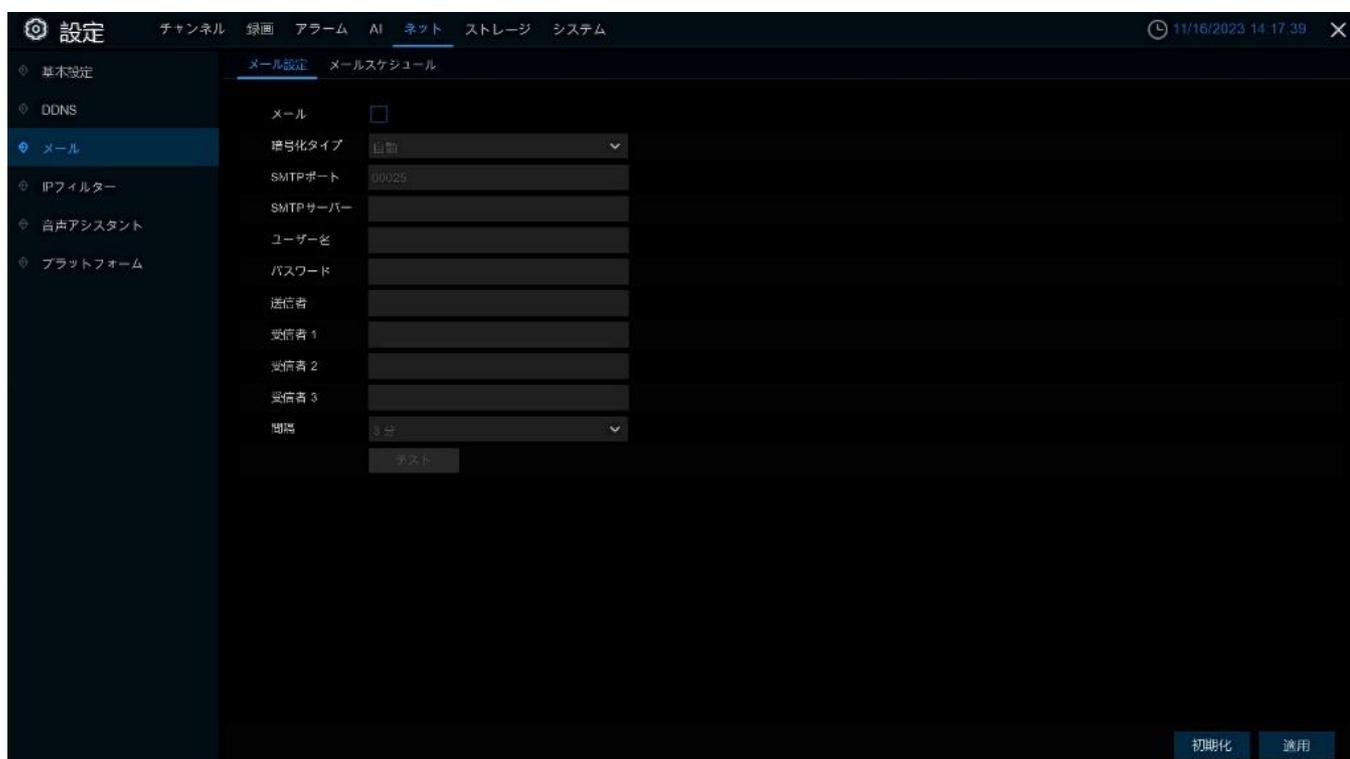
パスワード：パスワードを入力してください。

送信者：任意の送信者名を設定してください。

受信者1～3：メールを受信するメールアドレスを設定してください。

間隔：メールの送信間隔を設定します。

テストメールを送信する場合は、テストボタンをクリックしてください。システムから受信者宛てにメール送信されます。



5.3.12 メールスケジュール

設定→ネット→メールスケジュール

チャンネル別、イベント別（モーション、IOアラーム、異常アラーム、AI、人感センサー）時間別でメール通知するスケジュールを決めることができます。複数の設定を同時に入れるためにはコピー機能を利用してスケジュールをコピーすることができます。



5.3.13 IPフィルター

設定→ネット→IPフィルター

このメニューではIPフィルター機能の設定を行います。レコーダーへのアクセス権限に制限をかけることができます。有効：チェックを入れるとIPフィルターが有効になります。

許可リスト有効：リストに追加されたIPアドレスまたはセグメントが有効になります。

ブロックリスト有効：リストに追加されたIPアドレスまたはセグメントが有効になります。

制限タイプ：許可リストまたはブロックリストを選択します。

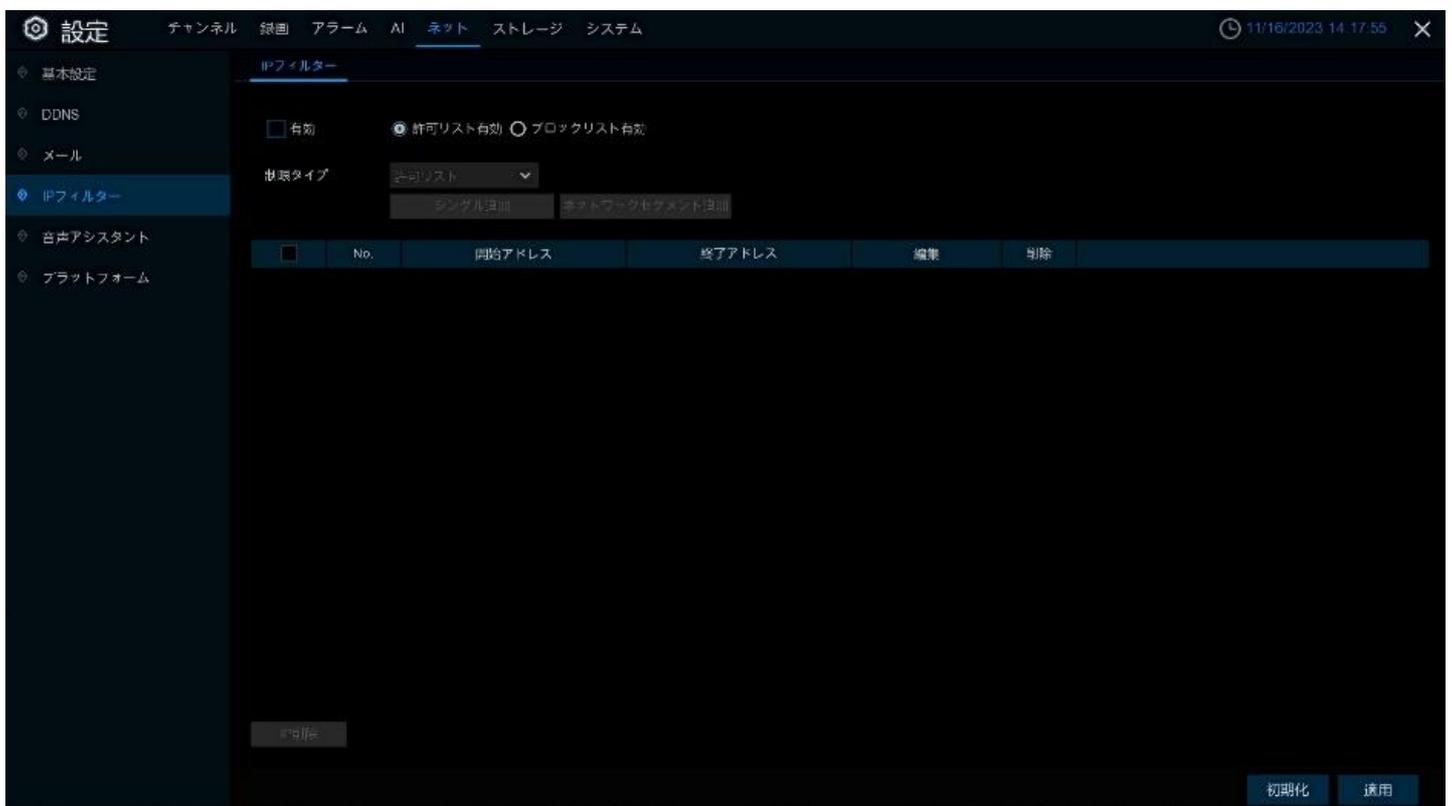
シングル追加：特定のIPアドレスをリストに追加します。

ネットワークセグメント追加：設定したIPアドレスの範囲が全て追加されます。

開始アドレス：IPアドレスの始まりを指定します。

終了アドレス：IPアドレスの終わりを指定します。

IP削除：設定したIPアドレスを削除します。



5.3.14 音声アシスタント

設定→ネット→音声アシスタント

5.3.15 Amazon

設定→ネット→音声アシスタント→Amazon

ユーザー名：AWS アカウントのユーザー名を入力します。

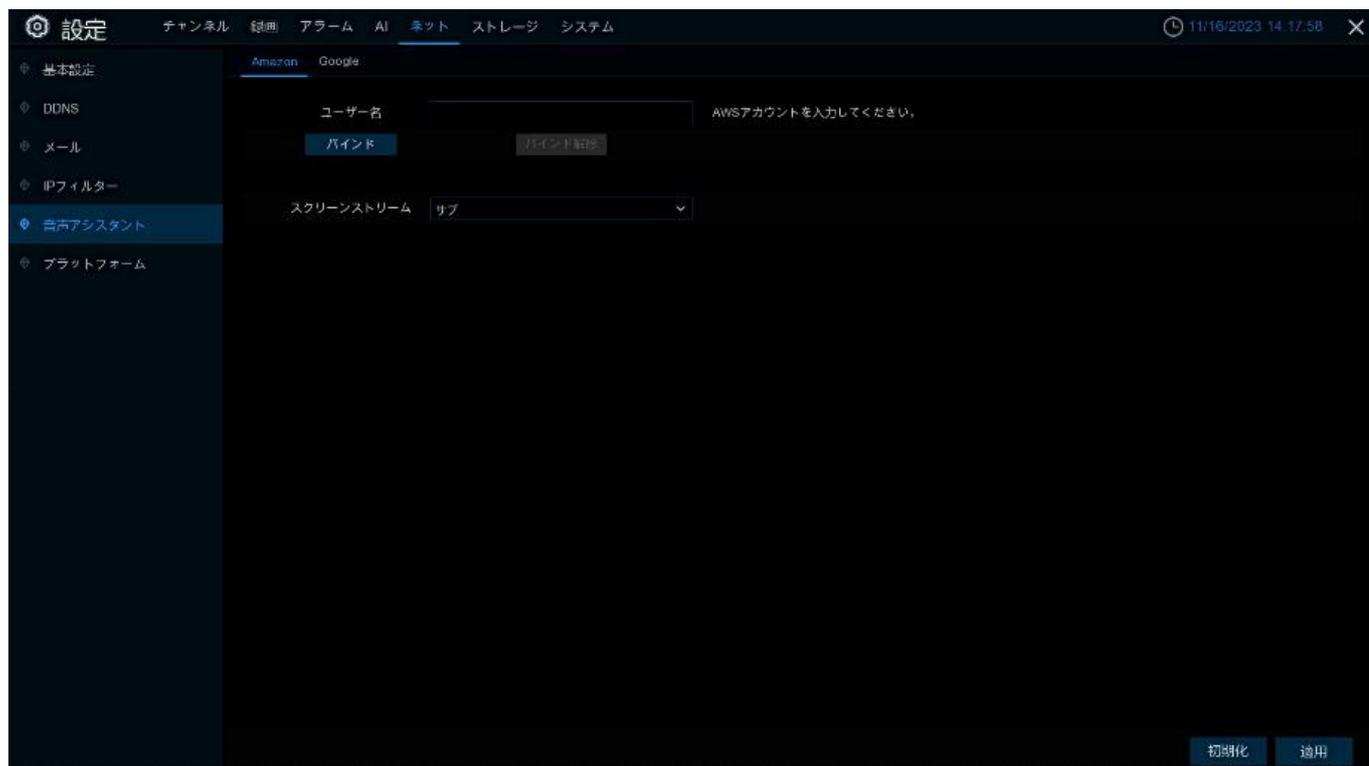
スクリーンストリーム：メインもしくはサブから選択します。

5.3.16 Google

設定→ネット→音声アシスタント→Google

ユーザー名：Google アカウントのユーザー名を入力します。ス

クリーンストリーム：メインもしくはサブから選択します。



5.3.17 プラットフォーム

設定→ネット→プラットフォーム→Onvif

Onvif の設定を行います。

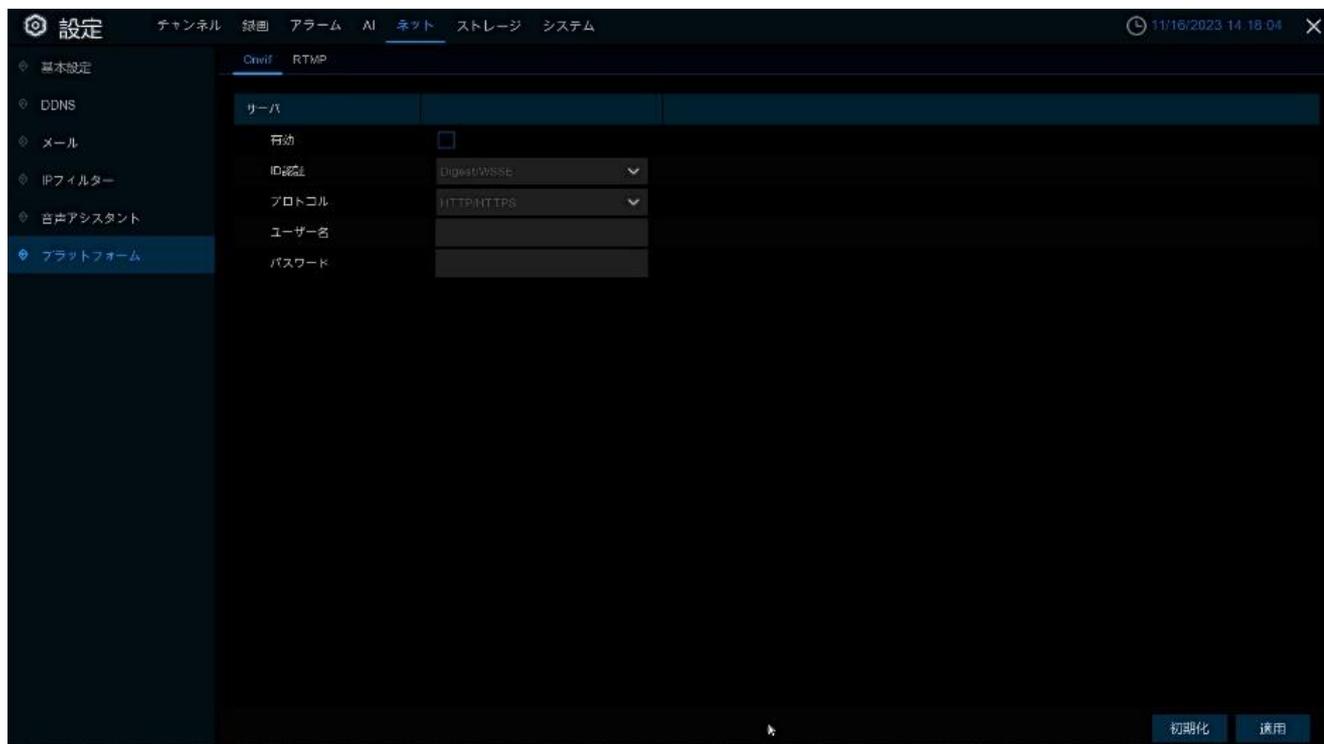
有効：チェックを入れると Onvif が有効になります。

ID 認証：認証方式を選択します。

プロトコル：プロトコルを選択します。

ユーザー名：ユーザー名を入力します。

パスワード：パスワードを入力します。



5.3.18 RTMP

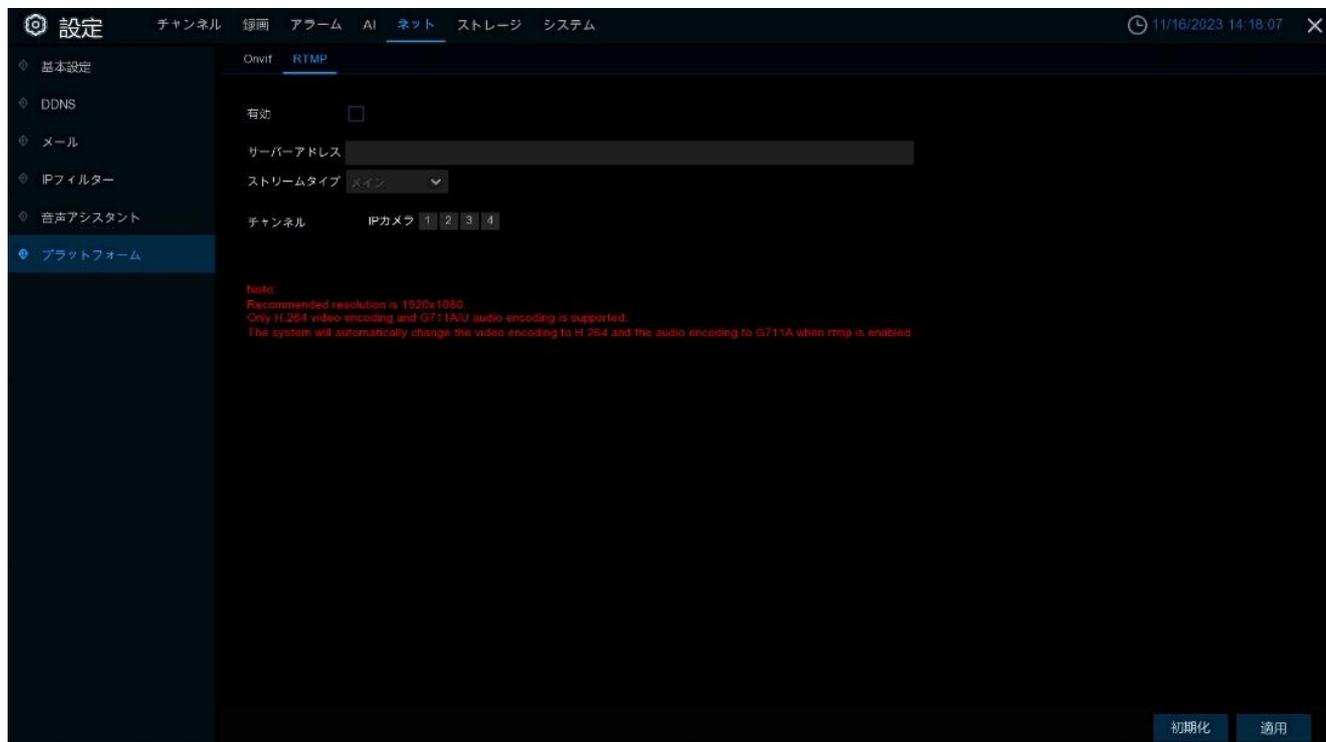
設定→ネット→プラットフォーム→RTMP

RTMP の設定を行います。

有効：チェックを入れると RTMP が有効になります。

サーバーアドレス：サーバーアドレスを入力します。

ストリームタイプ：ストリームタイプを選択します。



5.3.19 ディスク管理

設定→ストレージ→ディスク管理→ディスク管理

現在、SATAで認識しているハードディスク情報が表示されています。シリアル番号、モデル名、ファームウェア、状態、空き容量/合計容量、録画可能時間が表示されています。

HDDフォーマット：ハードディスク横のチェックボックスにチェックを入れてHDDフォーマットをクリックするとHDDがフォーマットされます。

上書き設定：ハードディスクの上書き設定を行います。オフ、自動、日数を選択します。初期値は自動になっておりハードディスクがいっぱいになったタイミングで上書き録画されていきます。

ネットワークHDD追加：NASを追加する際に設定します。

マウントタイプ：NFSまたはSMB/CIFSから選択します。サ

ーバーIP：サーバーIPアドレスを入力します。

ディレクトリ名：ディレクトリ名を入力します。

ディスクサイズ：ディスクサイズを入力します。

The screenshot shows the 'Disk Management' (ディスク管理) settings page. The page title is '設定' (Settings) and the current page is 'ストレージ' (Storage). The sub-page is 'ディスク管理' (Disk Management) with 'SMART' information visible. A table lists the detected hard drive:

| No. | シリアル番号 | モデル | ファームウェア | 状態 | 空き容量/合計容量 | 録画可能時間/合計 |
|-----|-----------------|----------------------|----------|------|-------------|-------------|
| 1* | WD-WX12D41JCLS0 | WDC WD40PURX-69AKYY0 | 80.00B80 | ノーマル | 2381G/3/26G | 1055時/1651時 |

At the bottom of the page, there are controls for '上書き設定' (Overwrite Settings) set to '自動' (Automatic), and buttons for 'HDDフォーマット' (Format HDD) and 'ネットワークHDD追加' (Add Network HDD). There are also '初め化' (Reset) and '適用' (Apply) buttons at the bottom right.

5.3.20 S.M.A.R.T

この機能を使用することでハードディスクの状態をチェックすることができます。事故診断状態と温度、使用時間、総合評価で診断結果が表示されます。

設定→ストレージ→ディスク管理→S.M.A.R.T

HDD ID：接続されているHDD IDが表示されます。

自己診断タイプ：3つの診断タイプから選択できます。

Short：ハ

ードディスクのヘッド、電子機器、内部メモリなどハードディスクの主要部品をチェックします。 Long：上記診断

によりエラーが確認された場合は、サーフェススキャンを実行し不良セクターの再配置を実施します。 Conveyance：ハードディスクの機械部品のみを診断する簡易診断を実施します。

注意

テストはバックグラウンドで実施されるため、レコーダーは通常通りに動作します。一度ハードディスクにエラーが発生して復旧できても、録画データを消失する可能性もあります。エラーが確認された場合は新しいハードディスクに交換することを推奨します。

設定

チャンネル 録画 アラーム AI ネット **ストレージ** システム

11/16/2023 14:18:25

ディスク管理 SMART

HDD ID: WD-WX12D41JCLS0 自己診断タイプ: Short

自己診断状態: 検知されていません。

温度(°C): 45 使用時間(d): 210

総合評価: 合格 [チェック](#)

S.M.A.R.T. 情報:

| ID | 属性名 | 状態 | フラッグ | 値 | 最悪値 | 閾値 | RAWデータ |
|------|----------------------------------|----|------|-----|-----|-----|--------|
| 0x1 | Raw Read Error Rate | OK | 2f | 200 | 200 | 51 | 0 |
| 0x3 | Spin Up Time | OK | 27 | 235 | 219 | 21 | 3250 |
| 0x4 | Start/Stop Count | OK | 32 | 100 | 100 | 0 | 109 |
| 0x5 | Reallocated Sector Count | OK | 33 | 200 | 200 | 140 | 0 |
| 0x7 | Seek Error Rate | OK | 2e | 200 | 200 | 0 | 0 |
| 0x9 | Power-On Hours Count | OK | 32 | 94 | 94 | 0 | 5059 |
| 0xa | Spinup Retry Count | OK | 32 | 100 | 100 | 0 | 0 |
| 0xb | Calibration Retry Count | OK | 32 | 100 | 253 | 0 | 0 |
| 0xc | Power Cycle Count | OK | 32 | 100 | 100 | 0 | 79 |
| 0xc0 | Power-Off Retract Count | OK | 32 | 200 | 200 | 0 | 70 |
| 0xc1 | Load/Unload Cycle Count | OK | 32 | 200 | 200 | 0 | 38 |
| 0xc2 | HDA Temperature | OK | 22 | 105 | 90 | 0 | 45 |
| 0xc4 | Reallocation Count | OK | 32 | 200 | 200 | 0 | 0 |
| 0xc5 | Current Pending Sector Count | OK | 32 | 200 | 200 | 0 | 0 |
| 0xc6 | Offline Scan Uncorrectable Count | OK | 30 | 100 | 253 | 0 | 0 |
| 0xc7 | UDMA CRC Error Rate | OK | 32 | 200 | 200 | 0 | 0 |

5.3.21 クラウド

ドロップボックスやグーグルドライブなどのクラウドストレージを使用することができます。

クラウドストレージ：クラウドを利用する場合はチェックを入れます。

クラウドタイプ：ドロップボックスまたはグーグルドライブから選択します。接続確認できている場合、クラウド状態が有効になります。

容量：クラウド録画の容量が表示されます。

クラウド上書き：クラウド録画の上書きスケジュールを設定します。

ビデオタイプ：動画フォーマットを選択します。MP4、RF、AVIが選択できます。フ

ォルダ名：フォルダ名を選択します。

The screenshot displays the 'クラウド' (Cloud) settings page. The top navigation bar includes '設定' (Settings), 'チャンネル' (Channel), '録画' (Recording), 'アラーム' (Alarm), 'AI', 'ネット' (Network), 'ストレージ' (Storage), and 'システム' (System). The left sidebar shows 'ディスク管理' (Disk Management), 'クラウド' (Cloud), and 'FTP'. The main content area is titled 'クラウド' and features the following settings:

- クラウドストレージ:
- クラウドタイプ: ドロップボックス (Dropdown menu)
- クラウド状態: 無効 (Dropdown menu)
- 容量: 0% (Progress bar), 0.00B/0.00B (Text)
- クラウド上書き: 日毎 (Dropdown menu)
- ビデオタイプ: MP4 (Dropdown menu)

Below the settings is a table with two columns: 'チャンネル' (Channel) and 'フォルダー名' (Folder Name). The table contains one row for 'CH1'.

| チャンネル | フォルダー名 |
|-------|--------|
| CH1 | CH1 |

At the bottom right, there are two buttons: '初め化' (Reset) and '適用' (Apply).

5.3.22 FTP

FTP サーバーを利用する場合に設定します。

FTP 有効：FTP サーバーを利用する場合はチェックを入れます。サ

ーバー IP：FTP サーバーの IP アドレスを入力します。

ポート：ポート番号を入力します。

ユーザー名：FTP サーバーのユーザー名を入力します。

パスワード：FTP サーバーのパスワードを入力します。

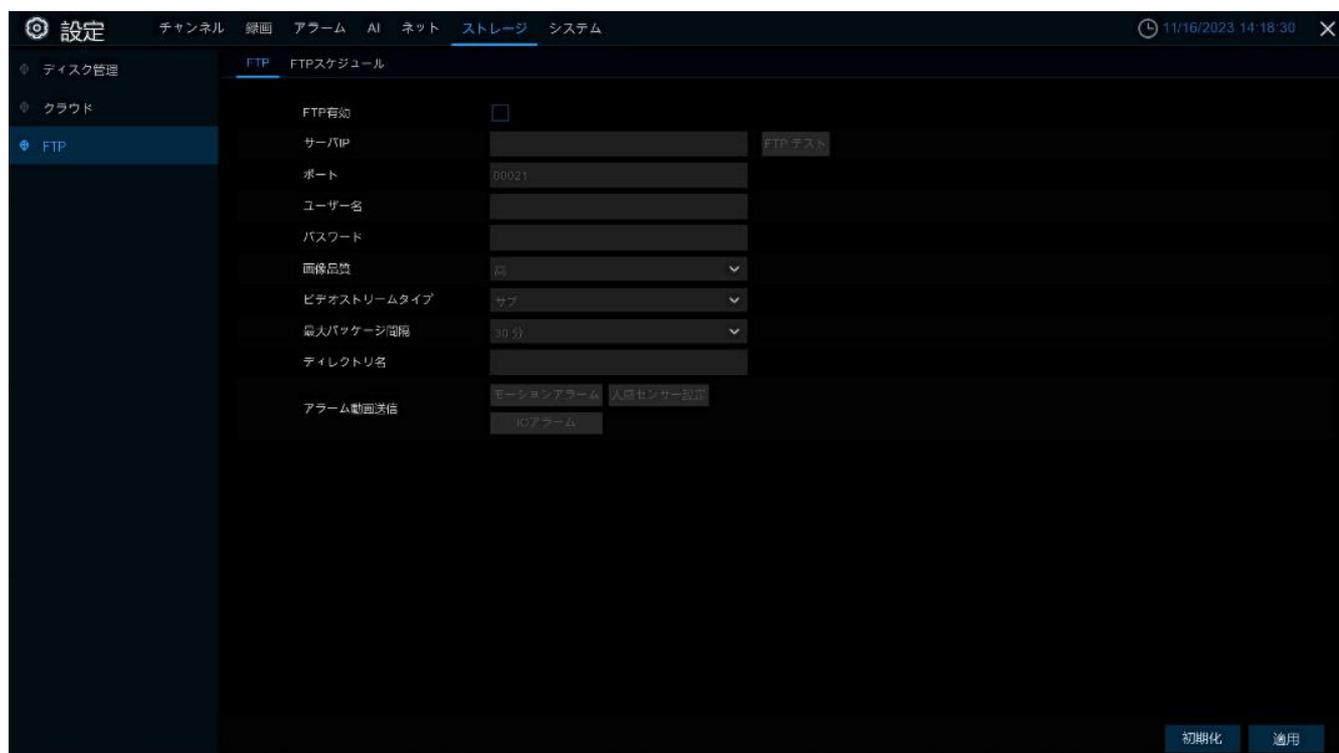
画像品質：画像品質を設定します。

ビデオストリームタイプ：ビデオストリームタイプをメインとサブから選択します。

最大パッケージ間隔：10 分から 60 分の間で間隔を設定してください。

ディレクトリ名：ディレクトリ名を入力してください。

アラーム動画送信：モーションアラーム、人感センサー設定、IO アラームから選択します。



5.3.2.3 FTP スケジュール

設定→ストレージ→FTP→FTP スケジュール

チャンネル別、イベント別 (モーション、IO アラーム、AI、人感センサー) 時間別でメール通知するスケジュールを決めることができます。複数の設定を同時に入れるためにはコピー機能を利用してスケジュールをコピーすることができます。

The screenshot displays the 'FTP スケジュール' (FTP Scheduling) configuration page. The main area is a grid where the vertical axis lists the days of the week (日, 月, 火, 水, 木, 金, 土) and the horizontal axis lists hours from 0 to 24. A legend on the right side of the grid identifies four event types: モーション (Motion) in yellow, IOアラーム (IO Alarm) in red, 人感センサー (PIR) in purple, and AI in blue. The grid is filled with a repeating pattern of these colors, indicating that all events are scheduled to occur at all times. At the bottom right of the grid, there are three buttons: 'コピー' (Copy), '初期化' (Reset), and '適用' (Apply). The top of the interface shows a navigation menu with '設定' (Settings) selected, and other options like 'チャンネル', '録画', 'アラーム', 'AI', 'ネット', 'ストレージ', and 'システム'. The current date and time are shown as 11/16/2023 14:18:33.

5.4 システム

このメニューでは日時設定、モニター解像度設定、ユーザー設定、その他の一般的なシステムの設定を行います。

5.4.1 基本設定

設定→システム→基本設定

デバイス名：レコーダーの名称を入力します。

デバイスID：レコーダーを識別するためのIDを入力してください。

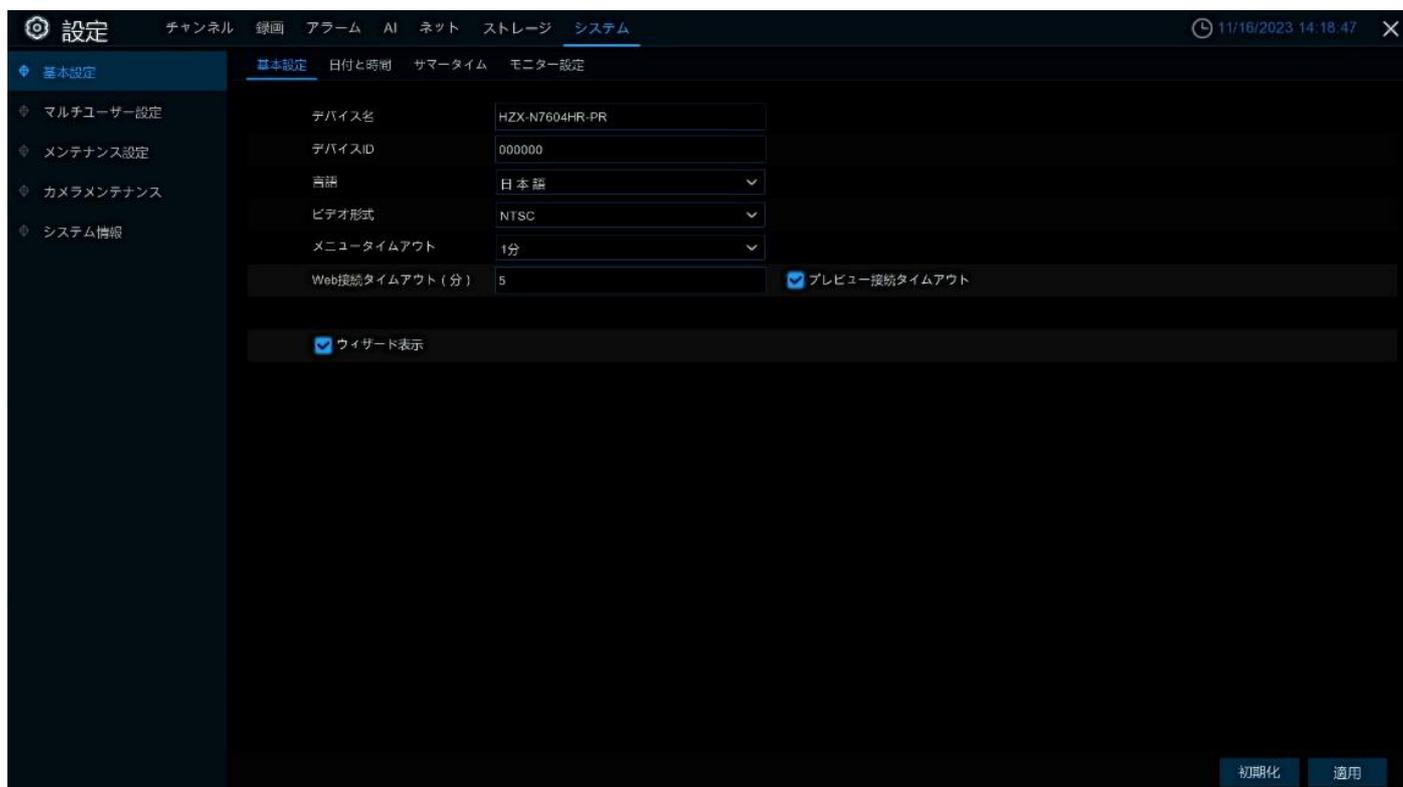
言語：メニューの言語を設定してください。デフォルトは日本語に設定されています。

ビデオ形式：日本国内で使用する場合はNTSC選択してください。

メニュータイムアウト：日本国内で使用する場合はNTSC選択してください。

WEB 接続タイムアウト：WEB 接続している場合に設定した時間になると自動でタイムアウトします。

ウィザード表示：チェックが入っていると起動時にスタートアップウィザードが表示されます。使用しない場合はチェックを外してください。



5.4.2 日付と時間

設定→システム→基本設定→日付と時間

スタティック：日付と時間を手動で設定します。

NTP：日付と時間をNTP プロトコルを使って補正します。

日付：年月日の設定を入れます。

時間：時間の設定をします。

日付表示形式：日付表示形式を選択します。時間表示形式：

The screenshot shows the 'Date and Time' settings page in a system configuration interface. The page is titled '設定' (Settings) and has a navigation menu with options: 'チャンネル' (Channel), '録画' (Recording), 'アラーム' (Alarm), 'AI', 'ネット' (Network), 'ストレージ' (Storage), and 'システム' (System). The 'システム' (System) section is selected, and the '日付と時間' (Date and Time) sub-section is active. The settings are as follows:

| 設定項目 | 設定値 |
|--------------|---|
| スタティック / NTP | <input type="radio"/> スタティック / <input checked="" type="radio"/> NTP |
| 日付 | 11/16/2023 |
| 時間 | 14:18:51 |
| 日付表示形式 | 月/日/年 |
| 時間表示形式 | 24時 |
| タイムゾーン | GMT+09:00 |
| サーバーアドレス | pool.ntp.org |

Buttons: '今すぐ更新する' (Update Now), '初期化' (Reset), '適用' (Apply).

5.4.3 サマータイム

設定→システム→基本設定→サマータイム

サマータイム：チェックを入れるとサマータイムが有効になります。

時間オフセット：進める時間を設定します。

サマータイムモード：モードの設定を週単位、または日付単位で設定します。

開始時間：サマータイムモードの開始時間を設定します。

終了時間：サマータイムモードの終了時間を設定します。

The screenshot shows a web-based settings interface for a system. The main menu at the top includes '設定' (Settings), 'チャンネル' (Channels), '録画' (Recording), 'アラーム' (Alarms), 'AI', 'ネット' (Network), 'ストレージ' (Storage), and 'システム' (System). The 'システム' section is active, with sub-tabs for '基本設定' (Basic Settings), '日付と時間' (Date and Time), 'サマータイム' (Summer Time), and 'モニター設定' (Monitor Settings). The 'サマータイム' tab is selected, showing the following configuration options:

- サマータイム有効:
- 時間オフセット: 1時
- サマータイムモード: 週
- 開始時間: 3月, 第2週, 日曜日, 02:00:00
- 終了時間: 11月, 第1週, 日曜日, 02:00:00

At the bottom right, there are two buttons: '初期化' (Reset) and '適用' (Apply).

5.4.4 モニター設定

設定→システム→基本設定→モニター設定

ビデオ出力：ライブ出力を設定します。

シーケンスモード：シーケンシャル切り替えを単画面、4分割、6分割モードから選択します。

シーケンス切替時間：シーケンシャル切替時間を設定します。1～300秒にて設定できます。

VGA/HDMI 解像度：映像出力解像度を設定します。使用しているモニターに合わせて解像度をお選びください。

スケール&オフセット：設定をクリックしてモニターに合うサイズと位置を調整してください。

スケール：表示画面の大きさを調整する

Xオフセット：表示画面の左右を調整する

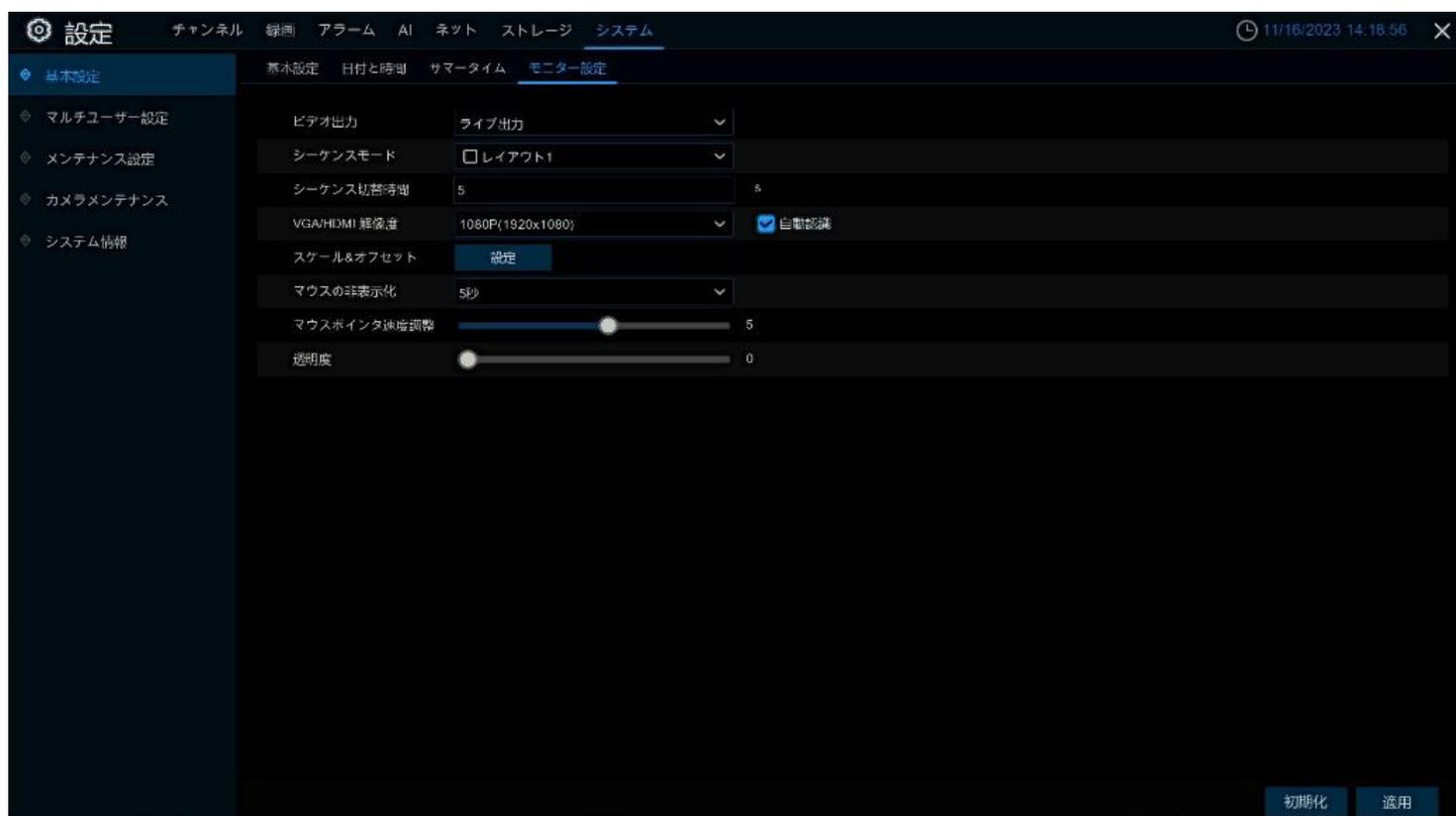
Yオフセット：表示画面の上下を調整する

終了時間：サマータイムモードの終了時間を設定します。

マウスの非表示化：マウスポインタが非表示になるまでの時間を設定します。

マウスポインタ速度調整：マウスポインタの速度を調整します。

透明度：メインメニューとメニューバーの画面の透明度を調整します。



5.4.5

設定→システム→マルチユーザー設定

ユーザー名；パスワード、権限の設定を行います。

Admin 管理者：システムの設定や操作、admin のパスワードと user パスワードを変更することができます。

User ユーザー：ユーザーID ではライブ、検索、再生などの基本操作のみアクセスできます。ユーザーID ごとにアクセス権限できる設定が可能です。

パスワード変更：パスワードは8文字以上で設定してください。数字と文字を含めるようにしてください。パスワードの入力と確認用のパスワードの入力が必要になります。

パターンロックを解除します：有効にするとログイン時にパターンでログインできます。

シングルユーザーログイン数：ログインできるユーザー数を制限します。1～5で設定します。

| No. | ユーザー名 | レベル | ユーザー有効 | ユーザー編集 | 許可 |
|-----|--------|--------|--------|--------|----|
| 1 | admin | ADMIN | 有効 | | |
| 2 | user1 | ユーザー1 | 無効 | | |
| 3 | user2 | ユーザー2 | 無効 | | |
| 4 | user3 | ユーザー3 | 無効 | | |
| 5 | user4 | ユーザー4 | 無効 | | |
| 6 | user5 | ユーザー5 | 無効 | | |
| 7 | user6 | ユーザー6 | 無効 | | |
| 8 | user7 | ユーザー7 | 無効 | | |
| 9 | user8 | ユーザー8 | 無効 | | |
| 10 | user9 | ユーザー9 | 無効 | | |
| 11 | user10 | ユーザー10 | 無効 | | |
| 12 | user11 | ユーザー11 | 無効 | | |
| 13 | user12 | ユーザー12 | 無効 | | |
| 14 | user13 | ユーザー13 | 無効 | | |
| 15 | user14 | ユーザー14 | 無効 | | |
| 16 | user15 | ユーザー15 | 無効 | | |
| 17 | user16 | ユーザー16 | 無効 | | |

既定のユーザー: admin

初期化 適用

5.5メンテナンス設定

このメニューではシステムログの検索、アップロード、アップグレードや設定ファイルの保存、アップロードが可能です。

5.5.1 ログ

システムログからアラームログ、ハードディスク情報などのログ情報が表示されます。システムログファイルはUSBメモリに保存バックアップすることが可能です。

開始日/開始時間：取得したいログデータの開始日と開始時間を指定します。

終了日/終了時間：取得したいログデータの終了日と終了時間を指定します。

ログタイプ：ログタイプを選択します。システムログ、設定、アラームなど検索したいログタイプを選択してください。

録画再生アイコンをクリックすると録画映像が再生されます。

バックアップ用のUSBメモリを挿入するとメモリの状態が表示されます。ファイルを保存するフォルダを選択してクリックすることでバックアップを開始します。

設定

チャンネル 録画 アラーム AI ネット ストレージ システム

11/16/2023 14:19:02

基本設定

マルチユーザー設定

メンテナンス設定

カメラメンテナンス

システム情報

ログ 初期値アップロード リセットスイッチ設定 アップグレード パラメータ管理 自動再起動 開発者モード

開始日 11/16/2023 開始時間 00:00:00

終了日 11/16/2023 終了時間 23:59:59

ログタイプ すべて 検索

| チャンネル | タイプ | 時間 | 内容 | アクセスソース | 録画 | 録画再生 |
|-------|-----|----|----|---------|----|------|
|-------|-----|----|----|---------|----|------|

バックアップ

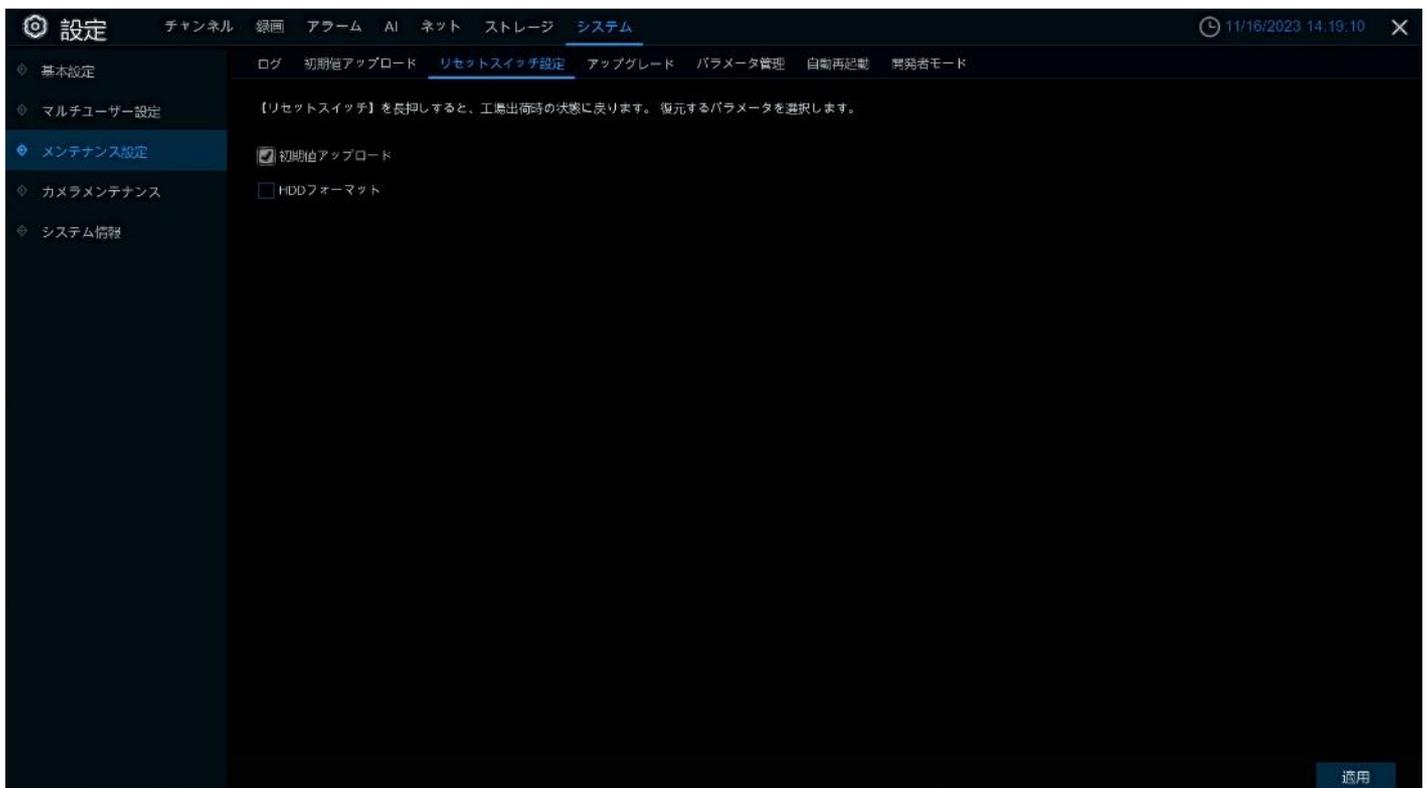
5.5.2 初期値アップロード

レコーダーの設定を出荷時の状態に戻します。すべての項目は初期化するもしくは一部の項目を初期化するか選択することができます。



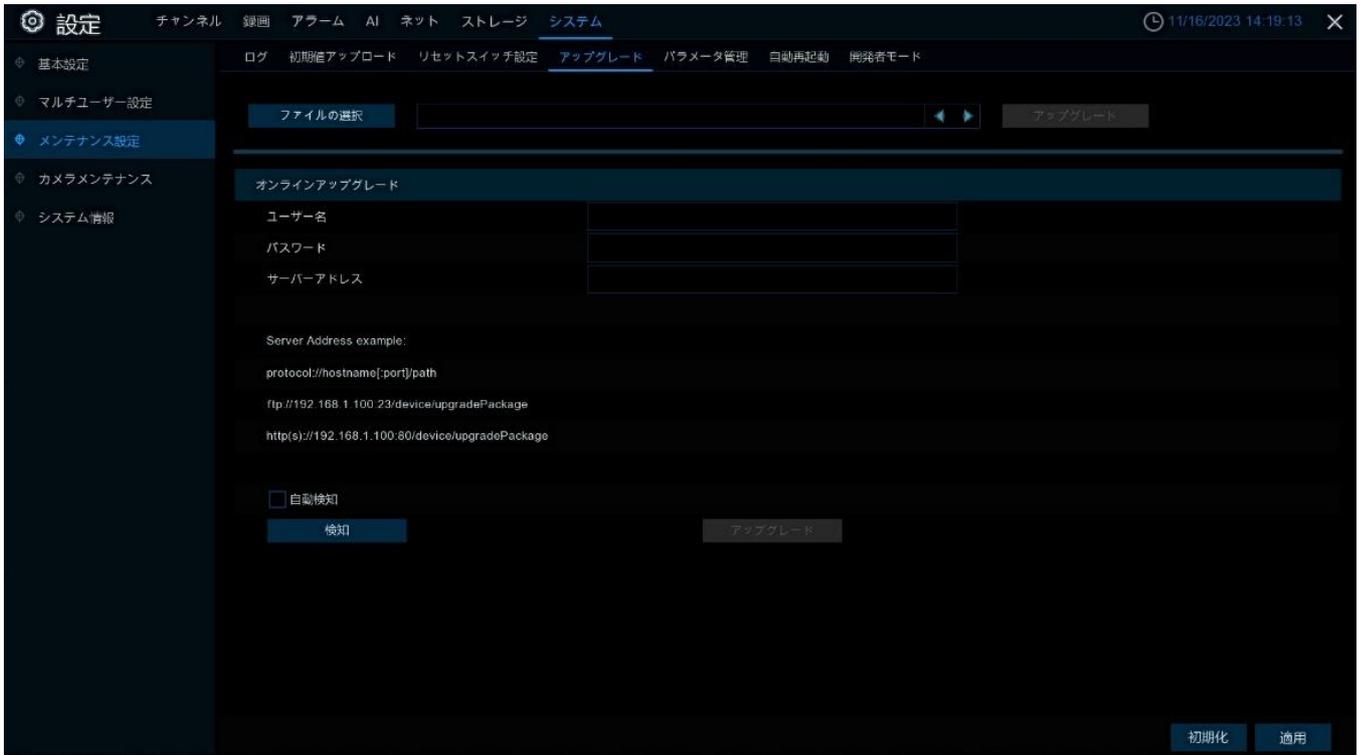
5.5.3 リセットスイッチ

レコーダーのリセットスイッチの復元するパラメーターを設定します。初期値アップロードはデフォルト設定でHDDフォーマットを設定可能です。



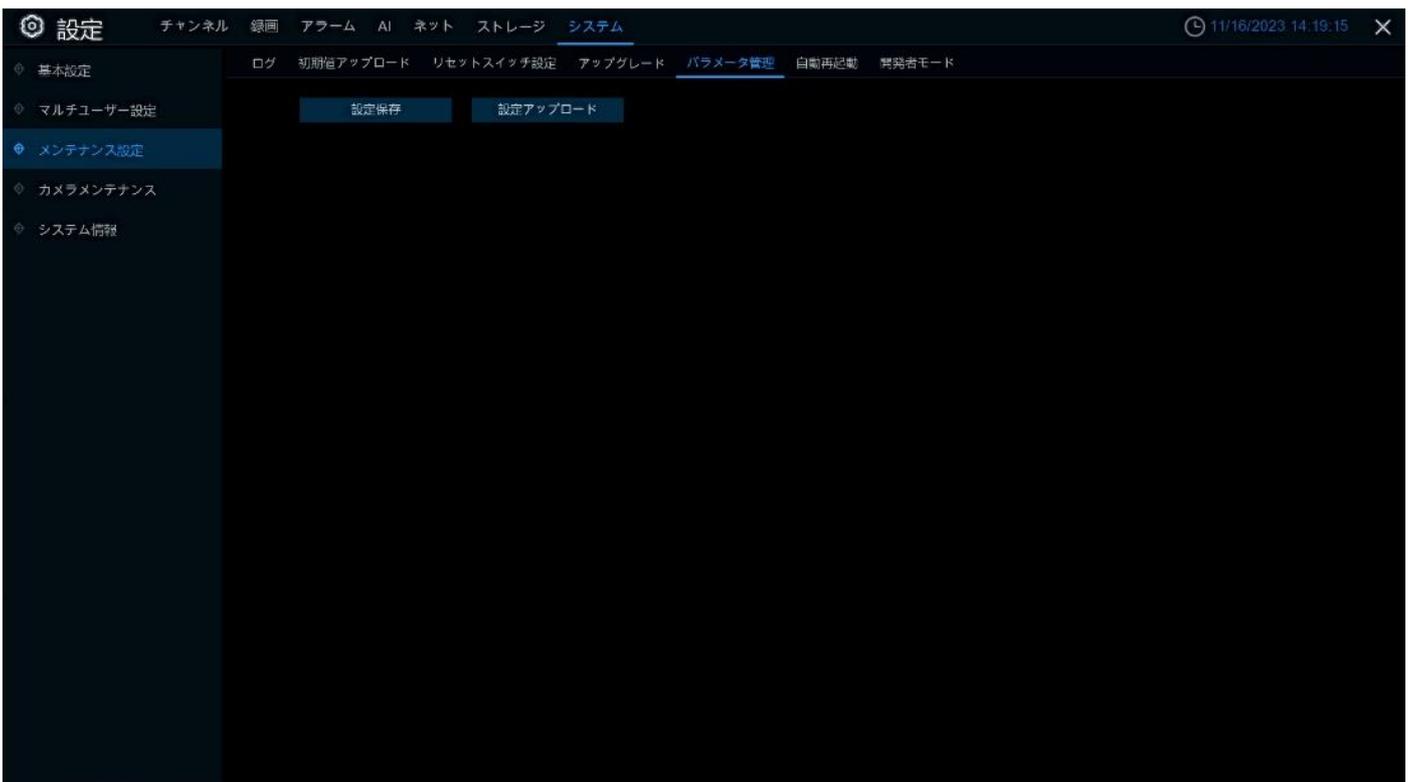
5.5.4 アップグレード

ファームウェアをUSBメモリに入れてレコーダーのUSBメモリに挿入します。USBメモリからファームウェアを選択してOKをクリックするとファームウェアのアップデートを開始します。※アップグレードには5分～10分程度かかります。アップグレード中は機器の電源を落とさないでください。またUSBメモリも抜き取りしないように注意してください。



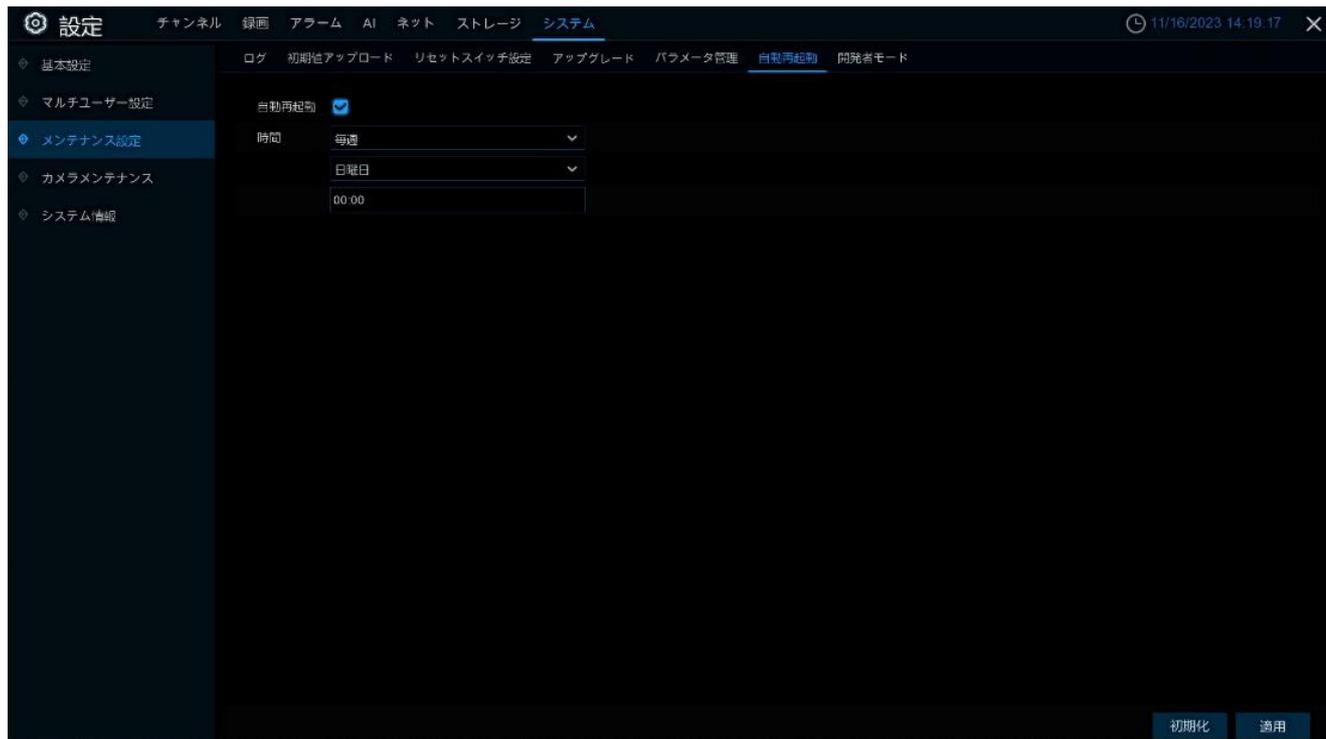
5.5.5 パラメータ管理

レコーダーの各種設定(コンフィグデータ)をUSBメモリに保存したり、レコーダーにアップロードすることができます。レコーダーにアップロードする場合は別のレコーダーへのアップロードも可能です。



5.5.6 自動再起動

レコーダーを定期的に自動再起動させることができます。再起動の周期は(週、月、日)を設定し曜日と時間が設定可能です。



5.5.7 開発者モード

Telnet : Telnet を有効にするにはチェックを入れてください。

デバッグ情報 : シャットオフ/ターミナルへ出力/ディスクへ出力から選択します。

デバッグ情報をエクスポートで接続したUSBメモリにデバッグ情報をエクスポートします。デバッグ情報削除を選択するとデバッグ情報が削除されます。



5.6 カメラメンテナンス

このメニューではカメラのアップグレードや初期値のアップロード、フォーマットを行います。

5.6.1 アップグレード

カメラのファームウェアアップグレードを行います。

アップグレードしたいカメラのチェックボックスにチェックします。レコーダーにファームウェアの入ったUSBメモリを挿してファイルの選択をクリックします。IPカメラアップグレードをクリックするとカメラのアップグレードを開始します。アップグレード中はIPカメラ、レコーダーの電源を切ったり、USBメモリを外さないように注意してください。

The screenshot shows a web-based configuration interface for camera maintenance. The top navigation bar includes '設定' (Settings) and various system tabs: 'チャンネル' (Channel), '録画' (Recording), 'アラーム' (Alarm), 'AI', 'ネット' (Network), 'ストレージ' (Storage), and 'システム' (System). The 'システム' tab is active, and the 'アップグレード' (Upgrade) sub-tab is selected. A table lists camera details for upgrade:

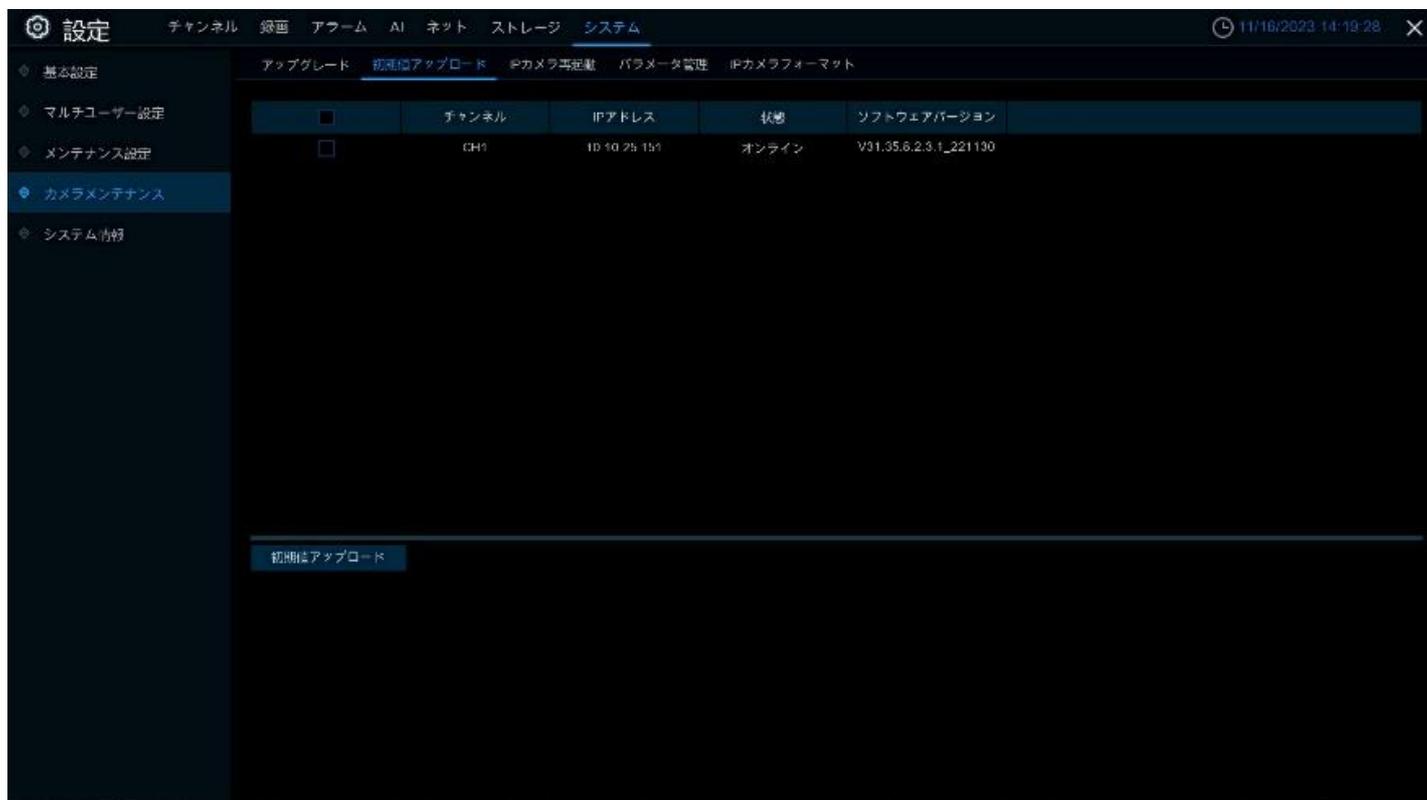
| アップグレード | 初期値アップロード | IPカメラ再起動 | パラメータ管理 | IPカメラフォーマット |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> |
| チャンネル | IPアドレス | 状態 | ソフトウェアバージョン | アップグレード |
| CI11 | 10.10.25.151 | オンライン | V31.39.8.2.3.1_221130 | |

Below the table, there is a 'ファイルの選択' (Select File) button and a file selection area. At the bottom, there is an '自動検知' (Auto-detect) checkbox and buttons for '検知' (Detect) and 'アップグレード' (Upgrade). A '適用' (Apply) button is located in the bottom right corner.

5.6.2 初期値アップロード

カメラの初期値をアップロードします。

初期値アップロードしたいカメラのチェックボックスにチェックします。初期値アップロードをクリックしてカメラを初期化します。



The screenshot shows a web interface for camera management. The top navigation bar includes '設定' (Settings) and several menu items: 'チャンネル' (Channel), '録画' (Recording), 'アフォーム' (Forum), 'AI', 'ネット' (Network), 'ストレージ' (Storage), and 'システム' (System). The 'システム' menu is active, and the '初期値アップロード' (Initial Value Upload) sub-menu is selected. Below the navigation, there are tabs for 'アップグレード' (Upgrade), '初期値アップロード' (Initial Value Upload), 'IPカメラ再設定' (IP Camera Re-configuration), 'パラメータ管理' (Parameter Management), and 'IPカメラフォーマット' (IP Camera Format). The main content area displays a table with the following data:

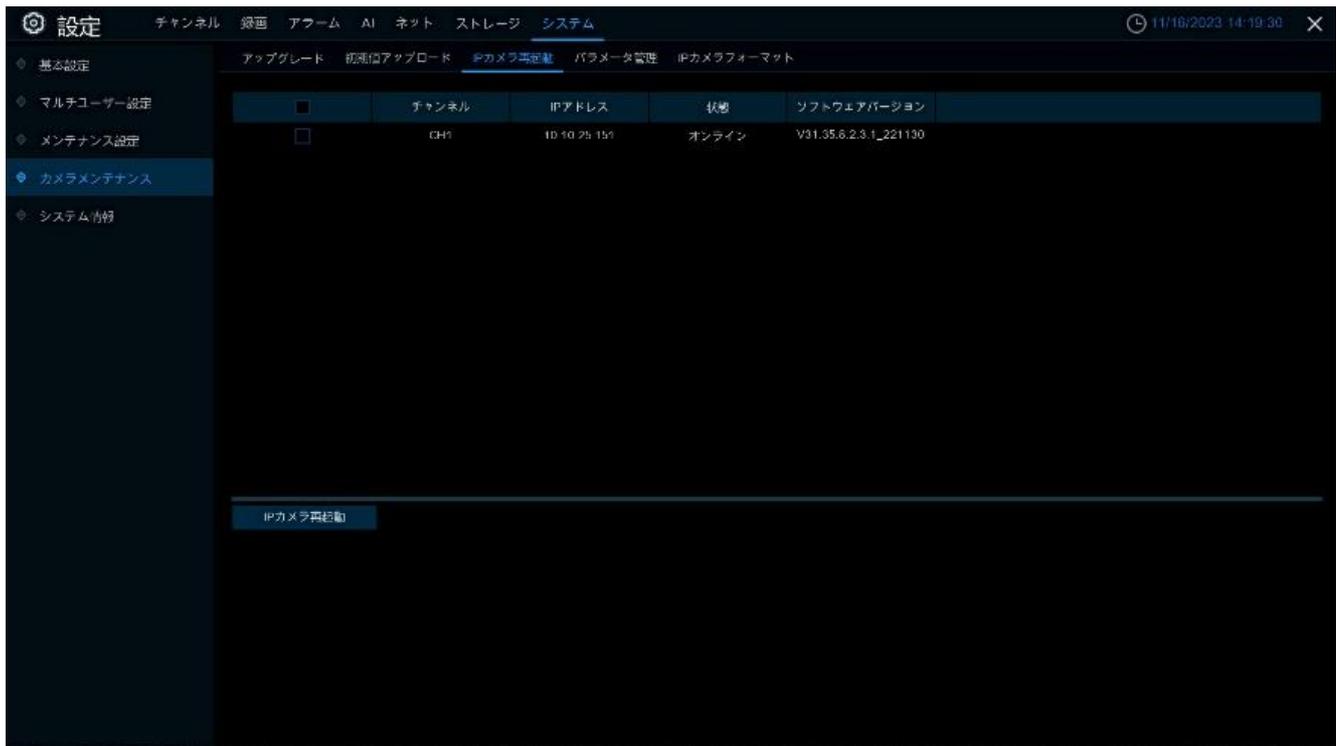
| | チャンネル | IPアドレス | 状態 | ソフトウェアバージョン |
|--------------------------|-------|-----------|-------|-----------------------|
| <input type="checkbox"/> | CH1 | 10.25.151 | オンライン | V31.35.6.2.3.1_221130 |

At the bottom of the table, there is a button labeled '初期値アップロード' (Initial Value Upload).

5.6.3 IP カメラ再起動

カメラを再起動します。

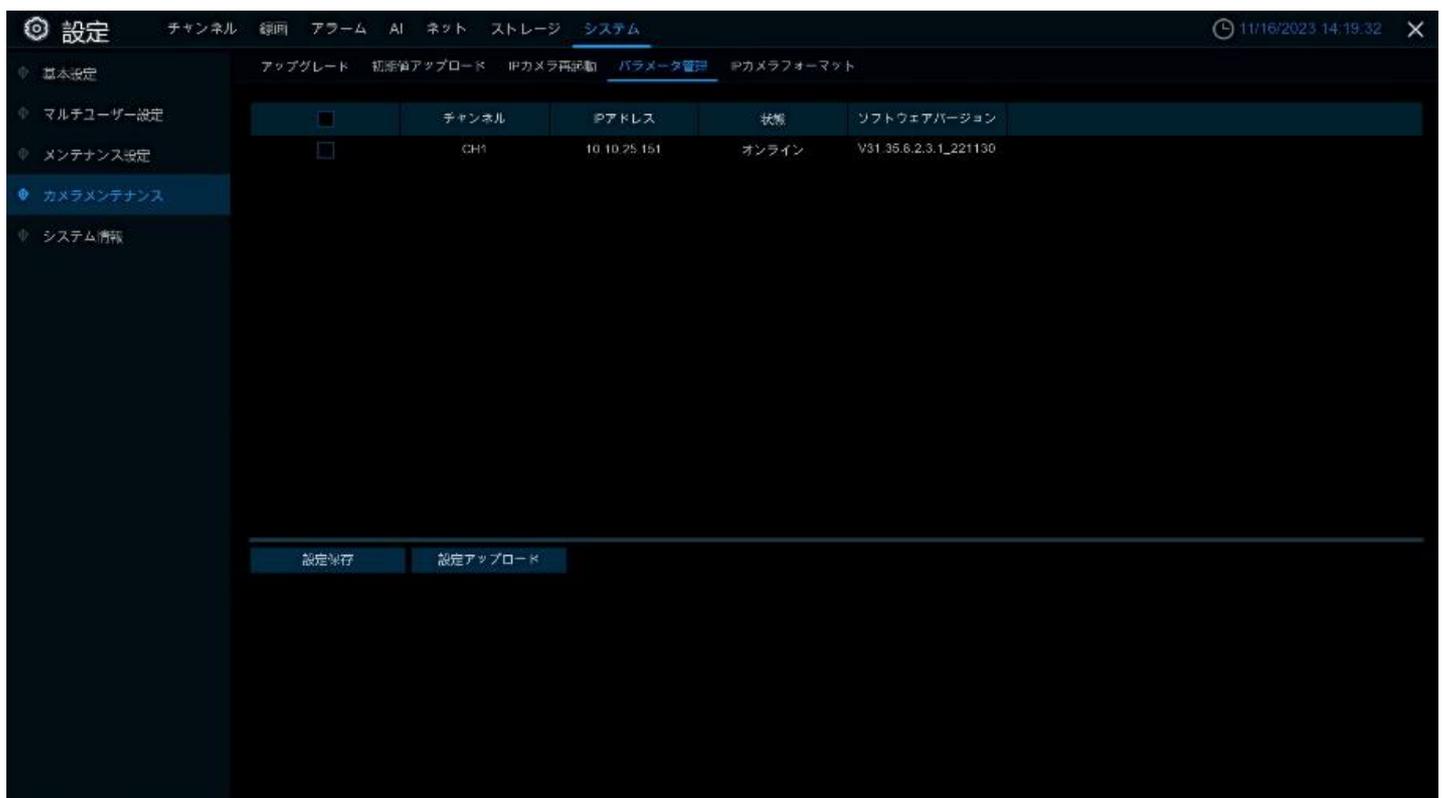
再起動したいカメラのチェックボックスにチェックします。IP カメラ再起動をクリックしてカメラを初期化します。



5.6.4 パラメータ管理

カメラのパラメータ(設定値)をアップロードまたは保存します。

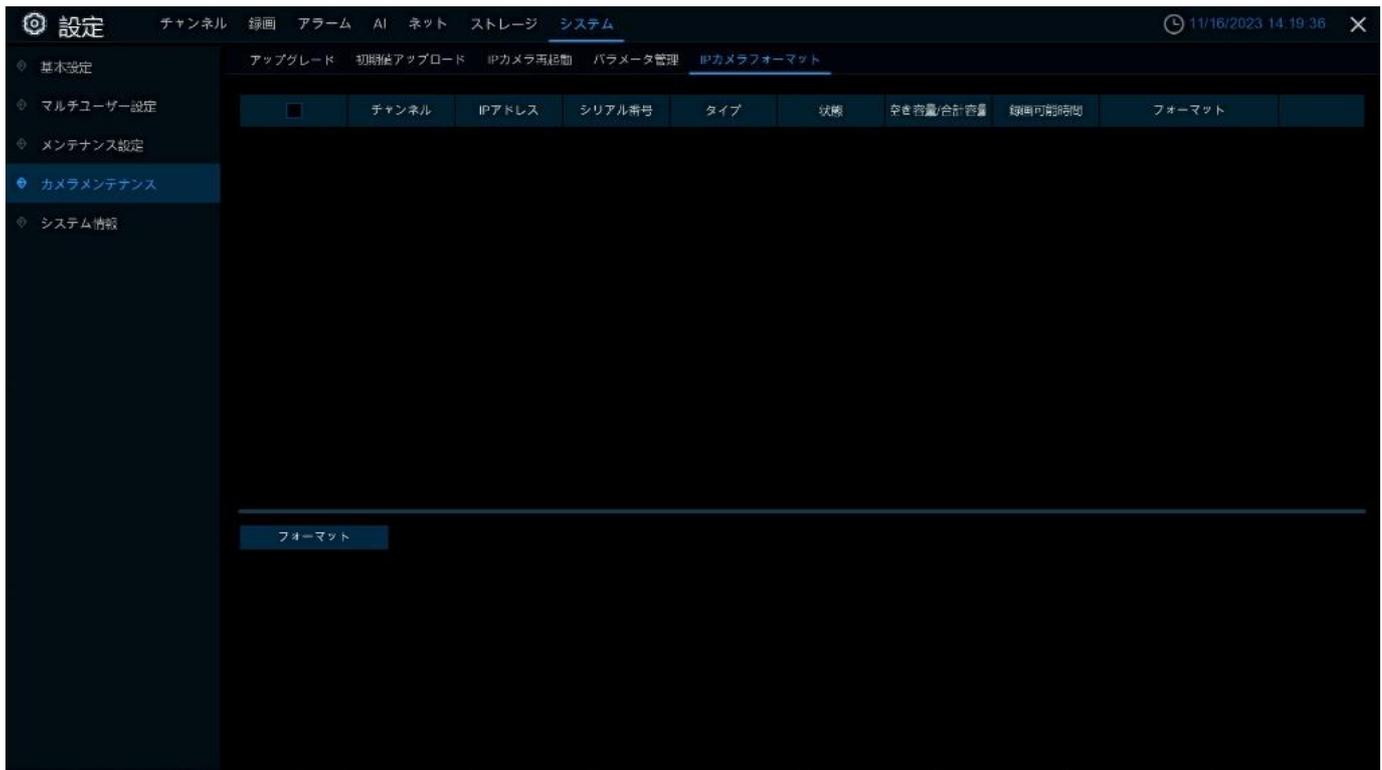
カメラのチェックボックスにチェックを入れます。設定値を保存したい場合は設定値保存をクリックして、設定値をUSBメモリに保存したい場合は設置アップロードをクリックしてください。



5.6.5 IP カメラフォーマット

※対応しているカメラのみカメラの初期化に対応しています。

カメラのチェックボックスにチェックを入れます。フォーマットをクリックしてください。



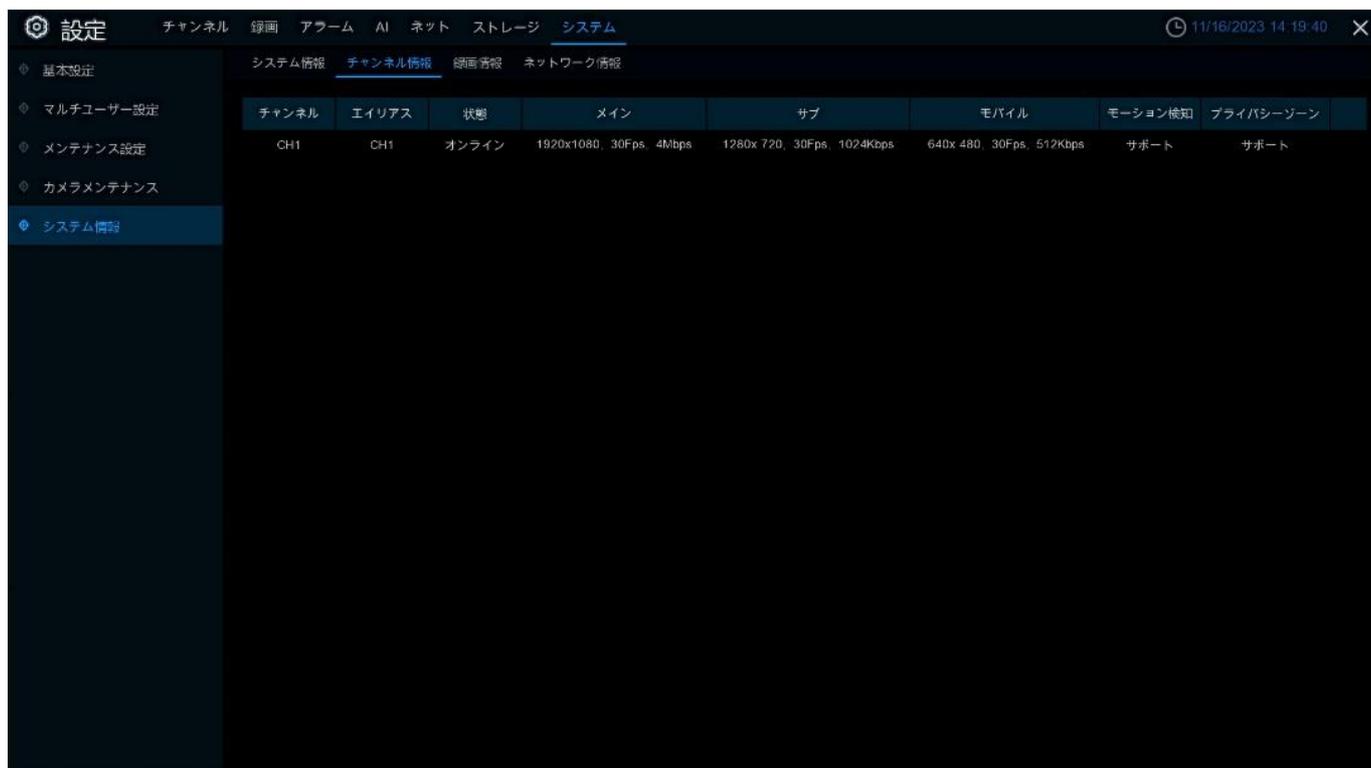
5.7 システム情報

デバイスの各種情報やファームウェアバージョン、HDD容量が表示されます。ネットワーク情報が表示されます。リモートでの接続(P2P)をする場合の接続状態や、ID、QRコードが表示されますので参照してください。



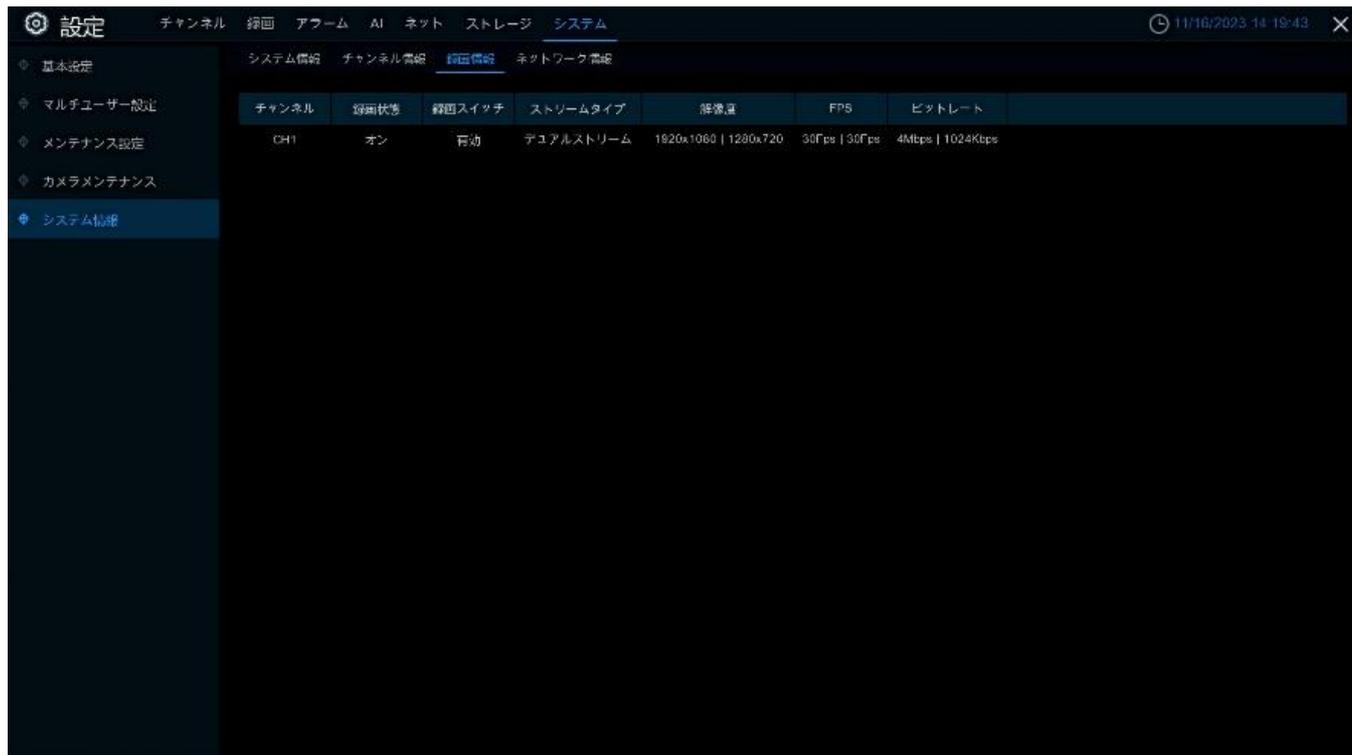
5.7.1 チャンネル情報

カメラ名、メインストリーム、サブストリーム。検知情報、接続されているカメラのチャンネル情報を確認することができます。



5.7.2 録画情報

カメラの録画情報を確認します。ストリームタイプ、解像度、フレームレート (FPS)、ビットレートを確認することができます。



5.7.3 ネットワーク情報

レコーダーのネットワーク情報を表示します。合計バンド幅はレコーダーに入力できるカメラ映像の合計入力容量で使用バンド幅は接続中のカメラの合計帯域幅が表示されます。



6.1 映像検索・再生・バックアップ

レコーダーに保存されている録画データ、スナップショットを検索して再生します。連続録画、手動録画、モーション検知、人感センサーから選択し再生できます。またバックアップ機能を使用することで重要な録画データを USB メモリーに保存しパソコンで再生することもできます。

検索画面説明



6.1.1検索方法

基本、イベント、マルチ時間、スマート、タグ、外部ファイル、写真、スライス、AIから検索方法を設定します。

6.1.2検索日

カレンダーから録画データを検索したい日付を選択します。

6.1.3検索タイプ

検索タイプを選択します。アラームやAI検知、カウントなどを選択します。

6.1.4ストリームタイプ

カメラのストリームタイプをメイン、サブから選択します。

6.1.5チャンネル選択

カメラのチャンネルを選択します。

6.1.6コントロールバー

- ・ フルスクリーン表示
- ・ 巻き戻し ×2、×4、×8、×16
- ・ スロー再生 ×1/2、×1/4、×1/8、×1/16
- ・ 再生 / 一時停止
- ・ コマ送り、1クリックで1フレーム映像が動きます
- ・ 停止
- ・ 早送り ×2、×4、×8、×16
- ・ デジタルズームイン・アウト マウスホイールで拡大と縮小をします。
- ・ 録画データを開始時間と終了時間で切り取りバックアップします。
- ・ 音量を調整します。
- ・ アイコンをクリックして画像をキャプチャします。画像はUSBメモリに保存されます。
- ・ タグを追加します。
- ・ カスタムタグを追加します。
- ・ 録画映像のオリジナル、ストレッチ表示を切り替えます。

6.1.7タイムバー

タイムバーには録画データがある場合、カラー別に表示されます。

緑色：連続録画

黄色：モーション

赤色：IPアラーム紫

色：人感センサー水

色：AI

橙色：アラーム

緑色：手動録画(マニュアル)

橙色：ANR(回線障害バックアップ)

右側の時間軸調整で表示する時間単位を変更します。30分、1時間、2時間、4時間、8時間、12時間、16時間、20時間、24時間に変更することができます。

6.1.8再生速度

再生速度を表示します。

#再生方法について

実際に再生する手順について解説します。

- 1、 カレンダーから録画データを検索する日付を選択します。
- 2、 検索タイプを選択します。
- 3、 検索したいチャンネルをチェックします。
- 4、 選択内容がタイムバーに表示されます。
- 5、 再生ボタンをクリックして録画データが再生されます。
- 6、 時間枠オプションを使用して時間表示単位を変更します。

6.1.9バックアップ方法

バックアップはビデオをクリップするか、クイックバックアップの2種類のバックアップ方法があります。

※ビデオクリップの方法

- 1、USBメモリーをレコーダーに接続します。
- 2、録画映像を再生します。
- 3、アイコンをクリックします。クリップしたい箇所を調整します。
- 4、アイコンをクリックします。
- 5、拡張子をRF、AVI、MP4から選択します。
- 6、保存をクリックするとUSBメモリーのデバイス情報が表示されます。
- 7、バックアップの保存先を設定してOKをクリックします。

6.2 イベント再生

イベント検索をすることでイベント発生時間のサムネイル画像を一覧で表示することができるようになり録画映像の検索をより短縮することができます。

- 1、 カレンダーから録画データを検索する日付を選択します。
- 2、 検索タイプを選択します。
- 3、 ストリームタイプをメインまたはサブから選択します。
- 4、 検索したいチャンネルをチェックします。
- 5、 検索ボタンをクリックして、イベント録画映像がサムネイルで表示されます。
- 6、 再生ボタンをクリックして録画データが再生されます
- 7、 バックアップボタンをクリックしてバックアップします。拡張子はRF、AVI、MP4から選択します。
- 8、 右下のページを選択するとページを移動します。
- 9、 降順にするとサムネイルリストが降順で表示されます。
- 10、 選択をクリックすると全てのイベントサムネイルが選択されます。
- 11、 選択されているファイル数と合計サイズが表示されます。
- 12、 表示方法を変更します。サムネイル、リスト、詳細表示から選択します。



6.2マルチ時間再生

マルチ時間再生では1つのチャンネルを4台の分割画面で複数表示できる機能です。1

- 1、カレンダーから録画データを検索する日付を選択します。
- 2、検索時間を表示します。
- 3、分割表示数を選択します。
- 4、検索タイプを選択します。
- 5、ストリームタイプをメインまたはサブから選択します。
- 6、チャンネルを選択します。
- 7、タイムバーをクリックすると録画データがマルチ表示されます。
- 8、時間枠オプションを使用して時間表示単位を変更します。
- 9、ビデオクリップバックアップにてバックアップが可能です。



6.3スマート検索

画面の中で動きがあった場合に、残っているスマート録画データを検索する機能です。

- 1、カレンダーから録画データを検索する日付を選択します。
- 2、検索時間を表示します。
- 3、検索タイプを選択します。
- 4、チャンネルを選択します。
- 5、タイムバーにスマート検索録画データがある場合は青色で表示されます。
- 6、再生アイコンをクリックすると録画データを表示します。
- 6、スマートエリアを選択するには人アイコンをクリックしてスマートエリアを設定します。
- 7、画像内をマウスでドラッグすると赤枠でスマートエリアを設定できます。
- 8、スマートエリア検索で選択したエリアの録画データを表示します。



6.4 タグ再生

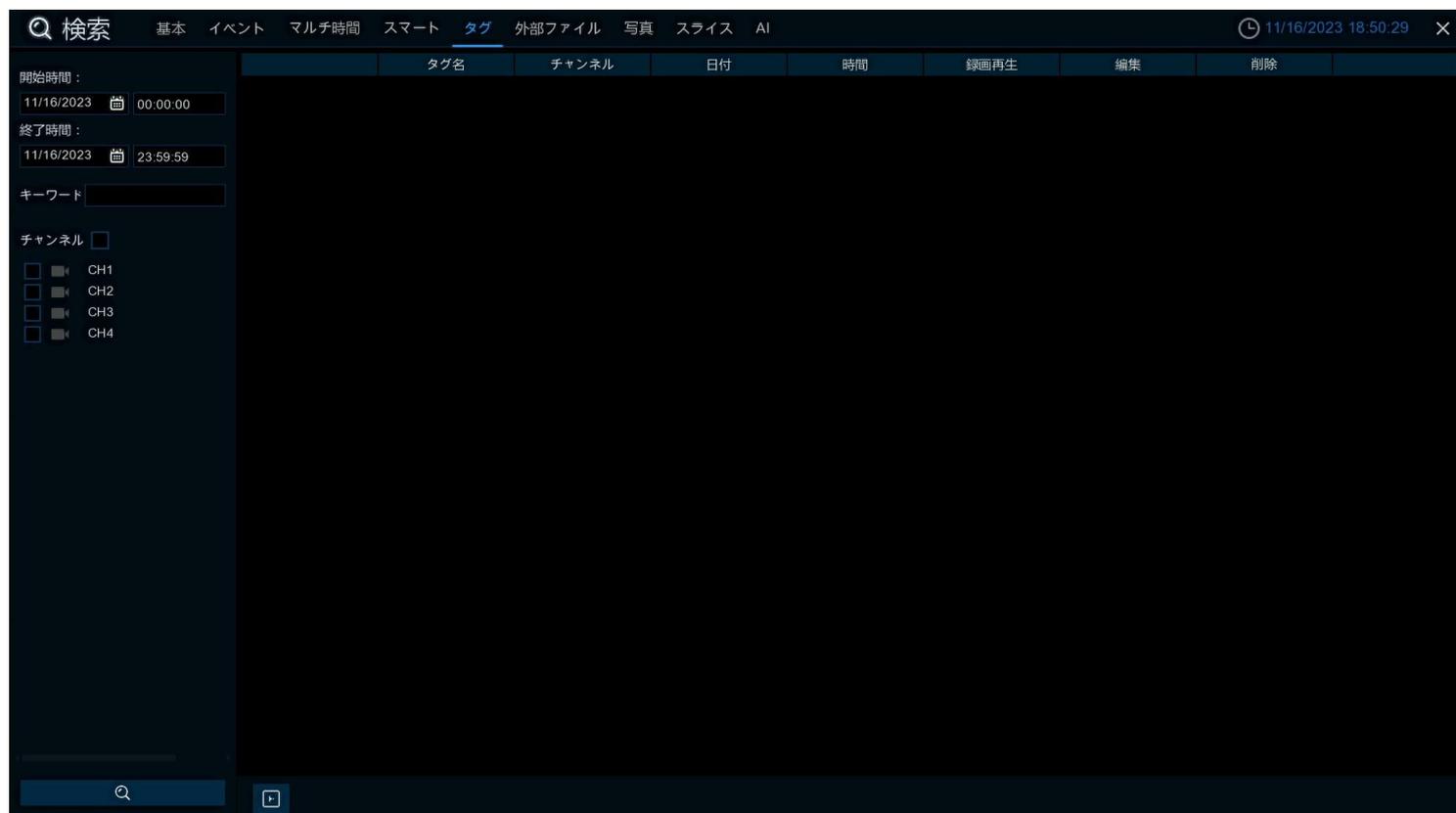
録画映像にタグを付けることでデータ検索をよりスムーズに行うことができます。

ライブ映像にカスタムタグを付ける場合はクイックツールバーからカスタムタグアイコンをクリックします。

録画映像にタグを付ける場合は2種類の方法があります。1つ目はデフォルトタグです。タグの名前はTagになります。2つ目はカスタムタグです。任意の名前を設定します。

作成したタグの確認方法は、以下の通りになります。

- 1、 録画検索画面のタグで確認します。
- 2、 開始時間と終了時間を選択します。
- 3、 キーワードを入力します。
- 4、 チャンネルを選択します。
- 5、 検索ボタンをクリックすると、保存されたタグの一覧が表示されます。
- 6、 指定したタグの項目で録画再生ボタンを押すと録画データが再生されます。
※プレ再生で選択した時間分前から、ポスト再生で選択した時間分後ろまで録画データが再生されます。
- 7、 編集アイコンをクリックすると、タグ名を修正することができます。
- 8、 削除アイコンでタグを削除します。



6.5外部ファイル

USB メモリーなどの外部ファイルを読み込み再生します。

- 1、 デバイス名に USB メモリーの情報が表示されます。
- 2、 ファイルタイプに検索したいファイルの拡張子を選択します。
- 3、 名称にファイル名が表示されます。
- 4、 再生をクリックすると録画データが表示されます。
- 5、 更新ボタンを押すと USB メモリの情報が更新されます。
- 6、 再生コントロールバーで再生、早送り、巻き戻し、コマ送りなどの設定をします。



6.6 写真再生

スナップショットの検索、再生、USBメモリへのバックアップを行うことができます。

1、カレンダーから写真データを検索する日付を選択します。

2、検索時間を選択します。

3、検索タイプを選択します。

4、チャンネルを選択します。

5、検索アイコンをクリックします。

6、保存された写真データが一覧で表示されます。

7、表示された写真をダブルクリックすると拡大表示されます。

8、右下のページを選択するとページを移動します。

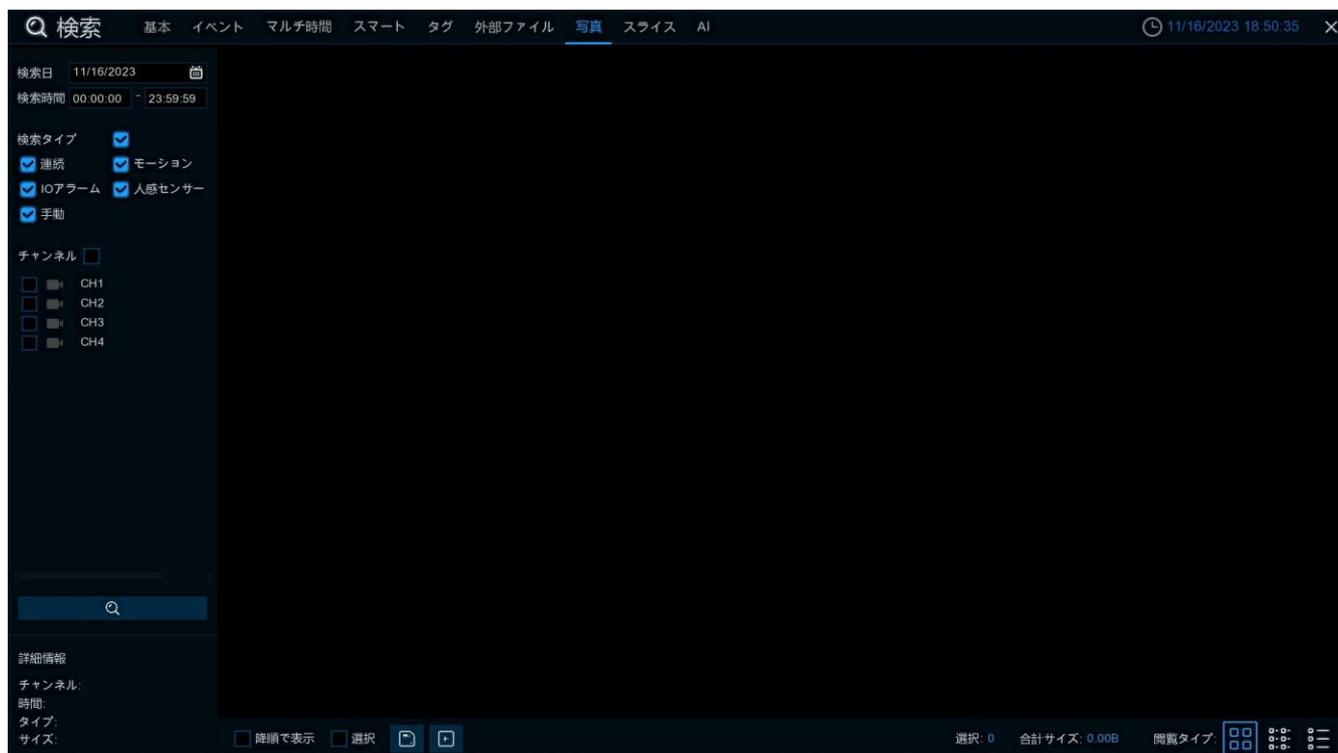
9、降順にするとサムネイルリストが降順で表示されます。

10、選択をクリックすると全ての写真サムネイルが選択されます。

11、選択されているファイル数と合計サイズが表示されます。

12、表示方法を変更します。サムネイル、リスト、詳細表示から選択します。

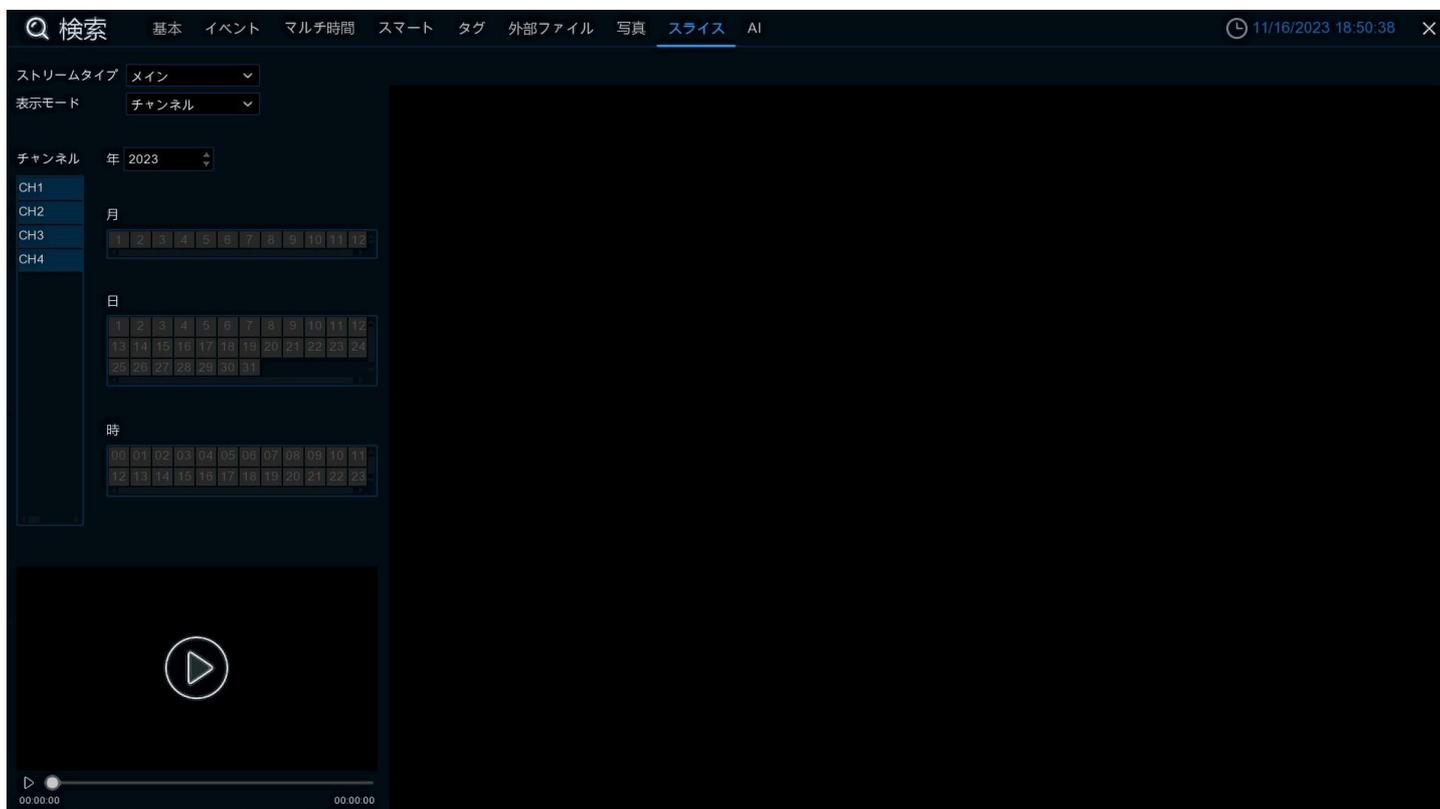
※バックアップアイコンをクリックするとUSBメモリに写真をバックアップします。再生アイコンをクリックすると写真が表示されます。



6.7スライス

録画データを1分ごとに分割してサムネイル表示する機能です。

- 1、 ストリームタイプを選択します。
- 2、 表示モードを選択します。チャンネルまたは時間を選択します。
- 3、 チャンネルを選択します
- 4、 月、日、時間を選択します。すべての情報をクリックすると1分ごとに表示されたサムネイル画像が表示されます。
- 5、 サムネイル画像をダブルクリックで単画面表示します。右クリックでサムネイル一覧に戻ります。



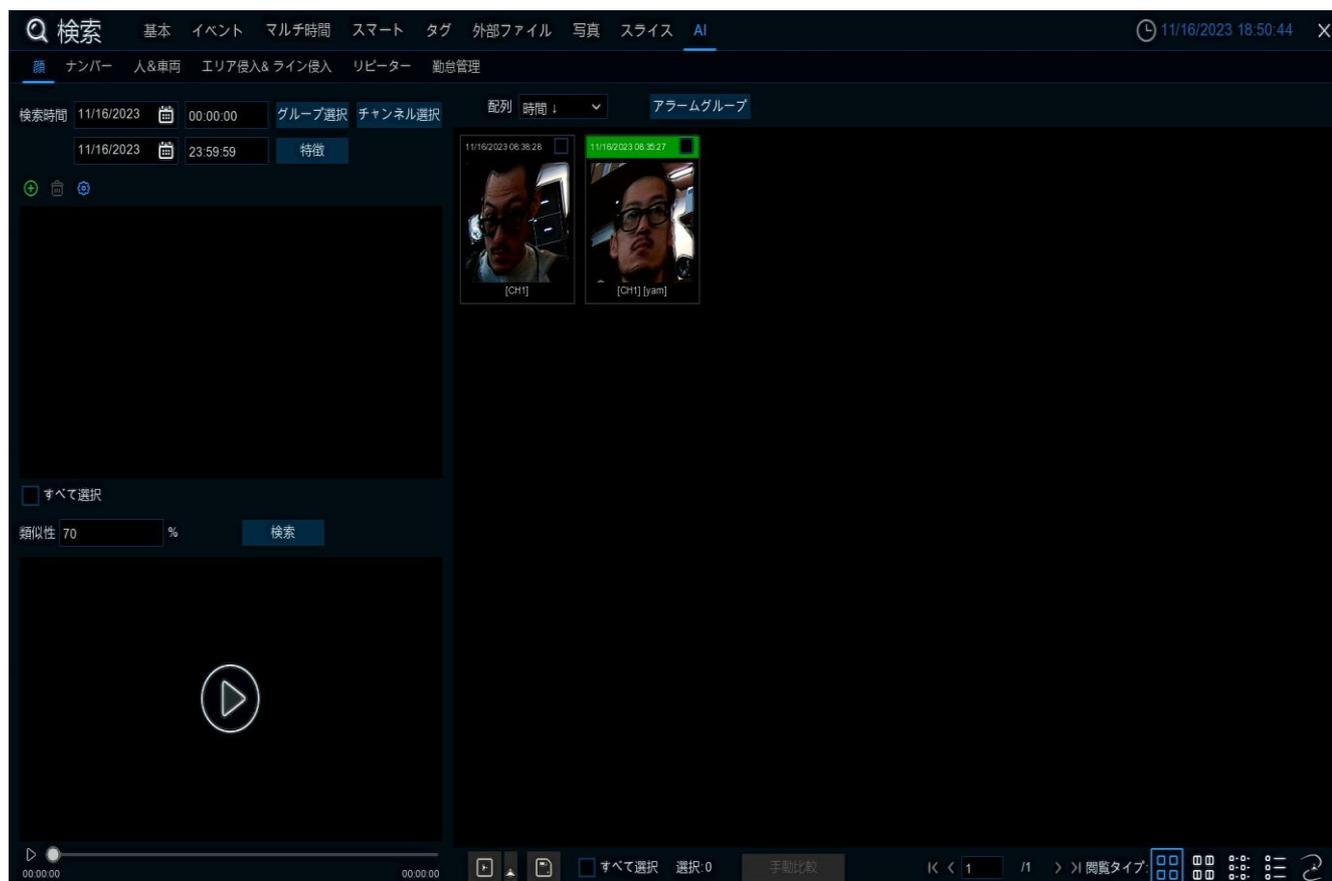
6.8AI 再生

AI 検知の録画データを表示します。

顔データ再生

顔検知データを検索、再生します。

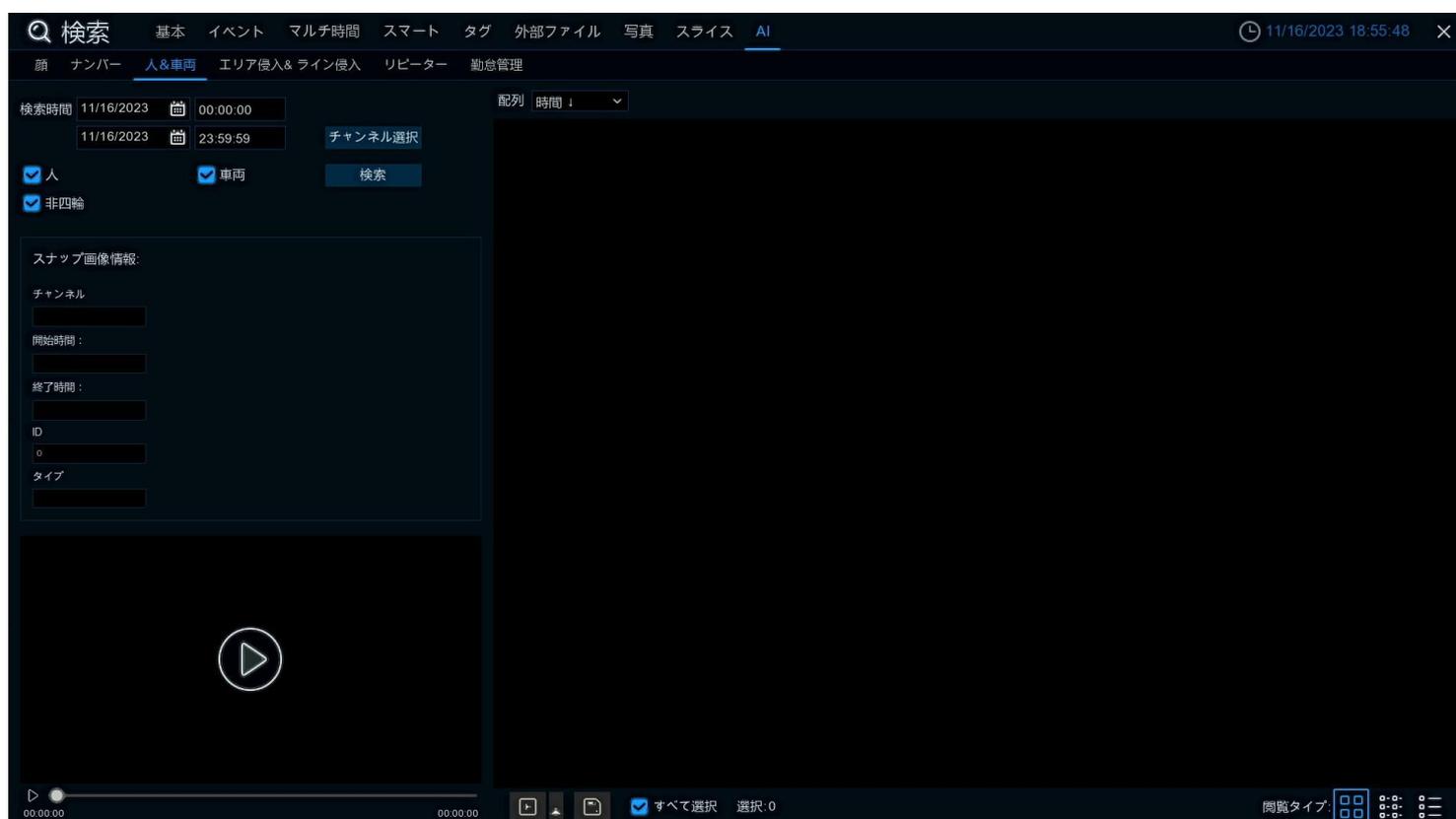
- 1、 検索時間、検索日時を設定します。
- 2、 グループを選択します。(許可リスト、ブロックリスト)
- 3、 チャンネルを選択します。
- 4、 追加をクリックしてUSBメモリ、ハードディスクから人物の顔を追加します。
- 5、 ゴミ箱をクリックすると顔画像を削除します。
- 6、 歯車をクリックするとアラーム設定のインテリジェント設定画面
- 7、 すべて選択でピックアップした顔画像を全て選択します。
- 8、 類似性でピックアップした画像の類似度を設定します。
- 9、 検索ボタンで顔データを検索します。
- 10、 再生ボタンをクリックすると画面が切り替わり再生データが表示されます。
- 11、 バックアップしたい画像をクリックしてバックアップボタンを押してバックアップします。
- 12、 すべて選択をクリックすると全ての写真サムネイルが選択されます。
- 13、 選択されているファイル数と合計サイズが表示されます。
- 14、 表示方法を変更します。サムネイル、リスト、詳細表示から選択します。



6.9人&車両

人及び車両データを検索、再生します。

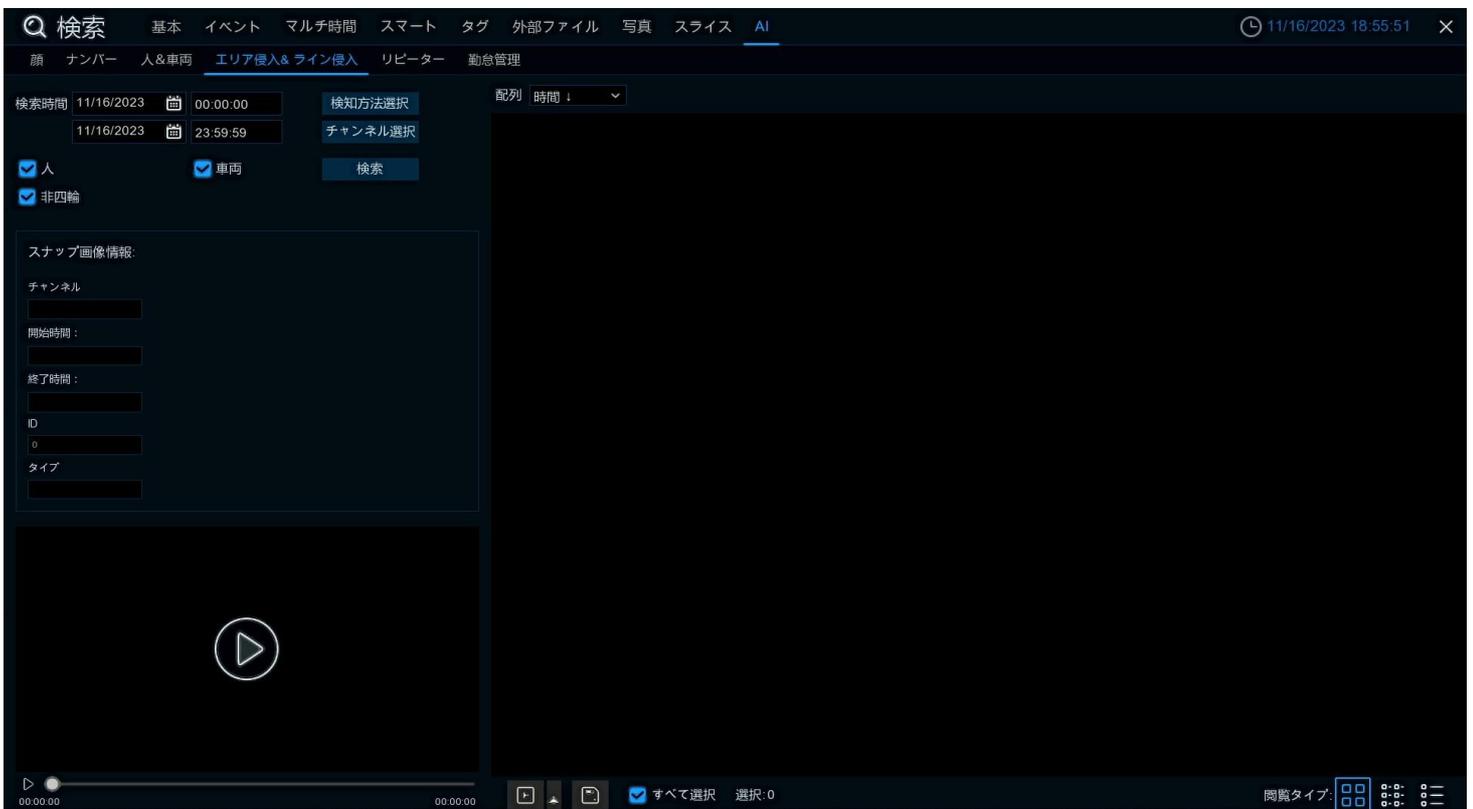
- 1、 検索時間、検索日時を設定します。
- 2、 チャンネルを選択します。
- 3、 人、車両、非車両を選択します。
- 4、 検索ボタンをクリックして選択します。
- 5、 スナップ画像情報が表示されます。
- 6、 アラームグループを選択します。(許可リスト、ブロックリスト、不明)
- 7、 再生ボタンをクリックすると画面が切り替わり再生データが表示されます。
- 8、 バックアップしたい画像をクリックしてバックアップボタンを押してバックアップします。
- 9、 すべて選択をクリックすると全ての写真サムネイルが選択されます。
- 10、 選択されているファイル数が表示されます。
- 11、 表示方法を変更します。サムネイル、リスト、詳細表示から選択します。



6.10 エリア侵入&ライン侵入

エリア侵入及びライン侵入データを検索、再生します。

- 1、 検索時間、検索日時を設定します。
- 2、 チャンネルを選択します。
- 3、 人、車両、非車両を選択します。
- 4、 検索ボタンをクリックして選択します。
- 5、 スナップ画像情報が表示されます。
- 6、 検知方法を選択します。(エリア侵入、ライン侵入)
- 7、 再生ボタンをクリックすると画面が切り替わり再生データが表示されます。
- 8、 バックアップしたい画像をクリックしてバックアップボタンを押してバックアップします。
- 9、 すべてを選択をクリックすると全ての写真サムネイルが選択されます。
- 10、 選択されているファイル数が表示されます。
- 11、 表示方法を変更します。サムネイル、リスト、詳細表示から選択します。



6.11リピーター

リピーターデータを検索、再生します。

- 1、 検索時間、検索日時を設定します。
- 2、 チャンネルを選択します。
- 3、 許可リスト、ブラックリストを選択します。
- 4、 最小間隔、類似性を設定します。
- 5、 検索ボタンをクリックして選択します。
- 6、 スナップ画像情報が表示されます。
- 7、 再生ボタンをクリックすると画面が切り替わり再生データが表示されます。
- 8、 バックアップしたい画像をクリックしてバックアップボタンを押してバックアップします。
- 9、 すべて選択をクリックすると全ての写真サムネイルが選択されます。
- 10、 選択されているファイル数が表示されます。
- 11、 リピートの最小発生数を入力します。



6.12 勤怠管理

勤怠管理データを検索、表示します。

- 1、 チャンネルを選択します。
- 2、 モードを選択します。(グループ別、人別)
- 3、 許可リスト、ブラックリストを選択します。
- 4、 許可リスト、ブラックリストをフィルターします。
- 5、 日付を選択します。
- 6、 勤務日を選択します。
- 7、 勤務時間、勤務外時間を入力して、更新またはエクスポート、メール送信から選択します。
- 8、 最小間隔、類似性を設定します。
- 9、 検索ボタンをクリックして選択します。
- 10、 スナップ画像情報が表示されます。
- 11、 再生ボタンをクリックすると画面が切り替わり再生データが表示されます。
- 12、 バックアップしたい画像をクリックしてバックアップボタンを押してバックアップします。
- 13、 すべて選択をクリックすると全ての写真サムネイルが選択されます。
- 14、 選択されているファイル数が表示されます。
- 15、 リピートの最小発生数を入力します。

検索 基本 イベント マルチ時間 スマート タグ 外部ファイル 写真 スライス AI 11/16/2023 18:55:55

勤 番号 人&車両 エリア侵入&ライン侵入 リポーター 勤怠管理

検索時間 11/16/2023 00:00:00 グループ選択 チャンネル選択 配列 頻度 ↓ 最小発生数 1

11/16/2023 23:59:59 特徴

最小間隔 0 秒

類似性 50 % 検索

| No. | チャンネル | 開始時間 | 終了時間 | 録画再生 |
|-----|-------|------|------|------|
|-----|-------|------|------|------|

00:00:00 00:00:00 すべて選択 選択:0

DIY保証規定

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

取付前・ご使用前に、この保証規定及び保証書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

※この保証規定及び保証書は、大切に保管し、必要な時にお読みください。

- 本書は、ご使用になるお客様に必ずお渡ししてください。
- 定期点検は必ず実施してください。
- 消耗部品は定期的に交換してください。

おことわり

本製品は犯罪抑止を目的とした製品であり、犯罪防止を保証する物ではありません。犯罪による損害について、弊社は責任を負いかねますことをご了承ください。また故障が発生した場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。本製品は弊社保証規定に基づいて保証させていただきます。

弊社製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

初期不良・修理規定

- ご購入日より1ヵ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。お客様より初期不良である旨を申告していただき、弊社がその申告症状を確認した場合に限り、初期不良品として代わりの物と交換いたします。ただし、検査の結果、自然災害や動作環境、相性、外的要因、加工を起因とする不具合であった場合には、保証対象とはなりませんことをご了承ください。
- 弊社では、出張修理あるいは不具合原因の現地調査は行っておりません。
- 弊社では、センドバック方式(先に修理依頼品または不具合品をお送りいただき、弊社より修理完了品または初期不良交換品をご返却する)でのみ、対応を行っております。いかなる条件であっても交換品を先にお送りする方式は行っておりません。

その他の条件に関しましては本書P7や保証書をご覧ください。

ハードディスクの保証について

- **録画データ・バックアップデータについては、どのような場合でも保証いたしません。**

※ハードディスクは消耗品です。お買い上げの販売店にご相談いただき、定期的に交換してください。

※ハードディスクは、20000 時間の使用を目安に交換を推奨しております。

※ハードディスクの保証期間は、他消耗品とともに 1 年間の保証となります。

商標および登録商標について

- Microsoft、Internet Explorer、Windows8[®]、Windows8.1[®]、Windows10[®]、Windows11[®]、その他 Windows[®] は米国 Microsoft Corporation および日本マイクロソフト株式会社の登録商標です。
- iPhone、iPad は米国 Apple Inc. および Apple Japan 合同会社の商標または登録商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Google、Android は、米国 Google Inc. および Google 株式会社の商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている各会社名および各商品名は、各会社の商標または登録商標です。

正しくご使用いただくために

安全のため、注意事項をお守りいただかないと、火災や人身事故につながる場合があります。本紙には製品を取り扱う上での禁止事項と、事故を防ぐための重要な注意事項及び、製品の正しい取り扱い方を記載しています。

警告表示の意味

図記号の意味を十分にご理解のうえ、この保証規定をお読みいただくようお願い申し上げます。



禁止

禁止を表します。してはいけない内容です。
禁止されている取り扱いをされた場合、免責事項となり保証致しかねます。
この警告事項に反した取り扱いをすると、故障や重大な事故に繋がります。



注意

この注意事項に反した取り扱いをすると、傷害を負うまたは物的損害が発生するおそれがあります。

| | |
|--|--|
| <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div> <p>分解・改造等をしない</p> <p>禁止</p> <p>製品の性能や機能を損なうおそれがあります。また、火災や感電、故障が起こる可能性があります。お客様での塗装も該当します。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> </div> </div> | <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div> <p>防水規格のない製品に水などの液体をかけたりぬらしたりしない</p> <p>禁止</p> <p>水などの液体が内部に入ると、製品の機能が損なわれ、火災や感電、故障が起きるおそれがあります。また防水等級は完全防水を保証するものではありません。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> </div> </div> |
| <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div> <p>通風孔などの穴から本製品内部に異物を入れない</p> <p>禁止</p> <p>金属、紙、その他の異物が入ると本製品の機能が損なわれたり、火災や感電、故障が起きる可能性があります。</p> <p style="text-align: right;">録画機</p> </div> </div> | <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div> <p>通風孔をふさがない</p> <p>禁止</p> <p>内部が高温となり、動作を停止したり、火災や感電、故障の原因となります。</p> <p style="text-align: right;">録画機</p> </div> </div> |
| <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div> <p>強い衝撃や振動を与えない</p> <p>禁止</p> <p>本製品には精密な基板やハードディスクが内蔵されており、衝撃や振動を与えると故障につながる原因となります。</p> <p style="text-align: right;">録画機</p> </div> </div> | <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div> <p>電源をオフにした後約 20 秒間は本製品を移動させない</p> <p>禁止</p> <p>本製品の電源を切っても、約 20 秒間は内部機器が作動し続けている場合があります。そのため、内部機器が作動中に本製品を移動しますと、故障の原因となります。</p> <p style="text-align: right;">録画機</p> </div> </div> |

| | |
|---|--|
| <p> 防水規格のない製品を屋外に設置しない</p> <p>禁止 防水性のない製品を屋外に設置しますと、風雨・雷等が原因で、本製品からの火災や感電、故障が起きるおそれがあります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> | <p> 直射日光や雨の当たる場所に設置しない</p> <p>禁止 直射日光や雨の当たる場所に設置すると、本製品の機能が損なわれ、火災や感電、故障が起きるおそれがあります。</p> <p style="text-align: right;">録画機・周辺機器</p> |
| <p> AC100V 以外の電圧で使用しない</p> <p>禁止 弊社製品及び AC アダプターは AC100V 専用です。AC100V 以外の電圧で使用すると、故障の原因となります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> | <p> 付属の AC アダプター、電源ケーブル以外を使用しない、加工しない</p> <p>禁止 付属の AC アダプター、電源ケーブル以外の電源を使用したり、加工すると、故障の原因となります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |
| <p> 使用温湿度範囲を超える場所に設置しない</p> <p>禁止 本製品には使用温度範囲および使用湿度範囲が定められています。その範囲を超える場所に本製品を設置すると故障の原因となります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> | <p> 激しい衝撃や振動が発生する場所に設置しない</p> <p>禁止 本製品に強い衝撃や継続的な振動を与えると、性能や機能を損ない、故障や破損が起こるおそれがあります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |
| <p> 不安定な場所には設置しない</p> <p>禁止 本製品は水平設置を前提に設計されています。水平以外の場所に置くことで不具合や、故障を起こす原因となることがあります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> | <p> 磁石や強い磁気が発生する機器の近くで使用しない</p> <p>禁止 本製品を磁石や強い磁気が発生する機器の近くでご使用すると、性能や機能を損ない、誤作動や故障を起こすおそれがあります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |
| <p> 風通しの良い場所に設置する</p> <p>禁止 本製品を風通しの悪い場所で使用すると、内部温度が高くなり、火災や感電、故障の原因となります。本製品から壁面・天面 15cm 以上、左右それぞれ 5cm 以上の間隔を確保してください。</p> <p style="text-align: right;">録画機・周辺機器</p> | <p> 電氣的ノイズ、電磁波が発生するものの近くに設置しない</p> <p>禁止 携帯電話や無線機・電子レンジ・太陽光発電などの電氣的ノイズや電磁波は、本製品の性能や機能を損ない、誤作動や故障を起こすおそれがあります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |
| <p> 腐食性ガスや粉じんが多量に発生する場所に設置しない。</p> <p>禁止 本製品を腐食性ガスや粉じんの多い場所で使用すると、性能や機能を損ない、使用し続けると故障や寿命低下の原因となります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> | <p> 強度不足の場所には設置しない</p> <p>禁止 設置場所の強度が不足していると、本製品が落下し、破損や故障、けがの原因となります。</p> <p style="text-align: right;">カメラ</p> |
| <p> 有害物質暴露のある場所に設置しない</p> <p>禁止 人体に影響のある有害物質の飛散・暴露のある場所に設置されている場合、修理お受けできかねます。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> | <p> ストーブやコンロ、その他高温になるものを機器に近づけない。</p> <p>禁止 故障や変形の原因となります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |

| | |
|---|---|
| <p> 消耗品は保証期間 1 年 注意 消耗品には、HDD・AC アダプター・冷却ファン・赤外線 LED・マウス・リモコン等が該当します。定期的な点検の実施及び交換を推奨します。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> | <p> ハードディスクについて 注意 ハードディスクは消耗品です。弊社では定期的な交換を推奨しています。20000 時間を目安として、交換を行ってください。</p> <p style="text-align: right;">録画機</p> |
| <p> 本製品は雷サージへの対策はされておりません 注意 雷サージを受けると、本製品からの火災や感電、故障が起きるおそれがあります。配線に屋外配線が含まれる場合は、地中配管による配線や市販の雷サージアブソーバを接続するなどの対策をして、機器の保護をしてください。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> | <p> データについて 注意 HDD・SD カード・USB メモリ・クラウド内の録画データやバックアップデータにつきましては、いかなる場合でも保証・修理の対象外となります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |
| <p> 本製品の電源は、必ず壁面のコンセントまたは専用の電源ボックスから直接取る 注意 本製品の電源を他機器（カメラ用電源装置など）のサービスコンセントから取ると、電圧の不安定化や配線の過熱が起き、故障や誤動作の原因となります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> | <p> 電源を入れたまま工事・配線をしない 注意 電源を入れたまま工事・配線をする、本製品の機能が損なわれたり、火災や感電、故障が起きるおそれがあります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |
| <p> 雷のときは工事・配線をしない 注意 落雷により直撃や側撃を受け、火災や感電、故障が起きるおそれがあります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> | <p> 塩害地域への設置に注意 注意 塩害地域への設置は、製品に影響が出る恐れがあります。なお、塩害・重塩害地域への設置で、塩害による腐食・不良が見受けられた場合、保証期間内であっても有償修理となります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |
| <p> 油汚れに注意 注意 油の飛散する箇所に設置すると、機器内外に油が蓄積し、製品の動作に影響が出る場合があります。重度の油汚れがある場合、保証期間内であっても有償修理となります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> | <p> 縦置きにしない 注意 本製品は、横置き（ボタンの文字が読める方向）専用です。通風孔をふさがない状態であっても縦置きにはしないで下さい。</p> <p style="text-align: right;">録画機</p> |
| <p> 蛍光灯や太陽光に注意 注意 蛍光灯や太陽光が、直接カメラの視野に入る場所に設置すると、映像が白飛びしたり、明暗差により映像品質低下や故障につながるおそれがあります。これらの原因により不具合が生じた場合、保証期間内であっても有償修理となる場合があります。</p> <p style="text-align: right;">カメラ</p> | <p> レンズの汚れに注意 注意 汚れや蜘蛛の巣などの付着により、映像品質に影響がある場合があります。定期的に清掃を行ってください。</p> <p style="text-align: right;">カメラ</p> |

| | |
|--|---|
| <p> 故障や異常を放置したまま使用しない 注意 使用しない</p> <p>故障や異常を放置したままご使用されますと、性能や機能を損ない、故障の拡大や予期せぬ事故が発生するおそれがあります。ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にお申し出ください。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> | <p> 静電気により機器の故障や誤作動が起こるおそれがあります 注意</p> <p>服装によっては、人体に静電気が蓄積している場合があります。工事・点検の前には、必ず金属部分などに触れて、静電気を除去してください。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |
| <p> 冷却用ファンの音に注意 注意</p> <p>冷却用ファン搭載の製品は内部冷却のため、ファンが常時回転しています。ファンの音が気になる場合でも規則的で小さな音の場合は、故障ではありません。異常に大きな音や不規則な音がする場合は、点検等をご検討ください。</p> <p style="text-align: right;">録画機</p> | <p> 本製品は PPPoE クライアント機能を備えていません 注意</p> <p>ご契約の通信事業者のインターネット接続形態によっては、別途 PPPoE クライアント機能を備えたブロードバンドルーターなどが必要となります。ご理解いただいた上でご使用ください。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |
| <p> 設置の際は、個人のプライバシー侵害に注意 注意</p> <p>すべての人には、自己の容貌などをみだりに撮影されたり、公表されたりすることのない自由があり、プライバシーに関する権利の一つとして憲法 13 条（個人の尊重）により保障されています。集音される音声についても同様です。</p> <p>「隠し撮り」とならないよう、防犯カメラが設置されていることを表示するなどのご配慮をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">カメラ</p> | <p> インターネット接続環境でご使用になる場合は、常時接続の環境でご使用ください 注意</p> <p>本製品をインターネット接続環境でご使用になる場合は、インターネット接続機器（ブロードバンドルーターなど）の接続設定または動作仕様が、常時接続であることが必要です。常時接続でない場合、正常に通信できなくなる場合があることをご理解の上ご使用ください。</p> <p>また弊社機器はモバイルルーター（ポケットWi-Fi 等）、ホームルーターに対応しておりませんのでご了承ください。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |
| <p> ネットワーク接続について 注意</p> <p>使用するネットワーク（回線事業者、プロバイダを含む）やブロードバンドルーター、ADSL モデムなどの機器の状態や設定反映の有無によっては、本製品との通信ができない場合があります。</p> <p>ご理解いただいた上でご使用ください。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> | <p> ブロードバンドルーターのポート解放などの設定が必要になる場合があります 注意</p> <p>本製品に遠隔地からインターネット経由でアクセスするためには、本製品のネットワーク設定のほかに、ブロードバンドルーターのポート解放などの設定が必要になる場合があります。ブロードバンドルーターの設定について不明な点は、ブロードバンドルーターの説明書をお読みいただくか、購入先もしくはブロードバンドルーターのメーカーにお問い合わせください。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |
| <p> ご契約のプロバイダがグローバル IP アドレスを提供していることをご確認ください 注意</p> <p>ケーブルテレビ局などが提供する一部のインターネットプロバイダでは、プライベート IP アドレスが割り当てられる場合があります。</p> <p>本製品に遠隔地からインターネット経由でアクセスするためには、本製品設置側のインターネット回線にグローバル IP アドレスが必要です。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> | <p> メールの通知機能について 注意</p> <p>本製品に含まれるメールの通知機能は、インターネットメールの仕組み上、送信が完了したメールが宛先に到着することを保証するものではありません。ご理解いただいた上で、ご使用ください。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |

| | |
|---|---|
|  <p>NVR の DDNS サービスについて 注意 弊社の NVR は DDNS サービスに対応しておりません。 P2P 接続にてご使用ください。 ※一部の機器は対応しております。</p> <p style="text-align: right;">録画機</p> |  <p>使用後の異常について 注意 何らかの異常にお気づきの場合はただちに使用を中止し、速やかに販売店などにご相談ください。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |
|  <p>予告なく DDNS サービスの提供を停止することがあります 注意 本製品が提供する無料の DDNS サービスは、メンテナンスその他の要因により、予告なくサービスの提供を停止することがあります。ご了解いただいた上で、ご利用ください。また、確実な接続が求められる場合には、本製品を接続する回線に固定 IP アドレスをご使用していただきますことを推奨します。</p> <p style="text-align: right;">録画機</p> |  <p>データの管理について 注意 お客様及びお客様が許可した利用者以外の第三者が情報に触れることのないよう、充分にご注意ください。本製品の設定情報及び録画した画像・音声などは、お客様の責任管理下にあります。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |
|  <p>管理者用パスワードは必ず工場出荷時の初期値から変更してご使用ください 注意 本製品には工場出荷時に管理者用パスワードが登録されている場合があります。初期値のままご使用されますと、不正なアクセスによる画像・音声・情報の閲覧、漏洩につながる恐れがありますのでご注意ください。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |  <p>本製品は、電磁波の放射について 注意 業務用環境で使用する前提で設計されています</p> <p>設置環境によっては、本製品から生じる電磁波により、ラジオ等の機器に影響を与えるおそれがあります。設置環境には充分にご注意いただき、場合によっては本製品の使用を中止してください。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |
|  <p>ブラウザでの接続について 注意 Web ブラウザによる本製品への接続は、ブラウザの種類やバージョンによって動作しないことがあります。 PC からの接続には専用の CMS ソフトをご使用ください。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |  <p>未使用状態の保証について 注意 未使用の状態でご保管されており開封時に製品が故障していたもしくは、使用後すぐに故障したなどの場合でも、ご購入日からの保証期間が過ぎた時点で保証の対象外となります。お早めに、開封及び、動作確認をしてください。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |
|  <p>保管方法に注意 注意 製品を使用せず保管される場合、以下の場所は避け、適切な場所に保管してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> •高温多湿 •直射日光 •急激な温度変化 •継続的もしくは強い振動 •静電気 •雨風が当たる •強い電磁波 •塩害のおそれがある。 •埃や塵が多い <p style="text-align: right;">全機種</p> |  <p>AC アダプター、電源ケーブルの取り扱いに注意 注意</p> <ul style="list-style-type: none"> •AC アダプター、コード、電源ケーブルが破損した場合使用しない。 •重いものをのせたり引っ張ったりしない。 •濡れた手で触らない。 •異常がある時は使用しない。 •屋外コンセントには挿さない。 <p>以上のことをお守りいただかないと故障、火災、感電等の原因となります。※AC アダプター等は屋内用です。</p> <p style="text-align: right;">全機種</p> |

その他製品サポートについて

■初期不良交換、修理の手続き

- ご購入日より1ヵ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。
- お客様より初期不良である旨を申告していただき、弊社がその申告症状を確認した場合に限り、初期不良品として代替りの物と交換いたします。ただし、検査の結果、動作環境や相性、外的要因、加工を起因とする不具合であった場合には、保証対象とはなりません。また、当サービスをご利用いただくには、お買い上げ商品のすべての付属品が揃っていることが条件となります。
- 弊社では、出張修理あるいは不具合原因の現地調査は行っておりません。
- 弊社ではセンドバック方式(先に修理依頼品または不具合品をお送りいただき、弊社より修理完了品または初期不良交換品をご返却する)でのみ、対応を行っております。交換品を先にお送りする方式は原則行っておりません。
- 修理費用については販売代理店や購入店を通してのご対応となります。

■製品修理対応期間

- 製品の修理対応期間は、該当の製品製造終了より6年間となります。販売終了またはご購入日ではございませんのでご注意ください。
- 6年を待たずして保守部品が不足した場合は、後継品等のご案内をさせていただきます。
- 6年を経過した機器であっても、保守部品が存在する場合、修理可能となります。
- 製品修理対応期間を過ぎた機器に関しては、修理受付をお断りする場合がございます。

■修理について

- 修理ご依頼の際はまずご購入店、施工店にご相談ください。
- 製品の発送は、ご購入店、施工店をお通しください。
- 修理品は、元払いにてご送付願います。
- 修理期間中の代替機に関しましては、原則貸出ししておりません。
- 修理費用に関しましては、弊社から直接ご案内できかねますことをご了承願います。

■その他のご注意

- 製品のパッケージ等に記載されている機能、性能値は当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告なく性能が上下することがあります。
- ハードウェア、ソフトウェア(ファームウェア)、アプリケーション、外観に関しては将来予告なく変更されることがあります。
- ソフトウェア(ファームウェア)、更新ファイル公開を通じた修正や機能は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- 本機を移動、移設させる場合は、ACアダプターをコンセントから抜き、通電停止状態にしてから配線を抜いて下さい。
- 落雷の恐れがある場合は、すみやかに本機を停止させ、コンセントからACアダプターを抜いてください。(停電時のブレーカーの入切りによる突入電流が原因で、機器が故障する場合があります。)
- 動作環境範囲外で、機器をご使用しないでください。
- 長期間使用されないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いておいてください。
- 金融機器・医療機器など人命に直接または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
- 弊社製品は日本国内での利用可能な製品であるため、保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。また、ご利用の際は各地域の法令や政令、ガイドラインなどに従ってください。
- 機器等を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

■免責事項

- 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信、撮影、録画機会を逃したために生じた経済損失につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 通信、録画内容や保持情報漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いません。
- お客様が購入された製品の使用において、録画映像の流出や、不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社では一切責任を負いません。
- お客様および第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- 製品の使用および不具合の発生によって、二次的に発生した損害(事業の中断および事業利益の損失、記憶装置の内容の変化・消失、また建物の現状復帰や取り外し施工についての費用・損失)につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- 製品の装着することによりほかの機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証いたしません。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in japan.

保証書

本紙は記載内容の範囲で無償修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合、お買い上げの販売店又は弊社支店・営業所に修理を依頼してください。

- ご購入日がご不明の場合は、有償修理とさせていただきます。

この保証書は記載内容の範囲で無償修理をお約束するものであり、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、又は最寄りの弊社支店・営業所にお問い合わせください。

■無償修理規定

- 保証期間はご購入日より1年間です。※1
- 保証規定に従った正常なご使用状態で保証期間内に故障した場合は、無償で修理・調整いたします。
- 保証期間中であっても以下の場合には有償修理となります。
 - お客様側での移動時の衝撃等が原因の故障
 - 工事、使用上の誤り、不当な改造による故障
 - 火災、水害、雷等天災、その他自然災害、異常電圧による故障
 - 本製品に接続された他社製品が原因の故障
 - 消耗品、付属品に起因する故障
 - 保証規定の禁止事項に該当する使用状況の場合
- 製品の正常なご使用状態以外で生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社はその責任を負いません。
- 本保証書は、日本国内で使用される場合に限り有効です。
- 弊社は出張修理を行っておりません。持込・配送修理のみ対応しております。
- 保証内容は製品に対するものとなります。故障時の取り外し取り付け費用、施工店様の出張費用、特殊車両費用に対し弊社は一切の費用請求を認めません。
- 弊社に修理依頼品をご送付いただく際の送料は、お客様にてご負担願います。

| | |
|----------|---|
| 型番 | |
| お客様名 | |
| ご住所 | |
| 電話番号 | |
| シリアルナンバー | ※シリアルナンバーはご使用前に必ず記入してください。 |
| 取扱販売店名 | |
| 設置日 | 年 月 日 |
| 保証期間 | ご購入日より1年間※1 ※本書はレシートと一緒に大切に保管してください。 |

※1 消耗品も無償修理期間は、1年間となります。



株式会社 NSK 日本セキュリティー機器販売
〒461-0043 愛知県名古屋市中区大幸1丁目10-15
Email : hp@nsk-sec.co.jp HP : <https://www.n-sk.jp>

